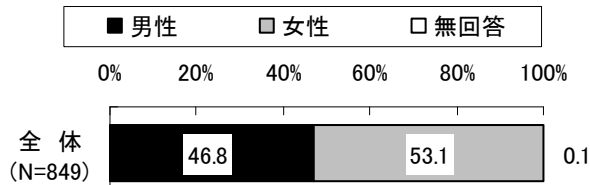

第4章

身体障がい者調査

第4章 身体障がい者調査

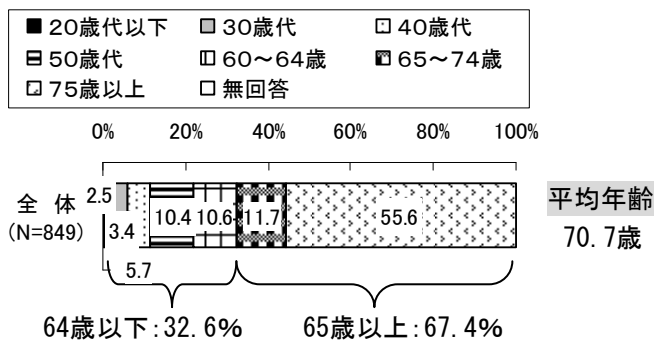
1. 基本属性

【図表4-1 性別】



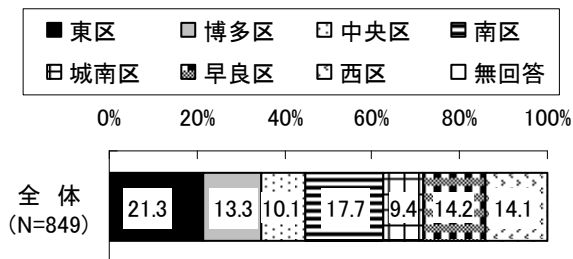
男性が46.8%、女性が53.1%で女性がやや多くなっている。

【図表4-2 年齢】



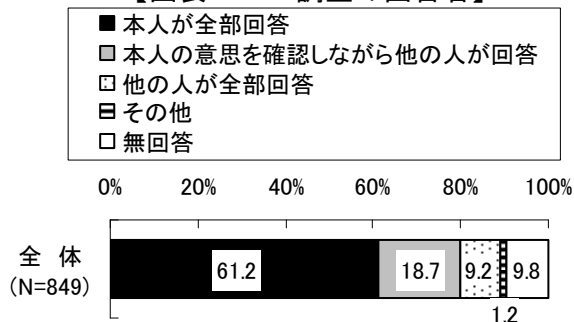
65歳以上の高齢者が7割弱（67.4%）を占めている。

【図表4-3 居住地区】



居住地区としては、「東区」(21.3%)が最も多く、次いで「南区」(17.7%)となっている。

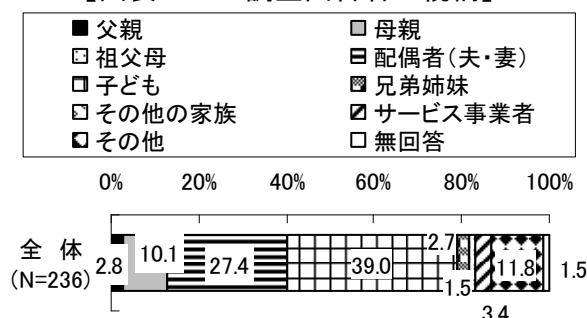
【図表4-4 調査の回答者】



「本人が全部回答」(61.2%)が最も多く、「本人の意思を確認しながら他の人が回答」(18.7%)をあわせると、8割(79.9%)は本人の意思に基づく回答となっている。

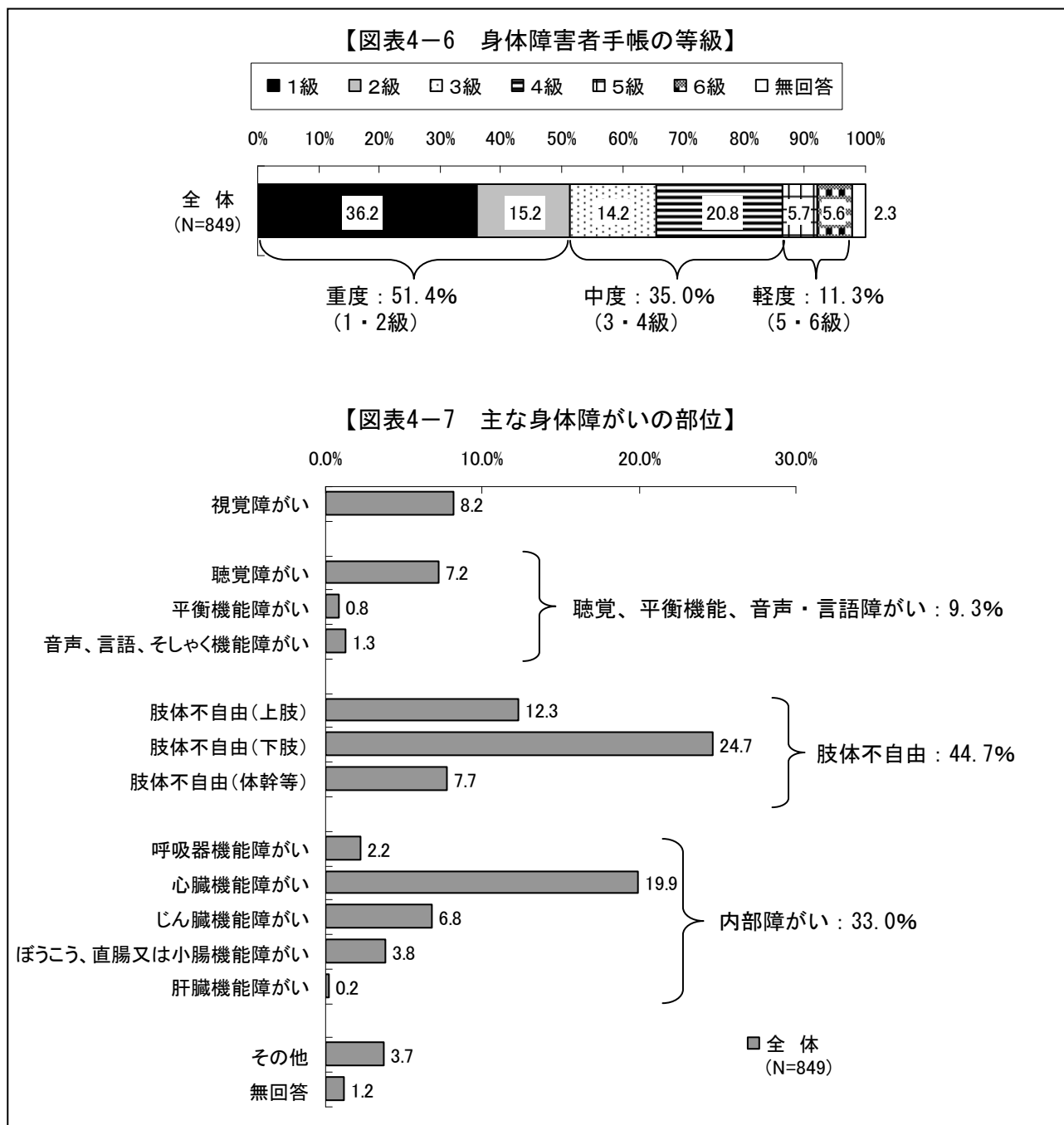
「本人の意思を確認しながら他の人が回答」または「他の人が全部回答」した場合の回答者の続柄は「子ども」(39.0%)、「配偶者」(27.4%)等が多くなっている。

【図表4-5 調査回答者の続柄】



2. 障がいの状況

(1) 身体障害者手帳の等級、身体障がいの部位



身体障害者手帳の等級は、「1級」(36.2%)が4割弱を占めて最も多く、「2級」(15.2%)をあわせると、重度者(1・2級)が半数強(51.4%)を占めている。

また、主な身体障がいの部位(大分類)では、「肢体不自由」(44.7%)が4割強を占めて最も多く、次いで「内部障がい」(33.0%)となっている。

年齢別に手帳等級をみると、各年代とも「重度(1・2級)」が4～6割台を占めており、特に20歳代以下では7割弱(68.4%)と高くなっている。また、20歳代以下・30歳代では「中度(3・4級)」の占める割合が2割未満であるが、それ以外では3割台後半を占めている。

年齢別に主な身体障がいの部位をみると、各年代とも「肢体不自由」が4～5割台を占めて最も多い。また、概ね年齢が高くなるほど「内部障がい」の占める割合が高まり、65歳以上の高齢者では3割強となっている。

【図表4-8 年齢（2区分、詳細）別 身体障害者手帳の等級】（％）

	調査数（人）	身体障害者手帳の等級							調査数（人）	身体障害者手帳の等級（集約）			
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		（1・2級）	（3・4級）	（5・6級）	無回答
全 体	849	36.2	15.2	14.2	20.8	5.7	5.6	2.3	849	51.4	35.0	11.3	2.3
年 齢 区 分													
64歳以下	277	36.1	16.7	12.5	20.0	5.9	7.1	1.8	277	52.8	32.4	13.1	1.8
65歳以上	572	36.3	14.5	15.0	21.2	5.6	4.9	2.5	572	50.8	36.3	10.4	2.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	36.2	15.2	14.2	20.8	5.7	5.6	2.3	849	51.4	35.0	11.3	2.3
年 齢 詳 細													
20歳代以下	21	44.7	23.7	14.5	3.9	5.3	6.6	1.3	21	68.4	18.4	11.8	1.3
30歳代	29	42.4	16.5	10.6	8.2	11.8	8.2	2.4	29	58.8	18.8	20.0	2.4
40歳代	49	31.2	15.6	14.3	20.8	6.5	10.4	1.3	49	46.8	35.1	16.9	1.3
50歳代	88	31.6	13.9	11.4	24.1	7.6	8.9	2.5	88	45.6	35.4	16.5	2.5
60～64歳	90	39.1	18.4	12.6	23.0	2.3	3.4	1.1	90	57.5	35.6	5.7	1.1
65～74歳	100	30.7	17.8	19.0	20.2	4.3	5.5	2.5	100	48.5	39.3	9.8	2.5
75歳以上	472	37.5	13.8	14.2	21.5	5.8	4.7	2.5	472	51.3	35.6	10.5	2.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【図表4-9 年齢（2区分、詳細）別 主な身体障がいの部位】（％）

	調査数（人）	主な身体障がいの部位													無回答
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	しゃべり、音声、言語機能障がい	肢体不自由（上）	肢体不自由（下）	等肢体不自由（体幹）	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	ぼうこう、直腸、小腸機能障がい	肝臓機能障がい	その他	
全 体	849	8.2	7.2	0.8	1.3	12.3	24.7	7.7	2.2	19.9	6.8	3.8	0.2	3.7	1.2
年 齢 区 分															
64歳以下	277	7.5	6.3	-	2.4	18.4	25.2	7.5	1.0	10.7	13.1	3.5	0.8	2.9	0.7
65歳以上	572	8.5	7.6	1.2	0.7	9.3	24.5	7.8	2.8	24.3	3.8	3.9	-	4.1	1.4
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	8.2	7.2	0.8	1.3	12.3	24.7	7.7	2.2	19.9	6.8	3.8	0.2	3.7	1.2
年 齢 詳 細															
20歳代以下	21	6.6	15.8	-	1.3	11.8	10.5	21.1	-	17.1	3.9	3.9	-	7.9	-
30歳代	29	5.9	5.9	-	-	22.4	20.0	14.1	-	12.9	7.1	2.4	1.2	8.2	-
40歳代	49	5.2	7.8	-	-	20.8	29.9	5.2	1.3	10.4	15.6	1.3	1.3	1.3	-
50歳代	88	10.1	6.3	-	2.5	13.9	25.3	8.9	1.3	11.4	13.9	2.5	1.3	2.5	-
60～64歳	90	6.9	3.4	-	4.6	21.8	27.6	2.3	1.1	8.0	14.9	5.7	-	1.1	2.3
65～74歳	100	5.5	9.2	-	2.5	12.3	25.2	6.7	2.5	17.2	9.8	1.8	-	6.1	1.2
75歳以上	472	9.1	7.3	1.5	0.4	8.7	24.4	8.0	2.9	25.8	2.5	4.4	-	3.6	1.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数（人）	主な身体障がいの部位（集約）					
		視覚障がい	聴覚・言語・平衡機能、音声	肢体不自由	内部障がい	その他	無回答
全 体	849	8.2	9.3	44.7	33.0	3.7	1.2
年 齢 区 分							
64歳以下	277	7.5	8.7	51.2	29.0	2.9	0.7
65歳以上	572	8.5	9.5	41.6	34.9	4.1	1.4
無回答	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	8.2	9.3	44.7	33.0	3.7	1.2
年 齢 詳 細							
20歳代以下	21	6.6	17.1	43.4	25.0	7.9	-
30歳代	29	5.9	5.9	56.5	23.5	8.2	-
40歳代	49	5.2	7.8	55.8	29.9	1.3	-
50歳代	88	10.1	8.9	48.1	30.4	2.5	-
60～64歳	90	6.9	8.0	51.7	29.9	1.1	2.3
65～74歳	100	5.5	11.7	44.2	31.3	6.1	1.2
75歳以上	472	9.1	9.1	41.1	35.6	3.6	1.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-

第4章 身体障がい者調査

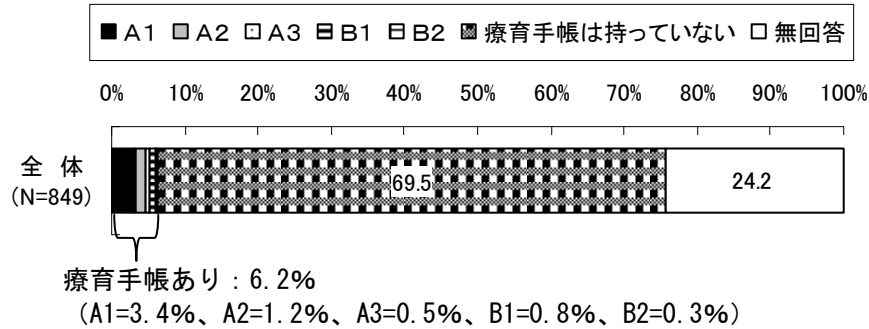
重複する身体障がいの有無をみると、回答者の6割弱（56.7%）は主な障がい以外に重複する身体障がいはないと回答している。重複の状況をみると、肢体不自由において「上肢」「下肢」「体幹等」の部位別の肢体不自由を重複している人の割合が高くなっている。

【図表4-10 主な身体障がいと重複する身体障がいの関係】（%）

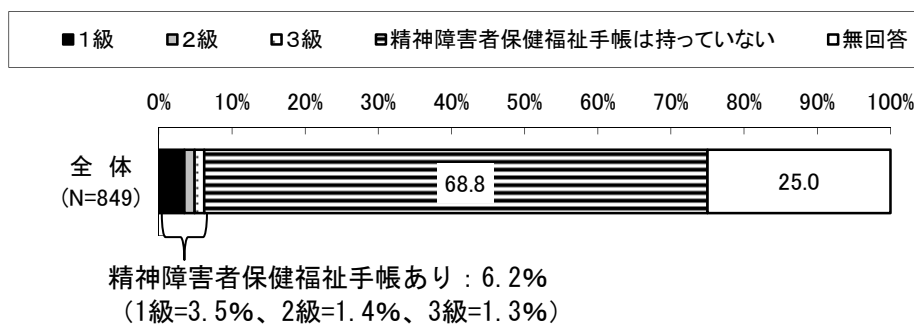
		調 査 数 （ 人 ）	重複する身体障がいの部位														
			視 覚 障 が い	聴 覚 障 が い	平 衡 機 能 障 が い	機 能 障 が い 音 声 、 言 語 、 そ し ゃ く	肢 体 不 自 由 （ 上 肢 ）	肢 体 不 自 由 （ 下 肢 ）	肢 体 不 自 由 （ 体 幹 等 ）	呼 吸 器 機 能 障 が い	心 臓 機 能 障 が い	じ ん 臓 機 能 障 が い	腸 機 能 障 が い ぼう こう 、 直 腸 又 は 小	肝 臓 機 能 障 が い	そ の 他	主 な 障 が い 以 外 は な い	無 回 答
全 体		849	3.7	6.2	3.6	5.0	8.7	19.3	6.0	2.8	3.8	4.2	2.8	1.9	6.6	56.7	1.0
主 な 身 体 障 が い の 部 位	視覚障がい	69	－	19.7	5.0	2.9	2.5	17.4	2.5	4.2	10.4	3.4	5.0	1.6	6.2	55.4	－
	聴覚障がい	61	8.9	－	6.1	7.0	8.4	14.1	5.6	4.3	5.6	2.8	－	1.0	1.0	68.0	－
	平衡機能障がい	7	－	－	－	－	25.0	25.0	25.0	－	－	25.0	－	－	25.0	25.0	－
	音声、言語、そしゃく機能障がい	11	－	－	25.5	－	37.6	37.6	37.6	9.6	－	9.6	15.9	－	5.6	47.1	－
	肢体不自由(上肢)	105	3.5	5.2	4.9	4.6	－	59.7	11.5	0.6	4.3	2.2	6.3	2.6	11.9	26.7	－
	肢体不自由(下肢)	210	1.6	4.0	1.2	4.4	12.1	－	4.6	0.5	3.6	4.6	1.4	1.3	6.4	70.5	－
	肢体不自由(体幹等)	65	10.1	4.9	8.6	20.3	32.7	50.6	－	5.6	6.2	2.6	5.6	4.3	4.8	27.7	－
	呼吸器機能障がい	19	18.1	27.2	－	－	12.3	18.1	27.2	－	18.1	9.1	9.1	9.1	－	51.5	－
	心臓機能障がい	169	4.4	6.5	2.7	3.6	4.8	14.9	6.6	7.1	－	6.5	1.0	0.7	7.9	59.0	－
	じん臓機能障がい	58	3.0	0.6	－	－	2.6	9.3	－	－	3.9	－	－	－	4.6	79.2	－
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	32	－	5.4	8.1	－	2.0	10.1	－	－	－	1.7	－	－	0.9	82.6	－
	肝臓機能障がい	2	－	53.4	－	－	－	16.3	－	－	－	－	－	－	－	30.3	－
その他	31	－	8.5	－	9.3	5.5	14.9	7.5	－	－	5.5	－	5.5	12.1	59.5	－	
無回答	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	16.9	16.9	－	－	83.1	

(2) 知的障がい、精神障がいとの重複状況

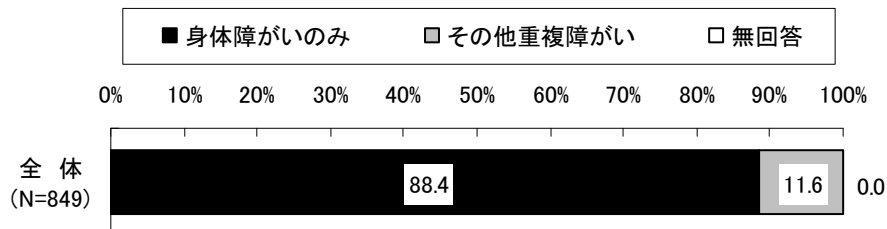
【図表4-11 療育手帳の有無】



【図表4-12 精神障害者保健福祉手帳の有無】



【図表4-13 障がいの状況】



知的障がいや精神障がいとの重複状況を見ると、療育手帳の所持者と精神障害者保健福祉手帳の所持者はいずれも6.2%となっている。これらを集約すると、身体障がい者調査の回答者の1割強（11.6%）は知的障がいや精神障がいとの重複障がい者である。

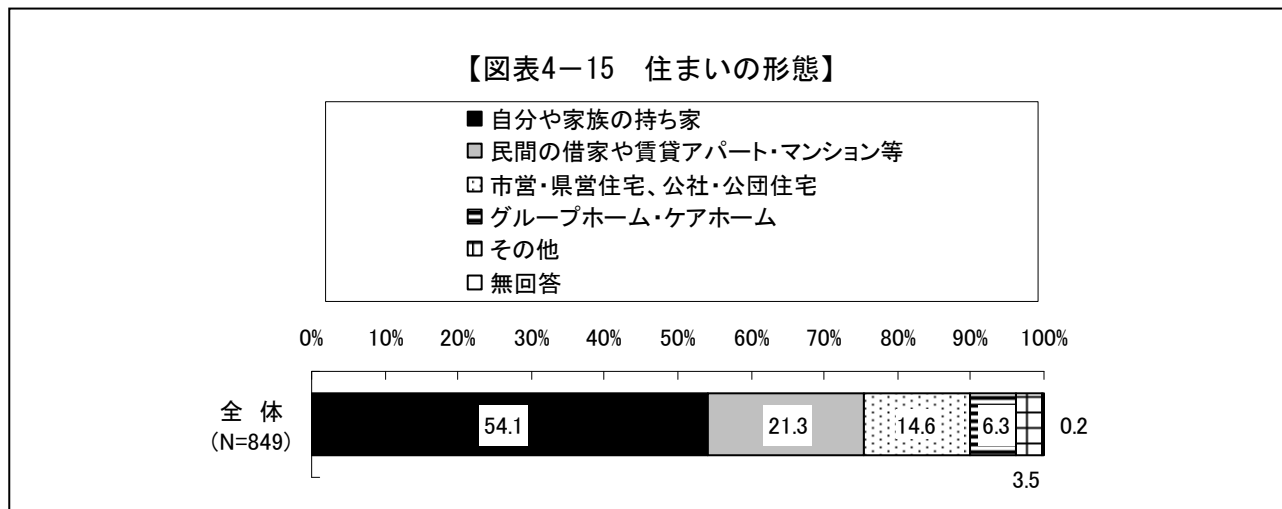
手帳等級別にみると、重複障がい者の割合は、1・2級の重度者で高く、15.7%と2割弱を占めている。

【図表4-14 手帳等級別 障がいの状況】 (%)

	調査数 (人)	障がいの状況		
		の身体障がい	障そがのい他重複	無回答
全 体	849	88.4	11.6	-
手 帳 等 級				
重度(1・2級)	437	84.3	15.7	-
中度(3・4級)	297	94.0	6.0	-
軽度(5・6級)	96	92.8	7.2	-
無回答	19	71.9	28.1	-

3. 生活状況

(1) 住まいの形態



回答者全体では、過半数が「自分や家族の持ち家」(54.1%)に住んでおり、「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」(21.3%)、「市営住宅等」(14.6%)と続いている。

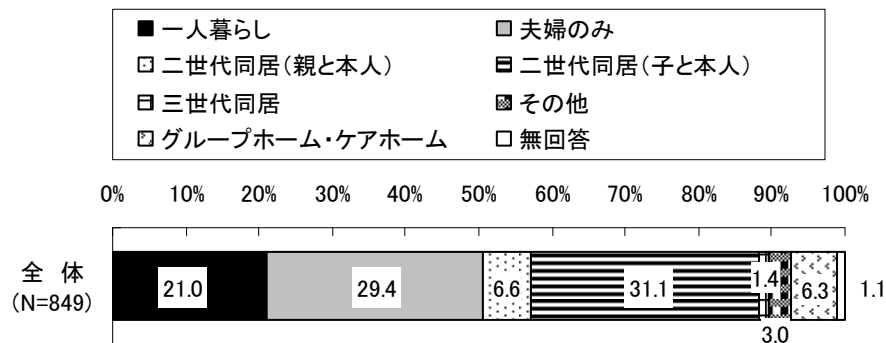
年齢別に詳細にみると、40歳代では「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」の割合が高く半数を占めている。

【図表4-16 年齢詳細別 住まいの形態】(%)

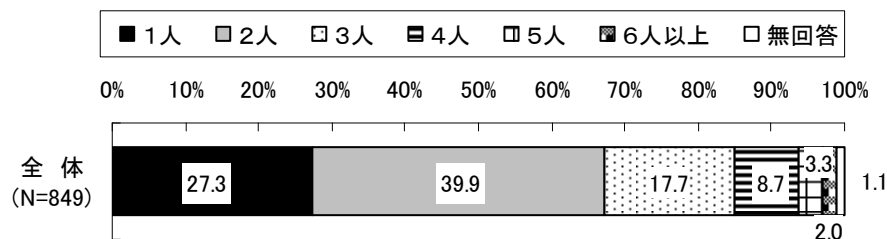
		調査数（人）	住まいの形態					無回答
			自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンション等	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム・ケアホーム	その他	
全 体		849	54.1	21.3	14.6	6.3	3.5	0.2
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	59.2	26.3	11.8	－	2.6	－
	30歳代	29	45.9	37.6	16.5	－	－	－
	40歳代	49	37.7	49.4	9.1	－	3.9	－
	50歳代	88	55.7	27.8	12.7	2.5	1.3	－
	60～64歳	90	51.7	24.1	18.4	－	3.4	2.3
	65～74歳	100	48.5	28.8	17.2	3.1	2.5	－
	75歳以上	472	57.5	13.8	14.2	10.2	4.4	－
無回答		－	－	－	－	－	－	

(2) 同居家族の状況

【図表4-17 世帯の状況】



【図表4-18 本人を含む同居家族の人数】



同居家族の続柄から世帯の状況を集約した結果、回答者全体では「二世世代同居（子と本人）」（31.1%）と「夫婦のみ」（29.4%）が3割前後と多くなっている。

年齢別に詳細にみると、50歳代を境に大きく変化しており、40歳代までは「二世世代同居（親と本人）」の割合が高いが、50歳代以上になると「一人暮らし」や「夫婦のみ」の割合が増加している。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では「一人暮らし」（25.5%）、3.4級の中度者では「二世世代同居（子と本人）」（36.4%）の割合がそれぞれ他に比べてやや高い。

障がい部位別にみると、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは、「一人暮らし」（34.8%）の割合が高く、3割強を占めている。

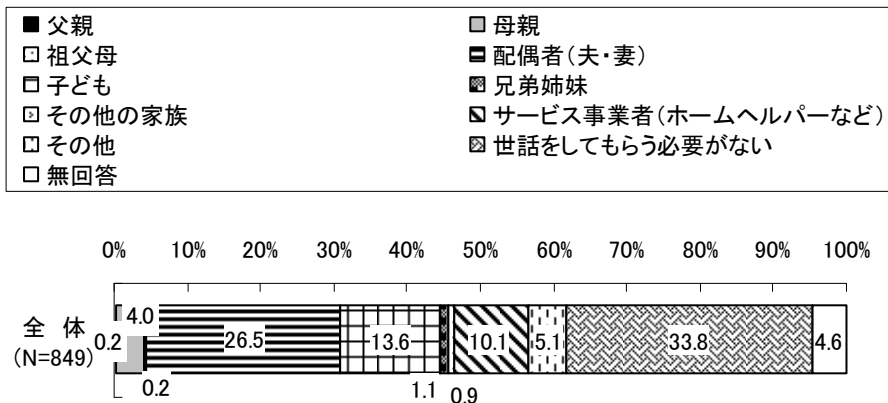
家族人数は、回答者全体では「2人」（39.9%）が最も多く、次いで「1人」（27.3%）、「3人」（17.7%）となっている。

【図表4-19 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 世帯の状況】(%)

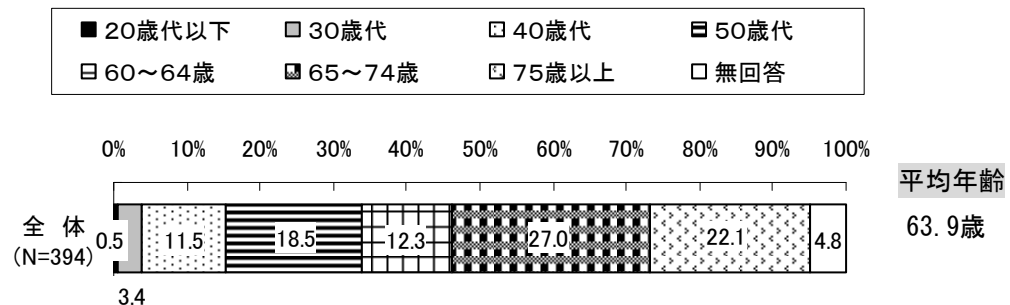
		調査数 (人)	世帯の状況						
			一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居 (本人)	二世帯同居 (子)	三世帯同居	その他	グループホーム
全 体		849	21.0	29.4	6.6	31.1	1.4	3.0	6.3
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	11.8	3.9	75.0	-	7.9	1.3	-
	30歳代	29	11.8	8.2	49.4	23.5	4.7	2.4	-
	40歳代	49	22.1	15.6	24.7	32.5	5.2	-	-
	50歳代	88	25.3	21.5	7.6	40.5	1.3	1.3	2.5
	60～64歳	90	18.4	36.8	5.7	31.0	3.4	4.6	-
	65～74歳	100	25.2	37.4	2.5	26.4	2.5	2.5	3.1
	75歳以上	472	20.7	31.6	-	32.0	-	3.6	10.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		849	21.0	29.4	6.6	31.1	1.4	3.0	6.3
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	20.9	27.2	8.3	29.9	1.0	4.5	7.4
	中度(3・4級)	297	18.4	33.0	3.8	36.4	2.2	1.3	3.7
	軽度(5・6級)	96	25.5	28.4	8.2	22.8	1.2	2.4	9.0
	無回答	19	42.0	28.9	4.9	15.2	-	-	8.9
全 体		849	21.0	29.4	6.6	31.1	1.4	3.0	6.3
障 がい 部 位	視覚障がい	69	22.2	24.5	8.5	26.1	0.5	8.3	9.9
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	34.8	26.2	5.5	17.5	2.4	4.1	9.5
	肢体不自由	380	20.0	29.1	7.1	32.3	1.2	1.7	7.1
	内部障がい	280	16.3	31.7	5.0	37.1	1.8	3.2	4.3
	その他	31	32.6	27.9	16.3	11.4	0.9	5.5	-
	無回答	10	39.8	43.3	-	16.9	-	-	-

(3) 主な介助者の状況

【図表4-20 主な介助者】



【図表4-21 主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢】



回答者全体では「世話をしてもらう必要がない」(33.8%)が最も多く、次いで「配偶者」(26.5%)、「子ども」(13.6%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「母親」(57.9%)の割合が高く、6割弱を占めている。一方、65～74歳では「配偶者(夫・妻)」(38.0%)、75歳以上では「子ども」(20.7%)と「サービス事業者」(15.3%)の割合が高い。また、40歳代・50歳代・60～64歳では「世話をしてもらう必要がない」の割合が高く過半数を占めている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者と3・4級の中度者では「配偶者(夫・妻)」の割合が高く、3割弱を占めている。

主な介助者の年齢をみると、回答者全体では65歳以上の介助者が約半数(49.1%)を占めているが、障がい者本人の年齢2区分別にみると、64歳以下の障がい者の介助者は「50歳代」(25.4%)や「65～74歳」(19.0%)の割合が高く、平均年齢は56.3歳となっている。一方、65歳以上の障がい者の介助者は、本人と同じく「65～74歳」(30.2%)や「75歳以上」(28.0%)の割合が高く、平均年齢は67.0歳となっている。

【図表4-22 年齢詳細別、手帳等級別 主な介助者】(%)

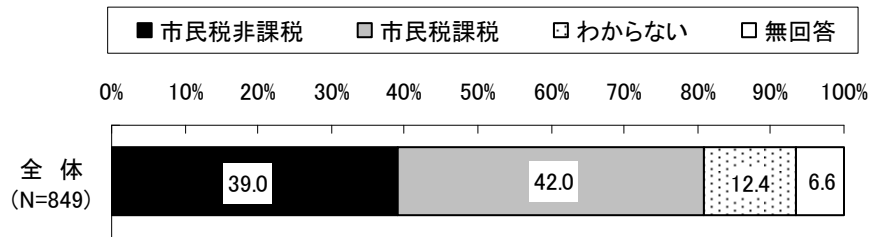
		調 査 数 （ 人 ）	主な介助者										
			父 親	母 親	祖 父 母	配 偶 者 （ 夫 ・ 妻 ）	子 ど も	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 家 族	な ど （ ホ ー ム ヘ ル パ ー ）	サ ー ビ ス 事 業 者 な ど	そ の 他	世 話 を し て も ら う 必 要 が な い
全 体		849	0.2	4.0	0.2	26.5	13.6	1.1	0.9	10.1	5.1	33.8	4.6
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	1.3	57.9	－	1.3	－	－	－	－	1.3	35.5	2.6
	30歳代	29	3.5	28.2	1.2	12.9	－	－	－	3.5	3.5	43.5	3.5
	40歳代	49	－	15.6	－	20.8	1.3	－	－	2.6	2.6	54.5	2.6
	50歳代	88	－	5.1	1.3	29.1	1.3	－	－	2.5	6.3	50.6	3.8
	60～64歳	90	－	1.1	－	29.9	5.7	3.4	－	2.3	5.7	50.6	1.1
	65～74歳	100	－	0.6	－	38.0	10.4	1.2	0.6	7.4	5.5	31.9	4.3
	75歳以上	472	－	－	－	25.5	20.7	1.1	1.5	15.3	5.1	25.1	5.8
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	0.2	4.0	0.2	26.5	13.6	1.1	0.9	10.1	5.1	33.8	4.6
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	0.1	5.8	0.1	29.0	12.9	1.5	1.2	12.5	6.6	24.8	5.6
	中度（3・4級）	297	0.2	1.6	－	28.0	13.5	0.2	0.8	7.7	3.4	42.1	2.6
	軽度（5・6級）	96	－	4.1	－	13.9	15.0	0.6	－	6.4	3.9	49.6	6.6
	無回答	19	1.8	1.4	5.8	8.9	24.1	8.9	－	12.0	－	34.0	3.2

【図表4-23 年齢(2区分、詳細)別、手帳等級別 主な介助者の年齢】(%)

		調 査 数 （ 人 ）	主な介助者の年齢								
			2 0 歳 代 以下	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 7 4 歳	7 5 歳 以上	無 回 答	平 均 年 齢 （ 歳 ）
全 体		394	0.5	3.4	11.5	18.5	12.3	27.0	22.1	4.8	63.9
年 齢 区 分	64歳以下	113	1.0	10.2	15.7	25.4	16.9	19.0	7.4	4.3	56.3
	65歳以上	281	0.2	0.7	9.8	15.7	10.5	30.2	28.0	4.9	67.0
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 体	394	0.5	3.4	11.5	18.5	12.3	27.0	22.1	4.8	63.9
年 齢 詳 細	20歳代以下	13	4.3	—	17.4	45.7	17.4	8.7	—	6.5	54.0
	30歳代	13	—	20.5	10.3	17.9	30.8	12.8	7.7	—	55.3
	40歳代	18	3.4	13.8	41.4	—	—	27.6	3.4	10.3	50.4
	50歳代	32	—	3.4	17.2	37.9	13.8	3.4	20.7	3.4	58.4
	60～64歳	36	—	14.3	2.9	22.9	22.9	34.3	—	2.9	58.4
	65～74歳	51	1.2	3.6	16.9	2.4	10.8	55.4	6.0	3.6	62.1
	75歳以上	230	—	—	8.2	18.7	10.4	24.6	32.8	5.2	68.1
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 体		394	0.5	3.4	11.5	18.5	12.3	27.0	22.1	4.8	63.9
手 帳 等 級	重度（1・2級）	220	0.3	3.6	13.8	20.2	13.5	28.3	17.1	3.2	62.7
	中度（3・4級）	131	0.9	3.7	8.1	14.8	10.4	26.7	30.1	5.4	66.0
	軽度（5・6級）	32	—	2.1	9.3	26.6	15.0	16.9	21.4	8.8	62.0
	無回答	10	—	—	12.4	2.8	3.5	35.0	28.8	17.5	71.4

(4) 世帯の課税状況

【図表4-24 世帯の課税状況】



回答者全体では「市民税課税」(42.0%)が「市民税非課税」(39.0%)よりもやや多くなっている。

年齢別に詳細にみると、概ね年齢が高いほど「市民税非課税」の割合が高くなっており、60歳以上では4割を超えている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者は中度・軽度者に比べて「市民税課税」(38.7%)の割合が低く、4割未満である。

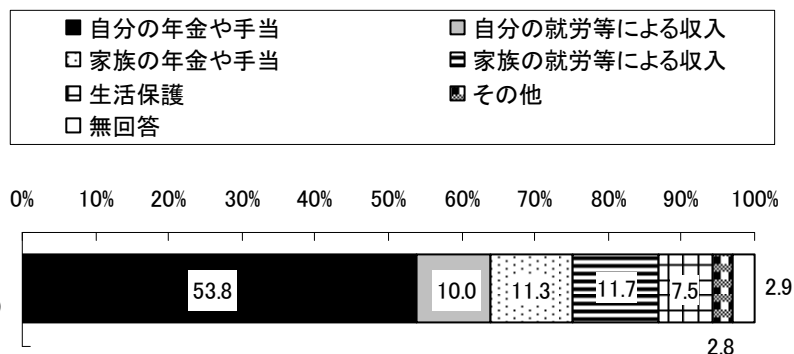
世帯状況別にみると、一人暮らしやグループホーム・ケアホーム利用者で他に比べて「市民税非課税」の割合が高い。

【図表4-25 年齢詳細別、手帳等級別、世帯状況別 世帯の課税状況】(%)

		調査数 (人)	世帯の課税状況			
			市民税 非課税	市民税 課税	わ か ら な い	無 回 答
全 体		849	39.0	42.0	12.4	6.6
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	22.4	39.5	28.9	9.2
	30歳代	29	29.4	44.7	20.0	5.9
	40歳代	49	31.2	42.9	16.9	9.1
	50歳代	88	29.1	46.8	12.7	11.4
	60～64歳	90	40.2	43.7	12.6	3.4
	65～74歳	100	41.7	34.4	18.4	5.5
	75歳以上	472	42.2	42.2	9.5	6.2
	無回答	-	-	-	-	-
全 体		849	39.0	42.0	12.4	6.6
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	40.5	38.7	13.7	7.0
	中度(3・4級)	297	39.2	46.0	10.0	4.7
	軽度(5・6級)	96	31.4	46.6	14.8	7.2
	無回答	19	38.9	29.5	8.9	22.7
全 体		849	39.0	42.0	12.4	6.6
世 帯 状 況	一人暮らし	179	54.8	20.7	14.5	10.0
	夫婦のみ	250	30.6	55.4	8.2	5.7
	二世帯同居(親と本人)	56	39.1	32.5	21.3	7.0
	二世帯同居(子と本人)	264	29.8	53.5	12.6	4.1
	三世帯同居	12	31.6	40.1	26.0	2.3
	その他	26	67.3	19.7	13.0	-
	グループホーム・ケアホーム	53	59.1	14.0	14.0	12.9
	無回答	9	37.3	44.0	-	18.7

(5) 主な生活費

【図表4-26 主な生活費】



回答者全体では「自分の年金や手当」(53.8%)が過半数を占めて最も多いが、年齢2区分別にみると、64歳以下では高齢者(65歳以上)に比べて「自分の就労等による収入」(26.7%)や「家族の就労等による収入」(25.1%)等の就労収入の割合が高くなっている。

年齢別に詳細にみると、30～50歳代では「自分の就労等による収入」の割合が「自分の年金や手当」の割合より高く、2～3割台を占めている。また、40～50歳代と65～74歳では他の年代に比べて「生活保護」の割合が高く、1割を超えている。

手帳等級別にみると、重度・中度・軽度いずれにおいても「自分の年金や手当」の割合が高く、1・2級の重度者では6割弱(56.4%)となっている。

世帯状況別にみると、一人暮らしやグループホーム・ケアホームでは、他に比べて「生活保護」(それぞれ18.4%)の割合が高く、2割弱を占めている。

【図表4-27 年齢(2区分、詳細)別、手帳等級別、世帯状況別 主な生活費】(%)

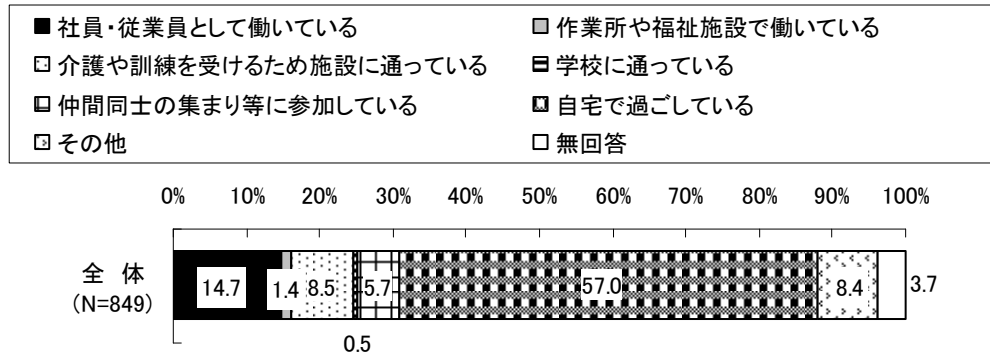
		調 査 数 (人)	主な生活費						
			や自 手 当 分の 年金	入等自 に 分の よる 就労 収	や家 手 族 当 の 年金	入等家 に 族 よる 就労 収	生 活 保 護	そ の 他	無 回 答
区 年 分 2	全 体	849	53.8	10.0	11.3	11.7	7.5	2.8	2.9
	64歳以下	277	21.2	26.7	11.5	25.1	9.1	3.6	2.8
	65歳以上	572	69.6	1.9	11.3	5.2	6.7	2.4	2.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
年 齢 詳 細	全 体	849	53.8	10.0	11.3	11.7	7.5	2.8	2.9
	20歳代以下	21	26.3	17.1	5.3	46.1	-	1.3	3.9
	30歳代	29	20.0	25.9	15.3	30.6	4.7	-	3.5
	40歳代	49	16.9	27.3	10.4	27.3	13.0	-	5.2
	50歳代	88	11.4	30.4	8.9	25.3	13.9	6.3	3.8
	60～64歳	90	32.2	25.3	14.9	17.2	5.7	4.6	-
	65～74歳	100	56.4	5.5	12.9	7.4	12.9	3.7	1.2
	75歳以上	472	72.4	1.1	10.9	4.7	5.5	2.2	3.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
手 帳 等 級	全 体	849	53.8	10.0	11.3	11.7	7.5	2.8	2.9
	重度(1・2級)	437	56.4	7.6	9.2	13.1	7.2	3.2	3.3
	中度(3・4級)	297	51.4	12.4	13.6	10.0	8.2	2.8	1.6
	軽度(5・6級)	96	49.8	14.4	15.7	11.0	5.8	-	3.4
	無回答	19	50.9	5.8	3.5	10.0	12.0	8.9	8.9
世 帯 状 況	全 体	849	53.8	10.0	11.3	11.7	7.5	2.8	2.9
	一人暮らし	179	57.6	11.0	2.9	0.2	18.4	6.0	4.0
	夫婦のみ	250	59.3	8.0	13.1	10.4	4.0	2.0	3.1
	二世帯同居(親と本人)	56	28.7	13.5	27.9	24.6	3.7	0.5	1.1
	二世帯同居(子と本人)	264	49.0	12.5	12.4	19.6	2.8	1.7	2.0
	三世帯同居	12	35.8	26.8	10.8	24.4	-	-	2.3
	その他	26	70.3	4.0	4.0	15.0	6.6	-	-
	グループホーム・ケアホーム	53	61.2	-	10.8	-	18.4	6.4	3.2
	無回答	9	56.0	-	18.7	6.6	-	-	18.7

4. 日中の過ごし方や外出について

(1) 主な日中の過ごし方

問14 あなたは、日中、主に何をして過ごしていますか。(○は1つだけ)

【図表4-28 主な日中の過ごし方】



回答者全体では「自宅で過ごしている」(57.0%)が6割弱を占めて最も多く、次いで「社員・従業員として働いている」(14.7%)となっている。

年齢2区分別にみると、高齢者(65歳以上)では「自宅で過ごしている」(64.2%)が6割強を占めているが、64歳以下では4割強(42.3%)に留まり、代って「社員・従業員として働いている」(37.0%)等の割合が高く、「作業所や福祉施設で働いている」(4.3%)をあわせると、64歳以下の4割強(41.3%)は就労している。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「作業所や福祉施設」(22.4%)の割合が高く、2割強を占めている。30～50歳代では「社員・従業員」の割合が4割台と最も高く、「自宅」、「介護や訓練」、「作業所や福祉施設」等が続いている。60歳代以上になると「自宅」が6割前後を占めている。

手帳等級別にみると、「社員・従業員」の割合は障がいの程度(手帳等級)が軽いほど高い。

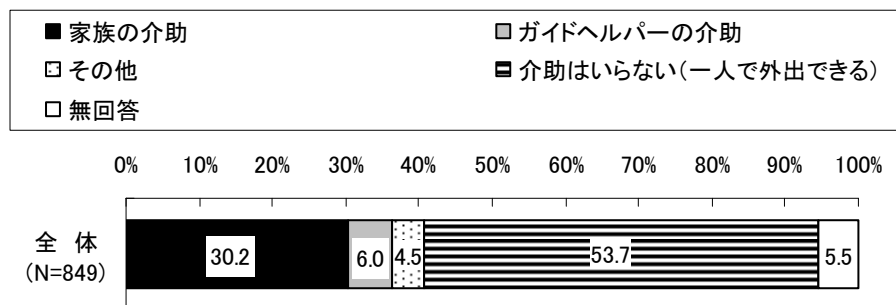
【図表4-29 年齢(2区分、詳細)別、手帳等級別 主な日中の過ごし方】(%)

		調査数（人）	主な日中の過ごし方							
			社員・従業員として働いている	作業所や福祉施設で働いている	介護や訓練を受けるため施設に通っている	学校に通っている	仲間同士に参加している	自宅で過ごしている	その他	無回答
全体		849	14.7	1.4	8.5	0.5	5.7	57.0	8.4	3.7
年齢区分2	64歳以下	277	37.0	4.3	5.5	1.5	0.6	42.3	5.9	2.9
	65歳以上	572	3.9	－	10.0	－	8.2	64.2	9.6	4.1
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全体		849	14.7	1.4	8.5	0.5	5.7	57.0	8.4	3.7
年齢詳細	20歳代以下	21	27.6	22.4	14.5	10.5	－	19.7	5.3	－
	30歳代	29	43.5	10.6	10.6	1.2	－	29.4	3.5	1.2
	40歳代	49	48.1	3.9	5.2	1.3	1.3	32.5	2.6	5.2
	50歳代	88	41.8	1.3	5.1	1.3	－	41.8	7.6	1.3
	60～64歳	90	26.4	1.1	2.3	－	1.1	57.5	6.9	4.6
	65～74歳	100	10.4	－	5.5	－	5.5	65.0	10.4	3.1
	75歳以上	472	2.5	－	10.9	－	8.7	64.0	9.5	4.4
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全体		849	14.7	1.4	8.5	0.5	5.7	57.0	8.4	3.7
手帳等級	重度（1・2級）	437	11.9	1.8	10.2	0.3	4.0	56.7	9.9	5.2
	中度（3・4級）	297	16.9	1.0	6.5	0.7	6.7	60.0	6.6	1.6
	軽度（5・6級）	96	21.4	0.3	6.6	1.3	11.4	46.5	7.9	4.7
	無回答	19	10.8	3.2	8.9	－	－	71.3	5.8	－

(2) 外出時に必要な介助

問15 あなたが外出するときに必要な介助はどれですか。(○は1つだけ)

【図表4-30 外出時に必要な介助】



回答者全体では「介助はいらない」(53.7%)が過半数を占めて最も多く、次いで「家族の介助」(30.2%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下と65歳以上では「家族の介助」の割合が高く、3割台を占めている。一方、30～50歳代と60歳代前半では「介助はいらない」の割合が高く、7割弱～8割弱を占めている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者は、他に比べて外出に介助が必要な人の割合が高く、「家族の介助」(35.7%)が4割弱を占めている。

障がい部位別にみると、視覚障がい者は、他に比べて外出に介助が必要な人の割合が高く、「家族の介助」(45.9%)が半数弱を占めているほか、「ガイドヘルパーの介助」(18.3%)も2割弱を占めている。

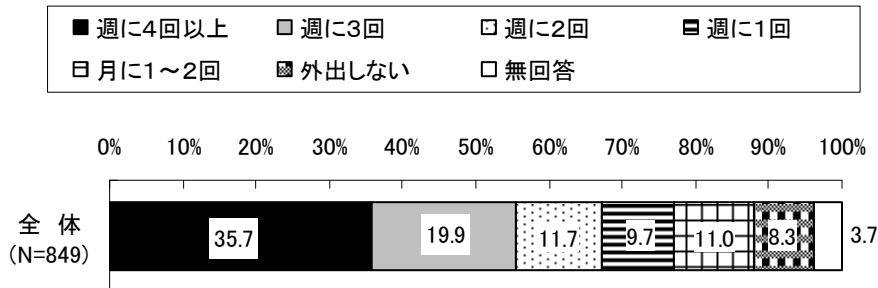
【図表4-31 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 外出時に必要な介助】(%)

		調査数 (人)	外出時に必要な介助				
			家族の 介助	のガイ ドヘル パー	その他	介助はい らない(一 人で外出 できる)	無回答
全 体		849	30.2	6.0	4.5	53.7	5.5
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	38.2	9.2	2.6	46.1	3.9
	30歳代	29	24.7	3.5	2.4	68.2	1.2
	40歳代	49	19.5	1.3	2.6	74.0	2.6
	50歳代	88	16.5	—	1.3	78.5	3.8
	60～64歳	90	18.4	2.3	4.6	70.1	4.6
	65～74歳	100	30.7	4.3	4.9	55.8	4.3
	75歳以上	472	36.0	8.7	5.5	42.9	6.9
	無回答	—	—	—	—	—	—
全 体		849	30.2	6.0	4.5	53.7	5.5
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	35.7	9.3	5.9	43.2	5.9
	中度(3・4級)	297	25.2	2.4	4.0	63.8	4.6
	軽度(5・6級)	96	23.2	3.6	0.7	68.9	3.6
	無回答	19	18.4	—	—	60.7	20.9
全 体		849	30.2	6.0	4.5	53.7	5.5
障 がい 部 位	視覚障がい	69	45.9	18.3	5.4	25.5	5.0
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	20.5	4.7	8.6	63.8	2.5
	肢体不自由	380	31.0	6.2	4.8	53.7	4.2
	内部障がい	280	28.8	3.1	1.6	59.7	6.8
	その他	31	21.3	8.3	16.5	38.9	14.9
	無回答	10	33.1	—	—	50.0	16.9

(3) 外出の頻度

問16 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

【図表4-32 外出の頻度】



回答者全体では「週に4回以上」(35.7%)が4割弱を占めて最も多く、以下「週に3回」(19.9%)が2割、「週に2回」(11.7%)と「月に1~2回」(11.0%)が1割強で続いており、「外出しない」(8.3%)も1割弱を占めている。

年齢別に詳細にみると、年齢が若いほど高頻度で外出する人の割合が高く、20歳代以下では「週に4回以上」(81.6%)が8割強を占めている。また、64歳以下では「外出しない」は5%未満に留まっている。

手帳等級別にみると、障がいの程度が軽いほど高頻度で外出する人の割合が高く、5・6級の軽度者では「週に4回以上」(42.2%)が4割強である。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「月に1~2回」(16.4%)と「外出しない」(18.3%)が2割弱を占めている。

【図表4-33 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 外出の頻度】(%)

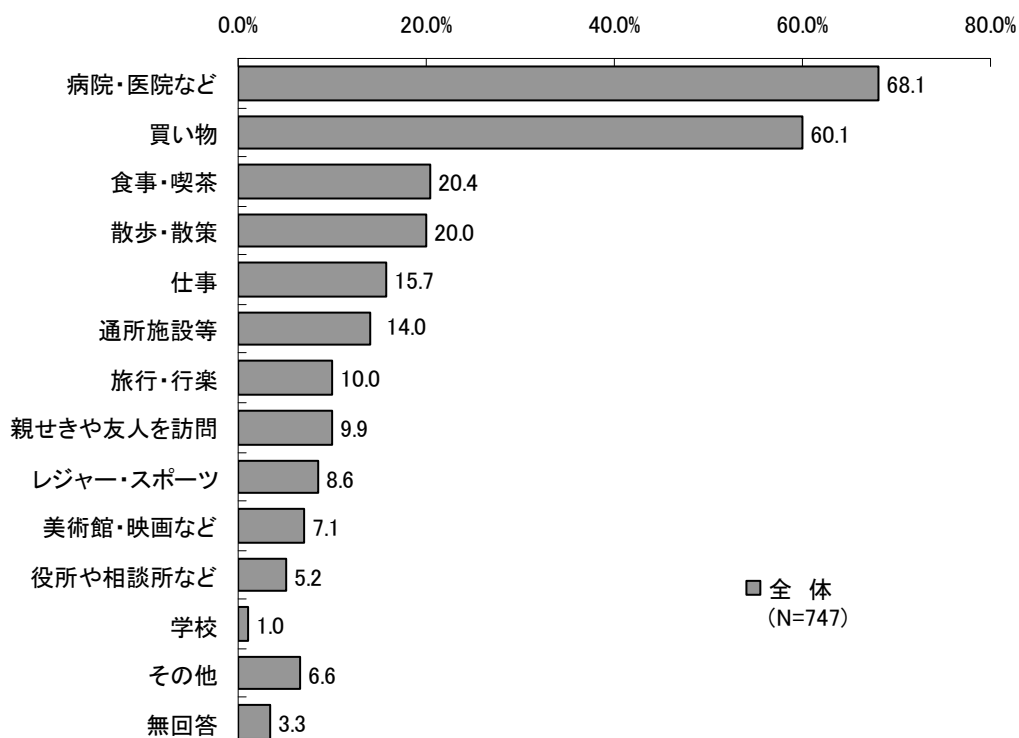
		調査数 (人)	外出の頻度						無回答
			週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	
全 体		849	35.7	19.9	11.7	9.7	11.0	8.3	3.7
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	81.6	7.9	5.3	-	3.9	1.3	-
	30歳代	29	71.8	9.4	8.2	3.5	5.9	-	1.2
	40歳代	49	59.7	9.1	11.7	9.1	5.2	2.6	2.6
	50歳代	88	54.4	16.5	11.4	6.3	7.6	1.3	2.5
	60~64歳	90	44.8	14.9	16.1	8.0	9.2	3.4	3.4
	65~74歳	100	30.7	20.9	17.2	11.0	9.8	6.7	3.7
	75歳以上	472	24.7	23.6	10.2	11.3	13.5	12.4	4.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		849	35.7	19.9	11.7	9.7	11.0	8.3	3.7
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	31.1	19.9	10.9	8.6	13.8	10.5	5.2
	中度(3・4級)	297	40.8	18.9	13.4	11.3	8.5	5.6	1.5
	軽度(5・6級)	96	42.2	20.5	10.3	9.8	8.2	7.2	1.8
	無回答	19	28.3	33.0	8.9	8.9	-	8.9	12.0
全 体		849	35.7	19.9	11.7	9.7	11.0	8.3	3.7
障 がい 部 位	視覚障がい	69	25.7	18.2	9.8	9.2	16.4	18.3	2.5
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	49.0	19.4	11.3	3.7	7.7	6.4	2.5
	肢体不自由	380	34.5	19.3	13.1	11.1	11.0	7.1	3.9
	内部障がい	280	36.2	20.6	11.1	9.9	10.4	8.2	3.7
	その他	31	42.7	25.1	6.8	5.5	5.0	11.0	3.9
	無回答	10	10.2	22.9	6.0	16.9	33.8	-	10.2

(4) 主な外出先

[問16で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問16-1 どのようなところに外出することが多いですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表4-34 主な外出先】



月に1回以上外出する人に主な外出先をたずねたところ、回答者全体では「病院・医院など」(68.1%)が最も多く、次いで「買い物」(60.1%)となっている。

年齢2区分別にみても、64歳以下・65歳以上ともに上位1・2位は「買い物」「病院・医院など」であるが、64歳以下では「買い物」(68.7%)、65歳以上では「病院・医院など」(72.1%)が最も多くなっている。また、64歳以下の方が外出先が多様であり、65歳以上に比べて「仕事」(36.5%)や「食事・喫茶」(26.5%)等の割合が高い。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では他に比べて「病院・医院など」(71.0%)の割合が高く、「買い物」(52.5%)等の割合が低い。

【図表4-35 年齢2区分別、手帳等級別 主な外出先】(%)

		調査数（人）	主な外出先													
			病院・医院など	買い物	食事・喫茶	散歩・散策	仕事	通所施設等	旅行・行楽	訪問親せきや友人を	レジャー・スポーツ	ど美術館・映画など	ど役所や相談所など	学校	その他	無回答
全 体		747	68.1	60.1	20.4	20.0	15.7	14.0	10.0	9.9	8.6	7.1	5.2	1.0	6.6	3.3
区 分	年齢 64歳以下	264	60.7	68.7	26.5	18.1	36.5	10.4	9.3	12.8	11.2	9.8	5.3	2.9	4.2	3.7
	65歳以上	483	72.1	55.5	17.0	21.0	4.3	15.9	10.4	8.3	7.2	5.5	5.2	－	7.9	3.0
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		747	68.1	60.1	20.4	20.0	15.7	14.0	10.0	9.9	8.6	7.1	5.2	1.0	6.6	3.3
手帳等級	重度（1・2級）	368	71.0	52.5	19.1	17.3	13.8	15.5	8.5	8.1	7.5	6.1	5.1	1.0	5.5	3.6
	中度（3・4級）	276	65.9	67.8	22.4	21.4	16.0	11.0	11.9	11.2	8.6	7.8	4.9	0.9	8.9	3.4
	軽度（5・6級）	87	59.6	64.5	20.9	22.8	23.3	16.9	10.0	14.0	13.5	8.5	5.4	1.4	5.1	2.0
	無回答	15	83.6	80.8	11.3	41.0	13.7	15.3	14.6	6.8	7.3	9.5	11.2	－	－	－

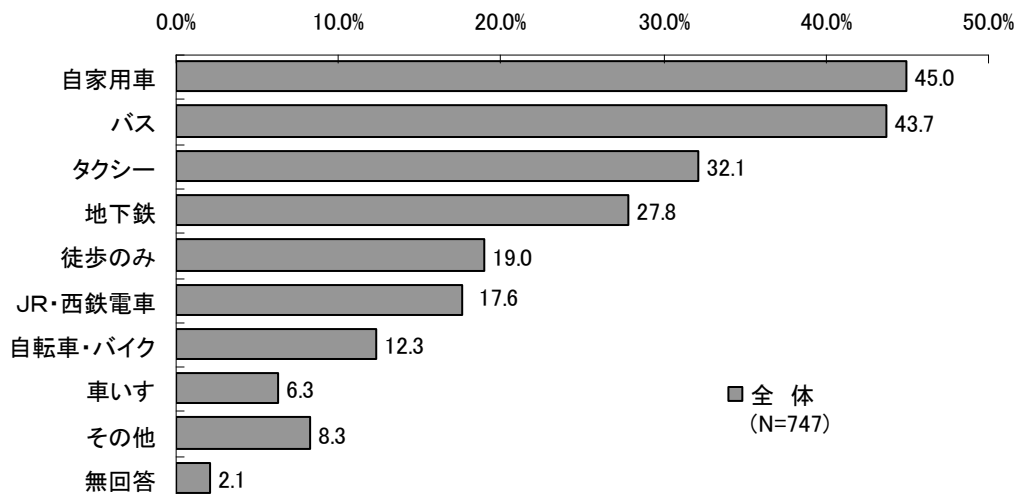
(5) 外出時の移動手段

[問16で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問16-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。

(○はあてはまるものすべて)

【図表4-36 外出時の移動手段】



月に1回以上外出する人に外出時の移動手段をたずねたところ、回答者全体では「自家用車」(45.0%)や「バス」(43.7%)が4割を超えて多く、次いで「タクシー」(32.1%)、「地下鉄」(27.8%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下は高齢者に比べて「自家用車」(59.2%)や「自転車・バイク」(18.0%)等の割合が高く、「タクシー」(18.8%)の割合が低い。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では他に比べて「タクシー」(34.5%)や「車いす」(9.2%)の割合が高く、「バス」(38.7%)、「自転車・バイク」(9.7%)等の割合が低くなっている。

障がい部位別にみると、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは他に比べて「地下鉄」(46.4%)の割合が高い。

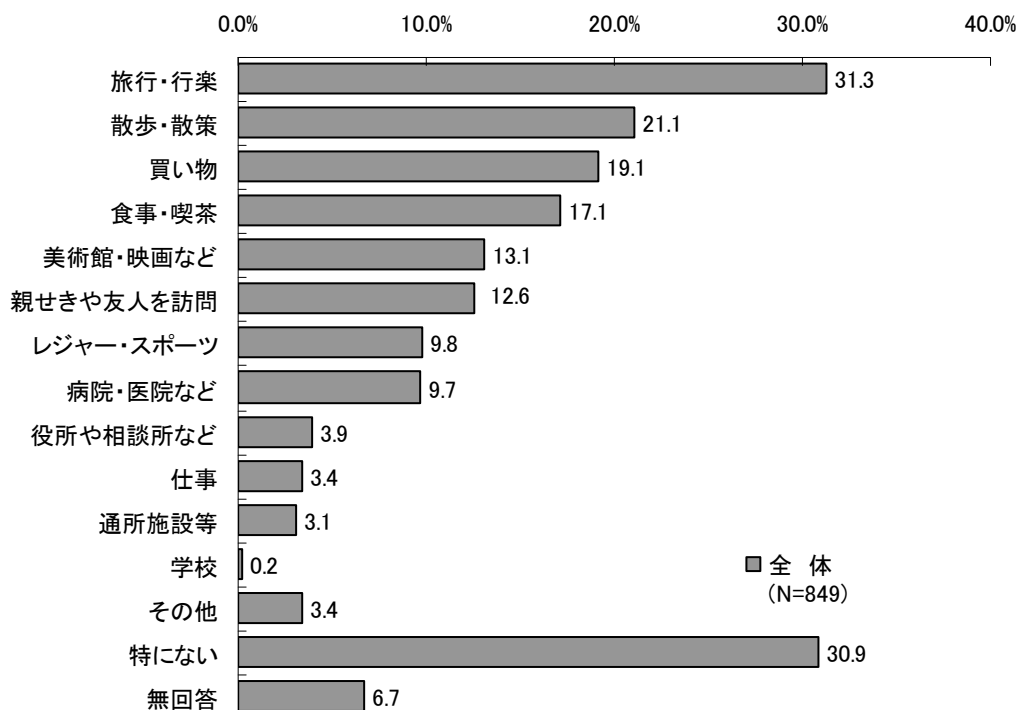
【図表4-37 年齢2区分別、手帳等級別、障がい部位別 外出時の移動手段】(%)

	調査数(人)	外出時の移動手段									
		自家用車	バス	タクシー	地下鉄	徒歩のみ	JR・西鉄電車	自転車・バイク	車いす	その他	無回答
全 体	747	45.0	43.7	32.1	27.8	19.0	17.6	12.3	6.3	8.3	2.1
年 齢 分 2											
64歳以下	264	59.2	42.4	18.8	29.2	19.0	18.2	18.0	5.4	5.7	1.0
65歳以上	483	37.2	44.5	39.4	27.0	19.0	17.3	9.1	6.8	9.7	2.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手 帳 等 級											
全 体	747	45.0	43.7	32.1	27.8	19.0	17.6	12.3	6.3	8.3	2.1
重度(1・2級)	368	41.9	38.7	34.5	24.0	18.7	15.3	9.7	9.2	10.0	3.0
中度(3・4級)	276	49.2	50.3	29.8	32.7	17.5	20.8	13.7	3.6	6.7	0.9
軽度(5・6級)	87	44.0	44.6	30.4	29.1	23.0	15.2	15.4	3.9	7.2	2.0
無回答	15	48.8	40.8	26.0	22.8	28.3	30.0	32.0	-	-	-
障 が い 部 位											
全 体	747	45.0	43.7	32.1	27.8	19.0	17.6	12.3	6.3	8.3	2.1
視覚障がい	55	28.7	44.8	30.6	34.7	28.7	20.6	3.2	6.3	12.5	4.9
聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	72	37.6	45.4	17.3	46.4	25.4	21.0	18.6	4.8	14.8	1.2
肢体不自由	338	49.1	41.4	33.3	26.4	15.5	14.7	8.0	10.0	8.7	1.2
内部障がい	247	48.8	45.9	34.5	22.1	17.7	19.0	18.5	2.0	4.8	3.2
その他	27	16.2	52.7	25.3	27.2	32.9	16.8	15.5	5.7	10.8	-
無回答	9	30.2	25.5	69.8	44.3	32.2	44.3	-	-	-	-

(6) 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ

問17 あなたが、今後、外出の回数を増やしたいところや、新たに外出したいところはどうなところですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-38 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ】



回答者全体では「旅行・行楽」(31.3%)が最も多く、次いで「散歩・散策」(21.1%)、「買い物」(19.1%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「旅行・行楽」(52.6%)、「レジャー・スポーツ」(30.3%)、「仕事」(14.5%)等の割合が高い。

障がい部位別にみると、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「買い物」(31.6%)の割合が高くなっている。

【図表4-39 年齢詳細別、障がい部位別

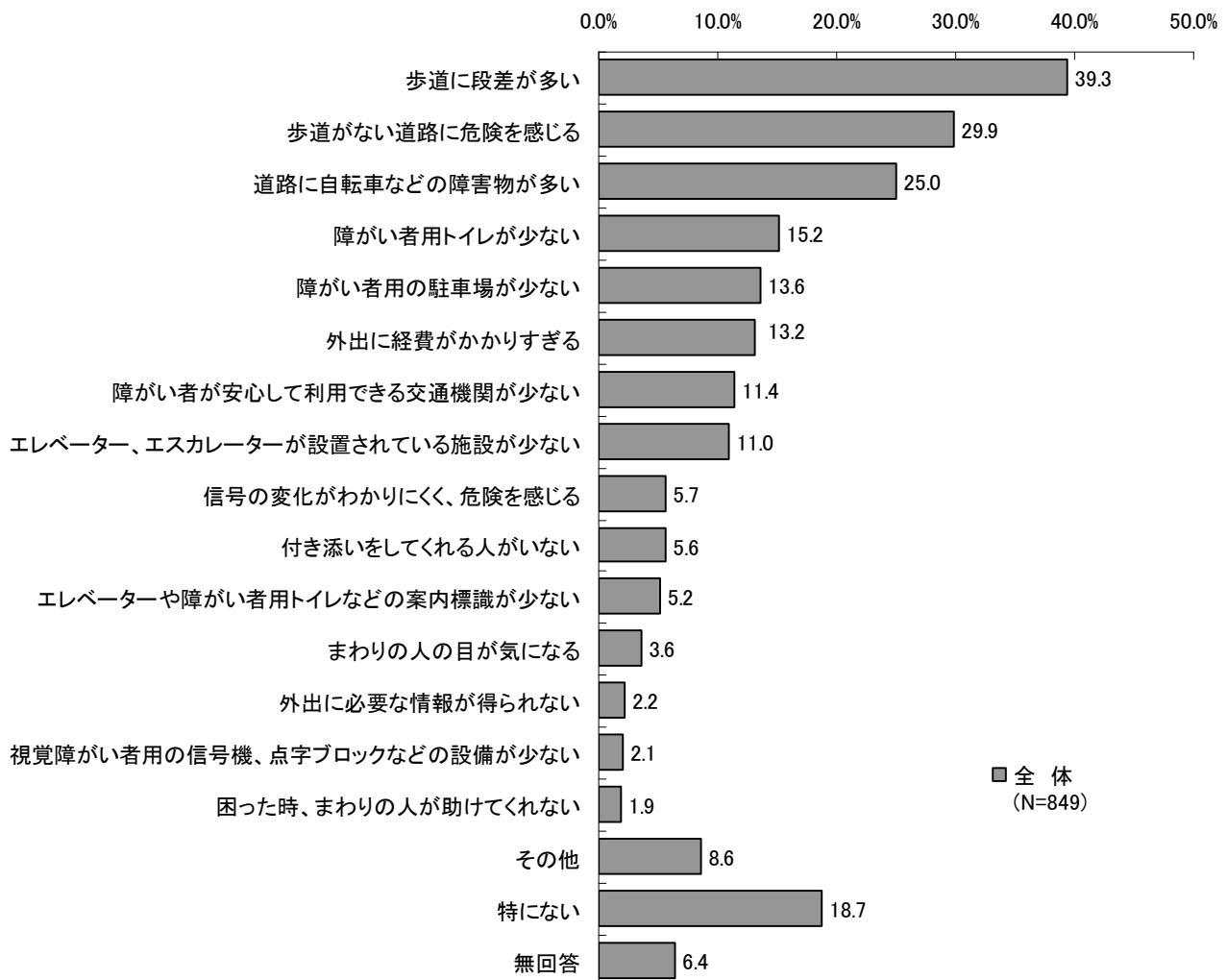
外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ】(%)

		調査数（人）	外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ														
			旅行・行楽	散歩・散策	買い物	食事・喫茶	美術館・映画など	親せきや友人を訪問	レジャー・スポーツ	病院・医院など	役所や相談所など	仕事	通所施設等	学校	その他	特にない	無回答
全 体		849	31.3	21.1	19.1	17.1	13.1	12.6	9.8	9.7	3.9	3.4	3.1	0.2	3.4	30.9	6.7
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	52.6	21.1	19.7	23.7	17.1	13.2	30.3	2.6	6.6	14.5	2.6	1.3	3.9	18.4	3.9
	30歳代	29	36.5	12.9	16.5	15.3	12.9	11.8	14.1	7.1	5.9	8.2	4.7	-	4.7	29.4	3.5
	40歳代	49	41.6	23.4	20.8	20.8	20.8	9.1	18.2	2.6	1.3	9.1	3.9	-	3.9	28.6	3.9
	50歳代	88	45.6	17.7	10.1	13.9	20.3	8.9	15.2	7.6	3.8	10.1	-	-	-	31.6	1.3
	60～64歳	90	41.4	21.8	19.5	14.9	18.4	6.9	12.6	6.9	3.4	4.6	-	-	2.3	29.9	6.9
	65～74歳	100	38.0	23.3	20.9	19.6	12.9	11.7	9.8	12.3	3.7	2.5	3.7	-	1.8	25.2	6.1
	75歳以上	472	22.9	21.5	20.4	17.1	9.8	14.9	6.2	11.3	4.0	0.7	4.0	0.4	4.4	33.1	8.4
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		849	31.3	21.1	19.1	17.1	13.1	12.6	9.8	9.7	3.9	3.4	3.1	0.2	3.4	30.9	6.7
障 がい 部 位	視覚障がい	69	20.2	25.4	13.6	17.9	1.0	5.9	4.2	4.2	3.0	2.5	0.9	-	8.4	41.2	5.0
	聴覚・平衡機能、音声・言語障がい	79	33.6	21.8	31.6	16.4	16.8	11.8	10.1	13.2	6.5	5.6	4.4	-	8.7	23.9	4.2
	肢体不自由	380	31.8	21.3	21.3	16.5	15.8	14.8	10.2	8.3	3.7	3.4	2.5	-	2.3	29.2	7.2
	内部障がい	280	33.1	21.7	14.7	18.1	12.6	11.2	10.3	9.8	3.4	3.4	4.0	0.7	2.4	32.1	6.8
	その他	31	24.4	8.4	14.3	16.3	6.4	13.0	12.5	25.9	6.6	1.1	5.5	-	1.1	38.3	7.5
	無回答	10	39.8	6.0	16.9	16.9	-	16.9	6.0	16.9	-	-	-	-	-	27.1	10.2

(7) 外出時に不便や困難を感じること

問18 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。(○は5つまで)

【図表4-40 外出時に不便や困難を感じること】



回答者全体では「歩道に段差が多い」(39.3%)が最も多く、次いで「歩道がない道路に危険を感じる」(29.9%)、「道路に自転車などの障害物が多い」(25.0%)となっている。

年齢別に詳細にみると、40歳代以下では、50歳代以上に比べて「まわりの人の目が気になる」の割合が高く、1割を超えている。また、30歳代以下では「歩道がない道路に危険を感じる」の割合が高く、4割を超えている。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは他に比べて「歩道がない道路に危険を感じる」や「歩道に段差が多い」等の道路環境に関する事項の割合が高い。また、肢体不自由でも「歩道に段差が多い」の割合は半数を占めて高い。このほか、視覚障がいでは「信号の変化がわかりにくく、危険を感じる」(37.1%)や「道路に自転車などの障害物が多い」(36.8%)、「視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない」(18.4%)等の割合が高く、肢体不自由では「障がい者用トイレが少ない」(23.3%)や「障がい者用の駐車場が少ない」(17.7%)等の割合が高い。

【図表4-41 年齢詳細別、障がい部位別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

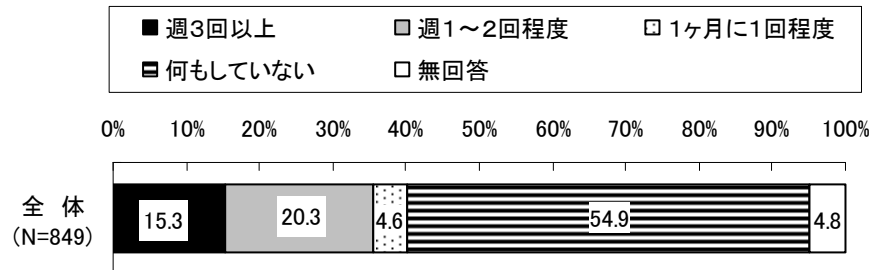
		調 査 数 （ 人 ）	外出時に不便や困難を感じること																	
			歩道に段差が多い	歩道がない道路に危険を感じる	道路に自転車などの障害物が多い	障がい者用トイレが少ない	障がい者用の駐車場が少ない	外出に経費がかかりすぎる	通機関が少ない	障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない	エレベーター、エスカレーターが感じる	信号の変化がわかりにくく、危険を感じる	付き添いをしてくれる人がいない	などの案内標識が少ない	エレベーターや障がい者用トイレ	まわりの人の目が気になる	外出に必要な情報が得られない	視覚障がい者用の信号機、点字ブ	ロックなどの設備が少ない	困った時、まわりの人が助けてくれない
全 体		849	39.3	29.9	25.0	15.2	13.6	13.2	11.4	11.0	5.7	5.6	5.2	3.6	2.2	2.1	1.9	8.6	18.7	6.4
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	43.4	42.1	22.4	22.4	14.5	14.5	25.0	9.2	3.9	7.9	9.2	15.8	5.3	2.6	5.3	13.2	13.2	5.3
	30歳代	29	45.9	40.0	25.9	15.3	28.2	15.3	17.6	9.4	5.9	10.6	9.4	12.9	7.1	2.4	4.7	8.2	17.6	1.2
	40歳代	49	44.2	32.5	33.8	9.1	20.8	18.2	14.3	9.1	5.2	3.9	6.5	13.0	2.6	1.3	3.9	9.1	16.9	－
	50歳代	88	44.3	29.1	27.8	22.8	8.9	19.0	12.7	7.6	3.8	7.6	5.1	3.8	3.8	1.3	6.3	16.5	－	
	60～64歳	90	37.9	31.0	19.5	12.6	18.4	8.0	3.4	10.3	6.9	4.6	9.2	3.4	1.1	5.7	1.1	5.7	23.0	5.7
	65～74歳	100	41.1	23.3	26.4	13.5	19.6	11.7	17.2	14.1	8.0	4.3	8.0	4.3	1.2	3.7	3.1	6.7	18.4	6.7
	75歳以上	472	37.1	29.8	24.4	14.9	8.0	14.5	9.1	10.5	4.7	6.2	2.9	1.1	1.8	0.7	1.5	9.8	18.9	8.7
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	39.3	29.9	25.0	15.2	13.6	13.2	11.4	11.0	5.7	5.6	5.2	3.6	2.2	2.1	1.9	8.6	18.7	6.4
障 が い 部 位	視覚障がい	69	49.0	53.4	36.8	10.2	4.3	7.7	16.2	2.5	37.1	1.5	4.4	2.3	－	18.4	0.5	5.4	12.8	9.9
	聴覚、平衡機能、 音声・言語障がい	79	32.2	31.3	20.3	11.6	12.1	9.1	15.0	2.8	2.3	8.5	2.1	4.9	2.5	－	2.3	16.3	19.8	5.8
	肢体不自由	380	50.0	29.9	26.7	23.3	17.7	17.2	13.2	12.5	2.8	7.4	6.4	4.2	2.7	0.5	2.6	6.0	12.0	5.8
	内部障がい	280	24.7	25.2	21.0	7.7	10.9	10.0	7.1	13.7	3.0	3.6	5.2	2.0	1.1	0.6	1.0	9.4	28.8	6.4
	その他	31	38.7	24.3	28.4	8.2	16.5	13.2	7.7	12.3	6.2	5.0	2.8	10.6	11.0	3.3	5.9	22.0	20.6	7.5
	無回答	10	28.9	6.0	16.9	－	－	16.9	16.9	－	－	－	－	－	－	－	－	10.2	16.9	10.2

5. スポーツについて

(1) スポーツの頻度

問19 あなたは、どの程度スポーツ（散歩やランニング程度のものを含む）をしていますか。
（○は1つだけ）

【図表4-42 スポーツの頻度】



回答者全体では「何もしていない」(54.9%)が半数強を占めて最も多く、次いで「週1～2回」(20.3%)、「週3回以上」(15.3%)となっている。

年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では「週3回以上」(17.6%)の割合がやや高く、2割弱となっている。

手帳等級別にみると、スポーツを何もしていない人の割合は、1・2級の重度者(59.8%)で6割と他に比べて高い。

【図表4-43 年齢2区分別、手帳等級別 スポーツの頻度】(%)

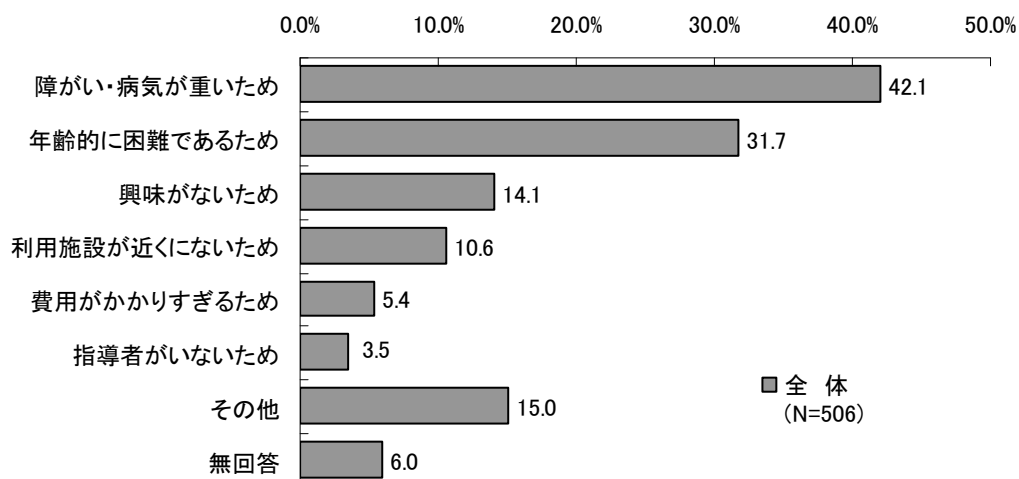
	調査数(人)	スポーツの頻度				
		週3回以上	週1～2回程度	1ヶ月に1回程度	何もしていない	無回答
全体	849	15.3	20.3	4.6	54.9	4.8
年齢区分						
64歳以下	277	10.6	23.4	5.3	58.7	2.0
65歳以上	572	17.6	18.9	4.3	53.1	6.2
無回答	-	-	-	-	-	-
全体	849	15.3	20.3	4.6	54.9	4.8
手帳等級						
重度(1・2級)	437	12.4	19.9	3.0	59.8	4.8
中度(3・4級)	297	19.7	20.2	6.6	49.2	4.3
軽度(5・6級)	96	14.7	25.2	5.9	52.5	1.8
無回答	19	17.8	7.2	3.3	45.4	26.3

(2) スポーツをしていない理由

[問19で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問19-1 それはなぜですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-44 スポーツをしていない理由】



スポーツをしていない人、及び1ヶ月に1回程度しかしない人に、その理由をたずねたところ、回答者全体では「障がい・病気が重いため」(42.1%)が4割強と最も多く、次いで「年齢的に困難であるため」(31.7%)となっている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下と50歳代では「興味がないため」の割合が他に比べて高く、3割弱を占めている。75歳以上では「年齢的に困難であるため」(52.2%)が過半数となっている。

手帳等級別にみると「障がい・病気が重いため」の割合は、1・2級の重度者(53.1%)で他に比べて高い。

【図表4-45 年齢詳細別、手帳等級別 スポーツをしていない理由】(%)

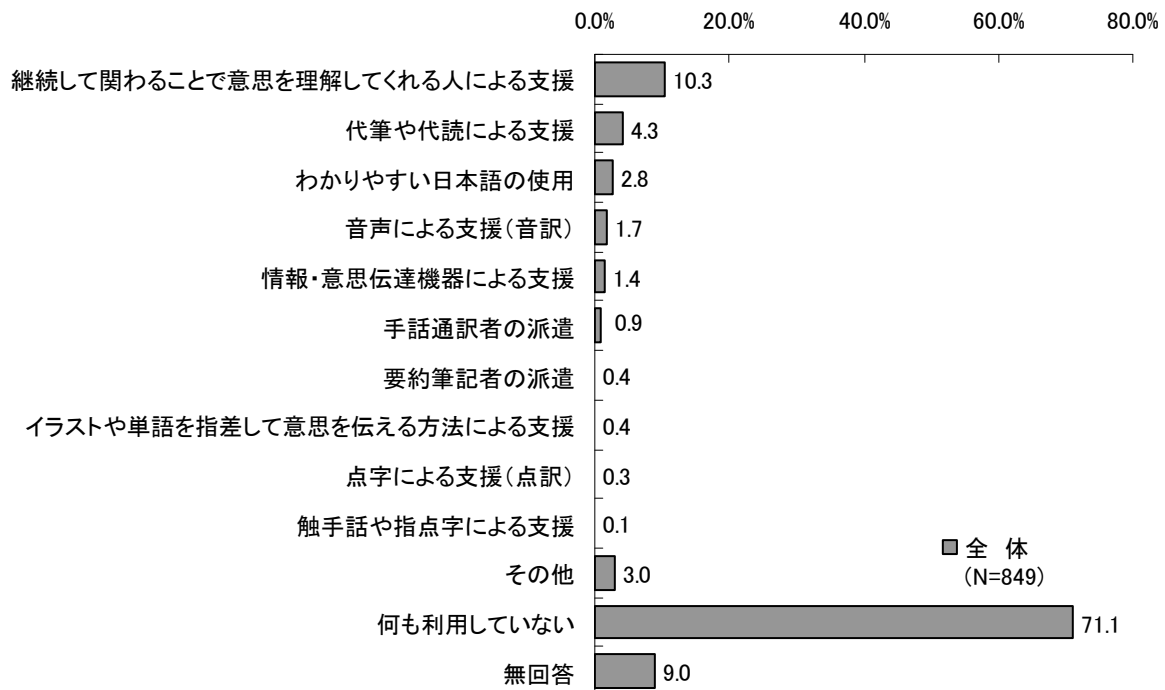
		調査数（人）	スポーツをしていない理由							
			障がい・病気が重いため	年齢的に困難であるため	興味がないため	利用施設が近くにないため	費用がかかりすぎるため	指導者がいないため	その他	無回答
全 体		506	42.1	31.7	14.1	10.6	5.4	3.5	15.0	6.0
年 齢 詳 細	20歳代以下	14	49.0	－	27.5	21.6	5.9	9.8	17.6	2.0
	30歳代	20	50.8	－	27.1	8.5	8.5	10.2	16.9	1.7
	40歳代	34	37.7	3.8	18.9	17.0	7.5	5.7	26.4	1.9
	50歳代	56	40.0	4.0	26.0	14.0	4.0	10.0	18.0	8.0
	60～64歳	54	51.9	9.6	15.4	13.5	9.6	3.8	19.2	5.8
	65～74歳	55	44.4	16.7	15.6	13.3	11.1	5.6	17.8	4.4
	75歳以上	273	39.6	52.2	8.8	7.5	3.1	0.6	11.3	6.9
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		506	42.1	31.7	14.1	10.6	5.4	3.5	15.0	6.0
手 帳 等 級	重度（1・2級）	274	53.1	28.0	8.4	11.7	5.3	3.8	9.2	6.1
	中度（3・4級）	166	28.9	33.7	19.6	9.6	4.6	3.4	21.9	8.1
	軽度（5・6級）	56	30.3	40.2	27.1	5.6	6.2	3.1	24.4	－
	無回答	9	24.8	54.8	3.6	24.8	16.6	－	6.7	－

6. コミュニケーションについて

(1) 利用しているコミュニケーション支援

問20 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用していますか。（〇はあてはまるものすべて）

【図表4-46 利用しているコミュニケーション支援】



回答者全体では「何も利用していない」(71.1%)が7割強となっている。利用しているものとしては、「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(10.3%)、「代筆や代読による支援」(4.3%)、「わかりやすい日本語の使用」(2.8%)等が比較的多くなっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下と75歳以上では「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」の割合が高く、1～2割台となっている。また、30～50歳代と60歳代前半では「何も利用していない」の割合が8割を超えている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(12.7%)等、何らかのコミュニケーション支援を利用している人の割合が高い。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(25.2%)、「代筆や代読による支援」(16.8%)、「音声による支援」(7.4%)、「点字による支援」(3.4%)等、また、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「手話通訳者の派遣」(9.3%)、「要約筆記者の派遣」(4.8%)等の割合が他に比べて高い。

【図表4-47 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別

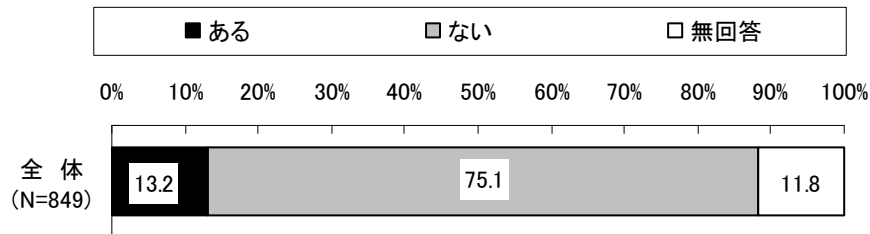
利用しているコミュニケーション支援】(%)

		調査数（人）	利用しているコミュニケーション支援												
			継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援	代筆や代読による支援	わかりやすい日本語の使用	音声による支援（音訳）	情報・意思伝達機器による支援	手話通訳者の派遣	要約筆記者の派遣	イラストや単語を指差して意思を伝える方法による支援	点字による支援（点訳）	触手話や指点字による支援	その他	何も利用していない	無回答
全 体		849	10.3	4.3	2.8	1.7	1.4	0.9	0.4	0.4	0.3	0.1	3.0	71.1	9.0
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	21.1	1.3	5.3	－	2.6	1.3	－	2.6	－	－	6.6	64.5	2.6
	30歳代	29	9.4	－	4.7	3.5	－	2.4	1.2	－	－	－	2.4	83.5	－
	40歳代	49	2.6	1.3	3.9	1.3	3.9	1.3	1.3	1.3	－	－	－	85.7	1.3
	50歳代	88	2.5	5.1	3.8	－	1.3	2.5	1.3	1.3	－	1.3	－	86.1	2.5
	60～64歳	90	1.1	3.4	3.4	1.1	1.1	1.1	－	1.1	－	－	1.1	85.1	4.6
	65～74歳	100	8.6	4.3	1.2	1.2	0.6	3.1	－	－	0.6	－	3.7	69.3	10.4
	75歳以上	472	14.2	5.1	2.5	2.2	1.5	－	0.4	－	0.4	－	4.0	64.0	12.4
無回答		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	10.3	4.3	2.8	1.7	1.4	0.9	0.4	0.4	0.3	0.1	3.0	71.1	9.0
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	12.7	5.2	3.3	3.2	2.0	1.6	0.9	0.7	0.5	－	2.5	66.1	9.0
	中度（3・4級）	297	6.7	1.3	2.9	0.1	0.8	－	－	0.1	－	－	2.8	78.3	9.4
	軽度（5・6級）	96	9.0	7.8	－	－	0.9	－	－	－	－	－	6.0	74.3	5.5
	無回答	19	16.6	14.7	5.8	－	－	5.8	－	－	－	5.8	3.2	56.7	20.9
全 体		849	10.3	4.3	2.8	1.7	1.4	0.9	0.4	0.4	0.3	0.1	3.0	71.1	9.0
障 がい 部 位	視覚障がい	69	25.2	16.8	－	7.4	2.4	0.9	－	－	3.4	－	5.0	52.6	8.7
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	15.8	9.5	2.2	－	4.1	9.3	4.8	1.3	－	1.4	9.1	56.1	3.7
	肢体不自由	380	9.1	2.5	4.3	1.9	0.5	－	－	0.6	－	－	1.6	72.2	11.2
	内部障がい	280	6.2	1.2	1.2	0.7	0.6	－	－	－	－	－	1.6	80.2	8.7
	その他	31	10.3	15.0	2.9	－	11.0	－	－	－	－	－	5.5	60.9	2.0
無回答		10	22.9	－	16.9	－	－	－	－	－	－	－	27.1	50.0	－

(2) コミュニケーションで困っていることの有無

問21 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）をする上で、困っていることがありますか。
（○は1つだけ）

【図表4-48 コミュニケーションで困っていることの有無】



回答者全体では「ない」（75.1%）が8割弱と大半を占めており、「ある」は13.2%となっている。

年齢別に詳細にみると、74歳以下では年齢が若いほど「ある」の割合が高くなっており、20歳代以下では4割強（42.1%）となっている。40歳代・50歳代では「ない」の割合が他に比べて高く、9割弱と大半を占める。

障がい部位別にみると、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいではコミュニケーションで困っていることがある人が4割強を占めている。

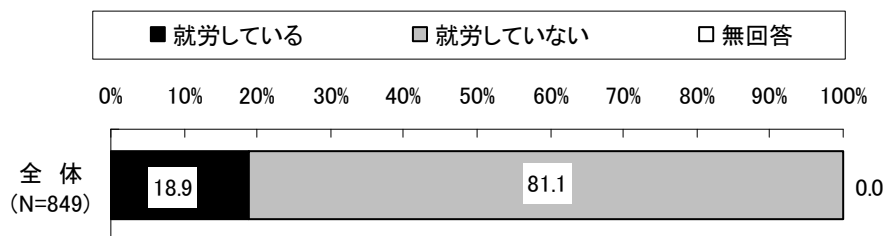
【図表4-49 年齢詳細別、障がい部位別 コミュニケーションで困っていることの有無】 (%)

		調 査 数 （人）	コミュニケーションで困っていること の有無		
			ある	ない	無 回 答
全 体		849	13.2	75.1	11.8
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	42.1	50.0	7.9
	30歳代	29	21.2	71.8	7.1
	40歳代	49	10.4	87.0	2.6
	50歳代	88	8.9	88.6	2.5
	60～64歳	90	9.2	79.3	11.5
	65～74歳	100	8.6	74.2	17.2
	75歳以上	472	14.2	72.0	13.8
	無回答	－	－	－	－
全 体		849	13.2	75.1	11.8
障 が い 部 位	視覚障がい	69	26.7	63.7	9.6
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	44.7	44.4	10.9
	肢体不自由	380	7.7	77.7	14.6
	内部障がい	280	8.1	83.2	8.7
	その他	31	20.0	69.5	10.5
	無回答	10	－	83.1	16.9

7. 就労について

(1) 就労の有無、就労形態

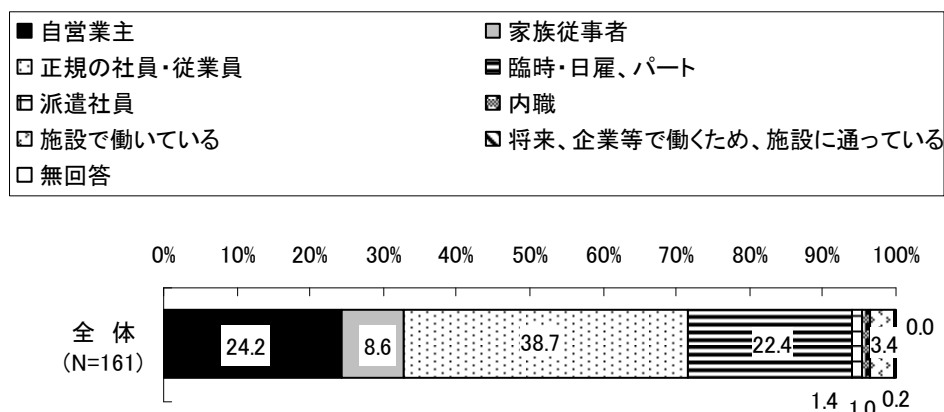
【図表4-50 就労の有無】



[現在就労している方のみお答えください]

問22 あなたの就労形態は何ですか。(○は1つだけ)

【図表4-51 就労形態】



回答者849人の2割弱（18.9%）は就労している。

年齢2区分別にみると、64歳以下では4割強（44.3%）が就労しており、特に30～40歳代では過半数が就労している。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では就労している人が3割弱を占めている。

就労している人の就労形態では、「正規の社員・従業員」（38.7%）が最も多く、次いで「自営業主」（24.2%）、「臨時・日雇、パート」（22.4%）となっている。

年齢別に詳細にみると50歳以上では「自営業主」、65歳以上ではそれに加えて「家族従事者」の割合が高い。

【図表4-52 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別 就労の有無、就労形態】（％）

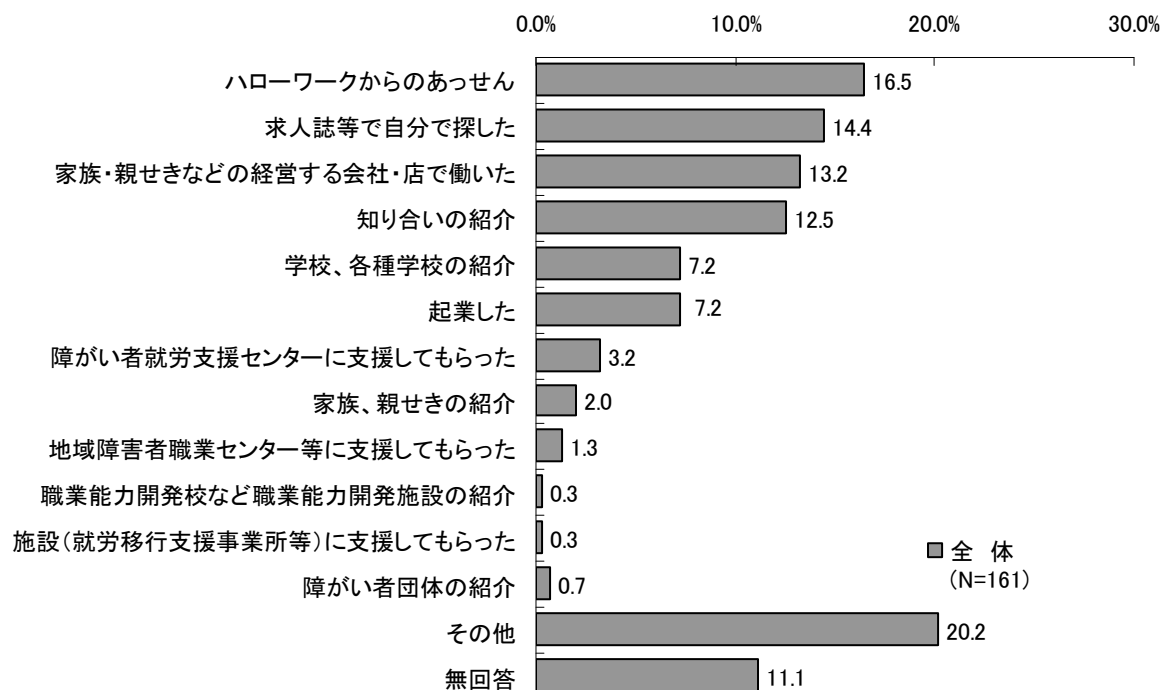
		調査数（人）	就労の有無			調査数（人）	就労形態								
			就労している	就労していない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	施設で働いている	将来、企業等で働いた め、施設に通っている	無回答
区分	全 体	849	18.9	81.1	－	161	24.2	8.6	38.7	22.4	1.4	1.0	3.4	0.2	－
	64歳以下	277	44.3	55.7	－	123	17.4	2.7	47.1	24.8	1.9	1.4	4.5	0.2	－
	65歳以上	572	6.6	93.4	－	38	46.6	28.0	11.1	14.3	－	－	－	－	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	18.9	81.1	－	161	24.2	8.6	38.7	22.4	1.4	1.0	3.4	0.2	－
年齢詳細	20歳代以下	21	34.2	65.8	－	7	－	3.7	44.4	25.9	7.4	－	14.8	3.7	－
	30歳代	29	51.8	48.2	－	15	－	4.5	59.1	22.7	－	－	13.6	－	－
	40歳代	49	53.2	46.8	－	26	－	4.9	51.2	34.1	2.4	2.4	4.9	－	－
	50歳代	88	49.4	50.6	－	44	20.5	2.6	46.2	25.6	2.6	－	2.6	－	－
	60～64歳	90	34.5	65.5	－	31	40.0	－	40.0	16.7	－	3.3	－	－	－
	65～74歳	100	15.3	84.7	－	15	36.0	24.0	16.0	24.0	－	－	－	－	－
	75歳以上	472	4.7	95.3	－	22	53.8	30.8	7.7	7.7	－	－	－	－	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	18.9	81.1	－	161	24.2	8.6	38.7	22.4	1.4	1.0	3.4	0.2	－
手帳等級	重度（1・2級）	437	15.5	84.5	－	68	27.1	5.2	42.2	17.4	2.5	2.5	3.2	－	－
	中度（3・4級）	297	21.4	78.6	－	64	27.7	11.0	32.6	24.0	－	－	4.3	0.4	－
	軽度（5・6級）	96	27.3	72.7	－	26	10.8	12.6	46.1	28.1	2.4	－	－	－	－
	無回答	19	14.0	86.0	－	3	－	－	23.4	53.8	－	－	22.8	－	－

(2) 仕事を探した方法

[現在就労している方のみお答えください]

問23 どのような方法で仕事を探しましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-53 仕事を探した方法】



就労している人に仕事を探した方法をたずねたところ、回答者全体では「ハローワークからのあっせん」(16.5%)や「求人誌等で自分で探した」(14.4%)等が多くなっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「ハローワークからのあっせん」(21.6%)の割合が高く、2割強を占めている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下と30歳代では「学校、各種学校の紹介」が3割弱を占めている。また、40歳代～60歳代前半では「知り合いの紹介」の割合が高く、1～2割台となっている。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「求人誌等で自分で探した」(28.3%)の割合が高い。

障がい部位別にみると、視覚障がいや聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは他に比べて「ハローワークからのあっせん」の割合が高く、3割前後を占めている。

【図表4-54 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別、就労形態別
仕事を探した方法】（％）

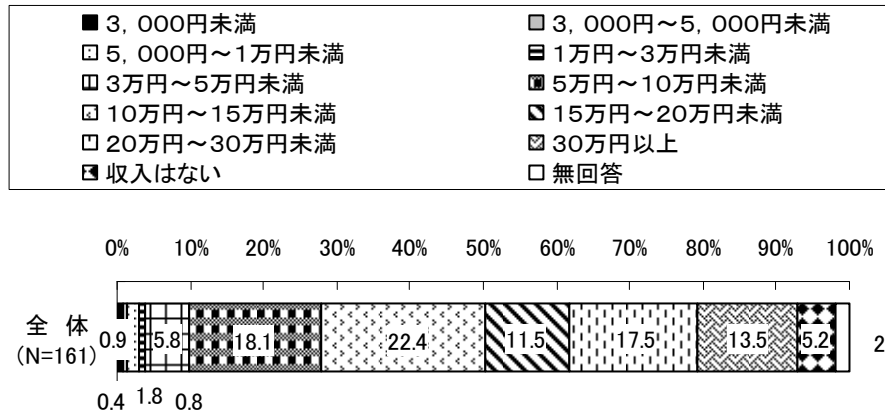
		調査数（人）	仕事を探した方法													
			ハローワークからのあつせん	求人誌等で自分で探した	家族・親せきなどの経営する会社・店で働いた	知り合いの紹介	学校、各種学校の紹介	起業した	障がい者就業支援センターに支援してもらった	家族、親せきの紹介	地域障害者職業センター等に支援してもらった	障がい者団体の紹介	職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介	施設（就労移行支援事業所等）に支援してもらった	その他	無回答
全体		161	16.5	14.4	13.2	12.5	7.2	7.2	3.2	2.0	1.3	0.7	0.3	0.3	20.2	11.1
年齢区分2	64歳以下	123	21.6	15.0	8.7	15.3	9.4	5.1	4.2	2.6	1.7	0.9	0.4	0.4	22.5	5.5
	65歳以上	38	-	12.7	28.0	3.2	-	14.0	-	-	-	-	-	-	12.7	29.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		161	16.5	14.4	13.2	12.5	7.2	7.2	3.2	2.0	1.3	0.7	0.3	0.3	20.2	11.1
年齢詳細	20歳代以下	7	25.9	22.2	3.7	7.4	25.9	-	7.4	3.7	-	11.1	7.4	7.4	3.7	-
	30歳代	15	34.1	25.0	9.1	2.3	25.0	-	4.5	2.3	6.8	2.3	-	-	9.1	2.3
	40歳代	26	29.3	24.4	9.8	19.5	9.8	-	7.3	9.8	-	-	-	-	17.1	-
	50歳代	44	15.4	15.4	10.3	12.8	7.7	2.6	-	-	-	-	-	-	28.2	7.7
	60～64歳	31	16.7	-	6.7	23.3	-	16.7	6.7	-	3.3	-	-	-	30.0	10.0
	65～74歳	15	-	20.0	24.0	8.0	-	12.0	-	-	-	-	-	-	20.0	16.0
	75歳以上	22	-	7.7	30.8	-	-	15.4	-	-	-	-	-	-	7.7	38.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		161	16.5	14.4	13.2	12.5	7.2	7.2	3.2	2.0	1.3	0.7	0.3	0.3	20.2	11.1
手帳等級	重度（1・2級）	68	21.7	5.1	6.2	15.1	10.3	6.6	6.8	2.3	2.0	0.9	0.8	-	25.3	13.3
	中度（3・4級）	64	9.5	17.5	21.9	10.0	3.5	10.1	1.0	2.5	-	0.4	-	0.9	19.5	11.1
	軽度（5・6級）	26	19.6	28.3	11.6	13.0	7.7	2.3	-	-	-	1.1	-	-	10.9	6.6
	無回答	3	23.4	41.3	-	-	10.2	-	-	-	25.2	-	-	-	-	-
全体		161	16.5	14.4	13.2	12.5	7.2	7.2	3.2	2.0	1.3	0.7	0.3	0.3	20.2	11.1
障がい部位	視覚障がい	14	29.8	10.3	-	15.2	4.3	12.1	7.3	-	-	-	-	1.9	27.4	8.6
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	14	32.0	19.6	-	19.2	19.1	-	17.8	-	7.2	-	1.9	-	2.3	4.2
	肢体不自由	66	17.1	21.7	19.5	10.5	6.8	4.1	1.4	1.9	0.5	0.8	0.4	0.4	20.3	6.7
	内部障がい	59	10.8	6.8	11.3	13.3	4.0	12.1	1.2	3.2	0.6	1.0	-	-	23.4	16.7
	その他	6	-	10.3	28.8	4.6	21.8	-	-	-	5.7	-	-	-	-	28.8
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
全体		161	16.5	14.4	13.2	12.5	7.2	7.2	3.2	2.0	1.3	0.7	0.3	0.3	20.2	11.1
就労形態	自営業主	39	-	1.6	14.4	2.9	-	28.2	-	-	-	-	-	-	27.9	25.1
	家族従事者	14	-	-	62.0	-	-	4.4	-	-	-	-	-	-	8.8	24.8
	正規の社員・従業員	62	22.3	17.5	7.5	13.7	13.5	-	5.9	3.1	1.7	1.4	0.4	0.4	23.0	7.5
	臨時・日雇、パート	36	24.7	30.8	6.6	21.8	2.7	-	0.8	3.5	0.9	0.8	0.8	-	16.9	-
	派遣社員	2	60.5	27.5	-	-	-	-	12.0	-	-	-	-	-	-	-
	内職	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	施設で働いている	6	43.1	-	-	16.4	39.6	-	17.6	-	12.3	-	-	-	-	-
	将来、企業等で働くため、施設に通っている	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 月収

[現在就労している方のみお答えください]

問24 あなたの、ふだんの月収(手取り額)はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。(〇は1つだけ)

【図表4-55 月収】



就労による月収は、回答者全体では「10万円～15万円未満」(22.4%)が最も多く、次いで「5万円～10万円未満」(18.1%)、「20万円～30万円未満」(17.5%)、「30万円以上」(13.5%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下と30歳代では「15万円～20万円未満」の割合が高いが、40歳代～60歳代前半では「20万円～30万円未満」の割合が2～3割と高くなっている。

就労形態別にみると、正社員・従業員では「15万円～20万円未満」(19.0%)や「20万円～30万円未満」(37.2%)等の20万円前後の層が6割弱(56.2%)を占めているが、臨時・日雇、パートでは「5万円～10万円未満」(44.2%)や「10万円～15万円未満」(26.7%)等の10万円前後の層が7割(70.9%)を占めている。

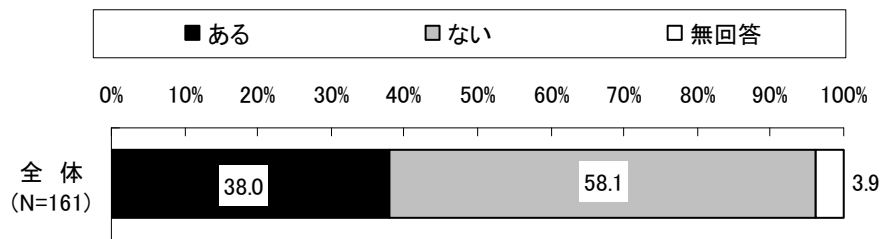
【図表4-56 年齢詳細別、就労形態別 月収】(%)

	調査数(人)	月収												収入はない	無回答
		3,000円未満	3,000円～5,000円未満	5,000円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上	収入はない	無回答		
全体	161	0.9	0.4	1.8	0.8	5.8	18.1	22.4	11.5	17.5	13.5	5.2	2.0		
年齢詳細															
20歳代以下	7	11.1	3.7	-	-	3.7	3.7	33.3	25.9	11.1	-	3.7	3.7		
30歳代	15	4.5	2.3	6.8	4.5	2.3	6.8	27.3	29.5	6.8	4.5	-	4.5		
40歳代	26	-	-	2.4	2.4	9.8	17.1	31.7	4.9	31.7	-	-	-		
50歳代	44	-	-	-	-	2.6	20.5	28.2	7.7	20.5	15.4	-	5.1		
60～64歳	31	-	-	-	-	6.7	23.3	10.0	16.7	23.3	20.0	-	-		
65～74歳	15	-	-	8.0	-	8.0	36.0	16.0	4.0	12.0	8.0	8.0	-		
75歳以上	22	-	-	-	-	7.7	7.7	15.4	7.7	-	30.8	30.8	-		
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
就労形態															
全 体	161	0.9	0.4	1.8	0.8	5.8	18.1	22.4	11.5	17.5	13.5	5.2	2.0		
自営業主	39	-	-	3.1	-	1.6	18.4	18.8	2.7	6.9	33.9	8.8	5.7		
家族従事者	14	-	-	2.5	-	16.9	8.8	16.8	12.4	9.0	10.5	23.2	-		
正規の社員・従業員	62	-	-	-	-	1.0	6.2	24.8	19.0	37.2	11.4	-	0.5		
臨時・日雇、パート	36	-	-	0.9	-	10.3	44.2	26.7	8.5	2.9	-	4.8	1.7		
派遣社員	2	-	-	-	-	-	-	60.5	39.5	-	-	-	-		
内職	2	-	-	37.8	-	-	62.2	-	-	-	-	-	-		
施設で働いている	6	27.3	11.1	6.2	23.8	31.7	-	-	-	-	-	-	-		
将来、企業等で働くため、施設に通っている	0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(4) 仕事上の困りごとや心配なことの有無

問25 あなたは、仕事を続けていく上で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-57 仕事上の困りごとや心配なことの有無】



回答者全体では「ない」(58.1%)が6割弱を占めており、「ある」(38.0%)は4割弱となっている。

年齢別に詳細にみると、概ね年齢が低いほど「ある」の割合が高く、30歳代以下では過半数となっている。

就労形態別にみると、施設で働いている人では他に比べて「ある」(61.5%)の割合が高く、6割強となっている。

【図表4-58 年齢詳細別、就労形態別 仕事上の困りごとや心配なことの有無】(%)

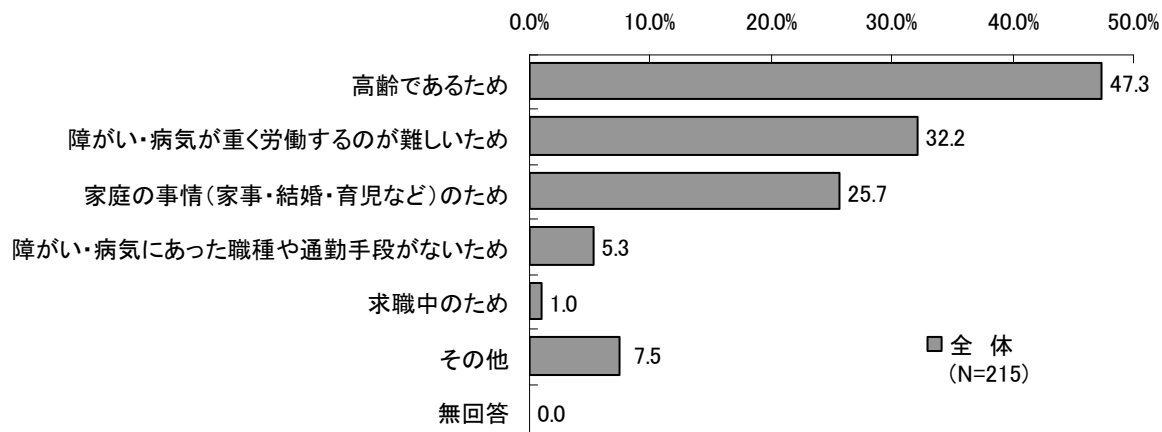
		調査数(人)	仕事上の困りごとや心配なことの有無		
			ある	ない	無回答
全 体		161	38.0	58.1	3.9
年 齢 詳 細	20歳代以下	7	55.6	40.7	3.7
	30歳代	15	54.5	43.2	2.3
	40歳代	26	43.9	53.7	2.4
	50歳代	44	48.7	51.3	-
	60～64歳	31	23.3	73.3	3.3
	65～74歳	15	24.0	72.0	4.0
	75歳以上	22	23.1	61.5	15.4
	無回答	-	-	-	-
全 体		161	38.0	58.1	3.9
就 労 形 態	自営業主	39	27.8	66.7	5.6
	家族従事者	14	29.4	58.8	11.8
	正規の社員・従業員	62	46.3	52.6	1.1
	臨時・日雇、パート	36	43.4	52.8	3.8
	派遣社員	2	50.0	50.0	-
	内職	2	50.0	50.0	-
	施設で働いている	6	61.5	38.5	-
	将来、企業等で働くため、施設に通っている	0	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-

(5) 働いたことがない理由

[就労経験がない方のみお答えください]

問26 働いたことがない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-59 働いたことがない理由】



働いたことがない人にその理由をたずねたところ、「高齢であるため」(47.3%)が最も多く、次いで「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」(32.2%)となっている。

年齢別に詳細にみると、50歳代では「家庭の事情(家事・結婚・育児など)のため」(45.5%)の割合が高く、半数弱を占めている。また、40歳代以下では「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」の割合が7割を超えて高くなっている。

【図表4-60 年齢詳細別 働いたことがない理由】(%)

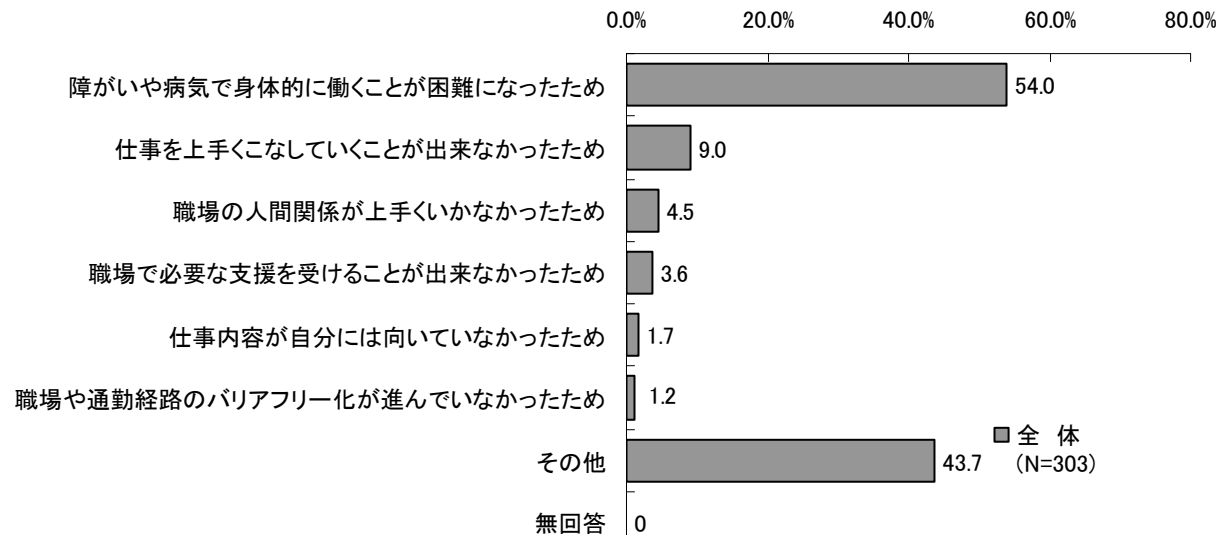
	調査数(人)	働いたことがない理由						
		高齢であるため	障がい・病気が重く労働するのが難しいため	家庭の事情(家事・結婚・育児など)のため	障がい・病気にあった職種や通勤手段がないため	求職中のため	その他	無回答
全体	215	47.3	32.2	25.7	5.3	1.0	7.5	-
年齢詳細								
20歳代以下	12	-	72.7	-	15.9	9.1	18.2	-
30歳代	7	-	71.4	9.5	28.6	-	-	-
40歳代	3	-	100.0	-	-	-	25.0	-
50歳代	12	-	54.5	45.5	9.1	-	9.1	-
60～64歳	16	13.3	60.0	33.3	6.7	6.7	6.7	-
65～74歳	23	37.8	48.6	18.9	8.1	-	10.8	-
75歳以上	143	63.9	18.1	27.7	2.4	-	6.0	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 仕事をやめた原因

[以前は働いていたが仕事をやめた方のみお答えください]

問27 仕事をやめた原因は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-61 仕事をやめた原因】



以前は働いていたが仕事をやめた人にその原因をたずねたところ、回答者全体では「障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため」(54.0%)が過半数を占めて最も多く、次いで「仕事を上手くこなしていくことが出来なかったため」(9.0%)となっている。

年齢別に詳細にみると、40歳代～70歳代前半では「障がい・病気で身体的に働くことが困難になったため」の割合が高く、7割を超えている。

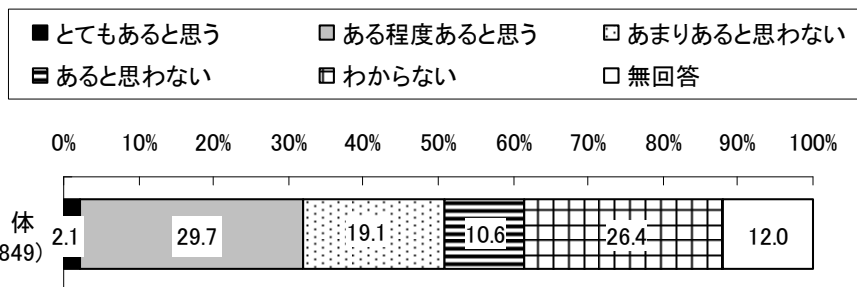
【図表4-62 年齢詳細別 仕事をやめた原因】(%)

	調査数(人)	仕事をやめた原因							
		なに障 い働が たく いた こや めと 病が 気困 で難 身に 体的	たい仕 たく事 めこを と上 が手 出く 来こ なな かし て	く職 い場 かの な人 か間 つ関 た係 たが め上 手	たけ職 たる場 めこで と必 が要 出な 来支 な援 かを つ受	い仕 て事 い内 容か がつ 自分 たに めは 向	なア職 かフ場 かりや たー通 た化勤 めが経 進路 の でバ いリ	そ 他	無 回 答
全 体	303	54.0	9.0	4.5	3.6	1.7	1.2	43.7	-
年 齢 詳 細	20歳代以下	1	60.0	60.0	40.0	20.0	60.0	-	-
	30歳代	7	40.0	25.0	15.0	10.0	-	50.0	-
	40歳代	18	82.1	10.7	14.3	14.3	7.1	17.9	-
	50歳代	28	72.0	24.0	4.0	8.0	4.0	20.0	-
	60～64歳	39	78.9	18.4	7.9	2.6	-	21.1	-
	65～74歳	45	72.6	8.2	4.1	5.5	4.1	23.3	-
	75歳以上	165	37.5	3.1	2.1	1.0	-	61.5	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

(7) 障がい者の就労に対する社会の理解度

問28 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。(○は1つだけ)

【図表4-63 障がい者の就労に対する社会の理解度】



回答者全体では「ある程度あると思う」(29.7%)が最も多く、次いで「わからない」(26.4%)、「あまりあると思わない」(19.1%)となっている。「とてもある」と「ある程度あると思う」をあわせた『理解があると思う』人(31.8%)よりも「あまりあると思わない」と「あると思わない」をあわせた『理解があると思わない』人(29.7%)の方が少なくなっている。

年齢別に詳細にみると、概ね年齢が低いほど『理解があると思わない』人の割合が高く、20歳代以下では6割強(63.2%)を占めている。

手帳等級別にみると、重度の人ほど『理解があると思う』人の割合が低く、1・2級の重度者では、3割に満たない。

【図表4-64 年齢詳細別、手帳等級別 障がい者の就労に対する社会の理解度】(%)

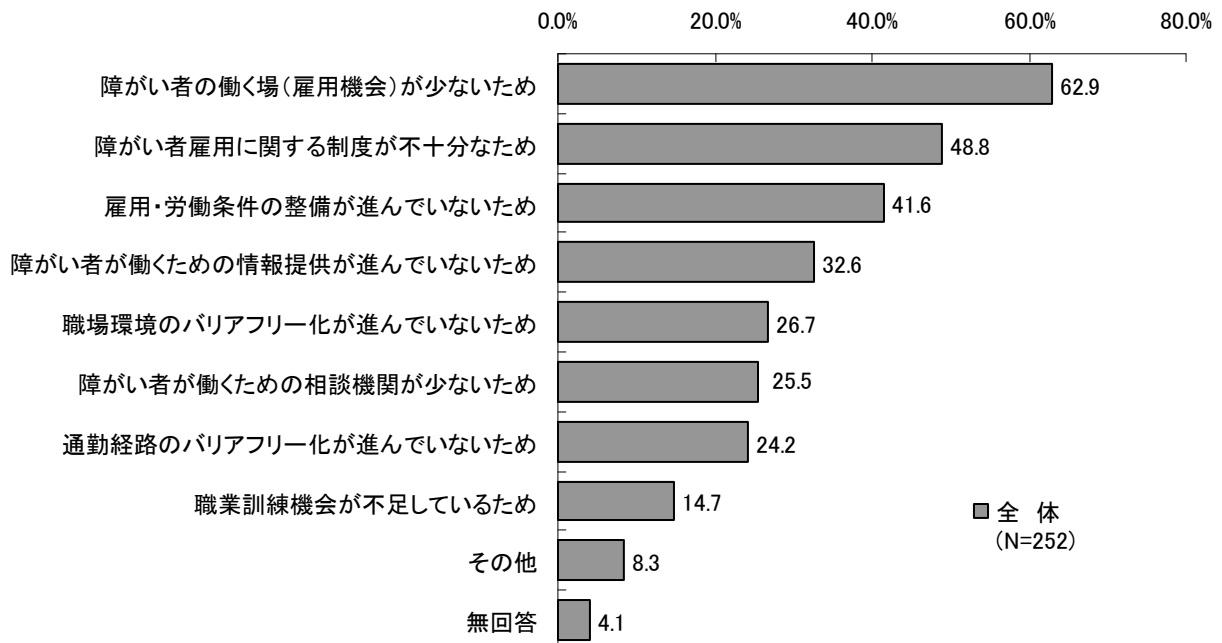
		調査数(人)	障がい者の就労に対する社会の理解度				
			とてもあると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない
全 体		849	2.1	29.7	19.1	10.6	26.4
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	-	28.9	38.2	25.0	5.3
	30歳代	29	2.4	29.4	30.6	17.6	2.4
	40歳代	49	-	28.6	35.1	16.9	6.5
	50歳代	88	2.5	35.4	26.6	13.9	2.5
	60～64歳	90	4.6	32.2	19.5	12.6	2.3
	65～74歳	100	2.5	29.4	15.3	9.8	12.9
	75歳以上	472	1.8	28.4	15.3	8.0	17.1
	無回答	-	-	-	-	-	-
全 体		849	2.1	29.7	19.1	10.6	26.4
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	2.8	24.8	21.6	10.6	11.4
	中度(3・4級)	297	1.6	33.6	16.6	11.2	13.5
	軽度(5・6級)	96	1.1	41.6	18.4	8.0	8.0
	無回答	19	-	21.0	6.8	12.1	24.1

(8) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問28で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問28-1 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-65 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



障がい者が働くことに対する社会の理解が「あまりあると思わない」「あると思わない」と回答した人にその理由をたずねたところ、回答者全体では「障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため」(62.9%)が最も多く、次いで「障がい者雇用に関する制度が不十分なため」(48.8%)、「雇用・労働条件の整備が進んでいないため」(41.6%)、「障がい者が働くための情報提供が進んでいないため」(32.6%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて、「障がい者の働く場が少ないため」(64.2%)をはじめ、多くの項目で割合が高くなっている。

障がいの部位別にみると、視覚障がいや肢体不自由では「障がい者の働く場が少ないため」の割合が高く7割前後を占めている。また、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「障がい者が働くための情報提供が進んでいないため」(52.6%)が過半数である。

【図表4-66 年齢2区分別、障がい部位別

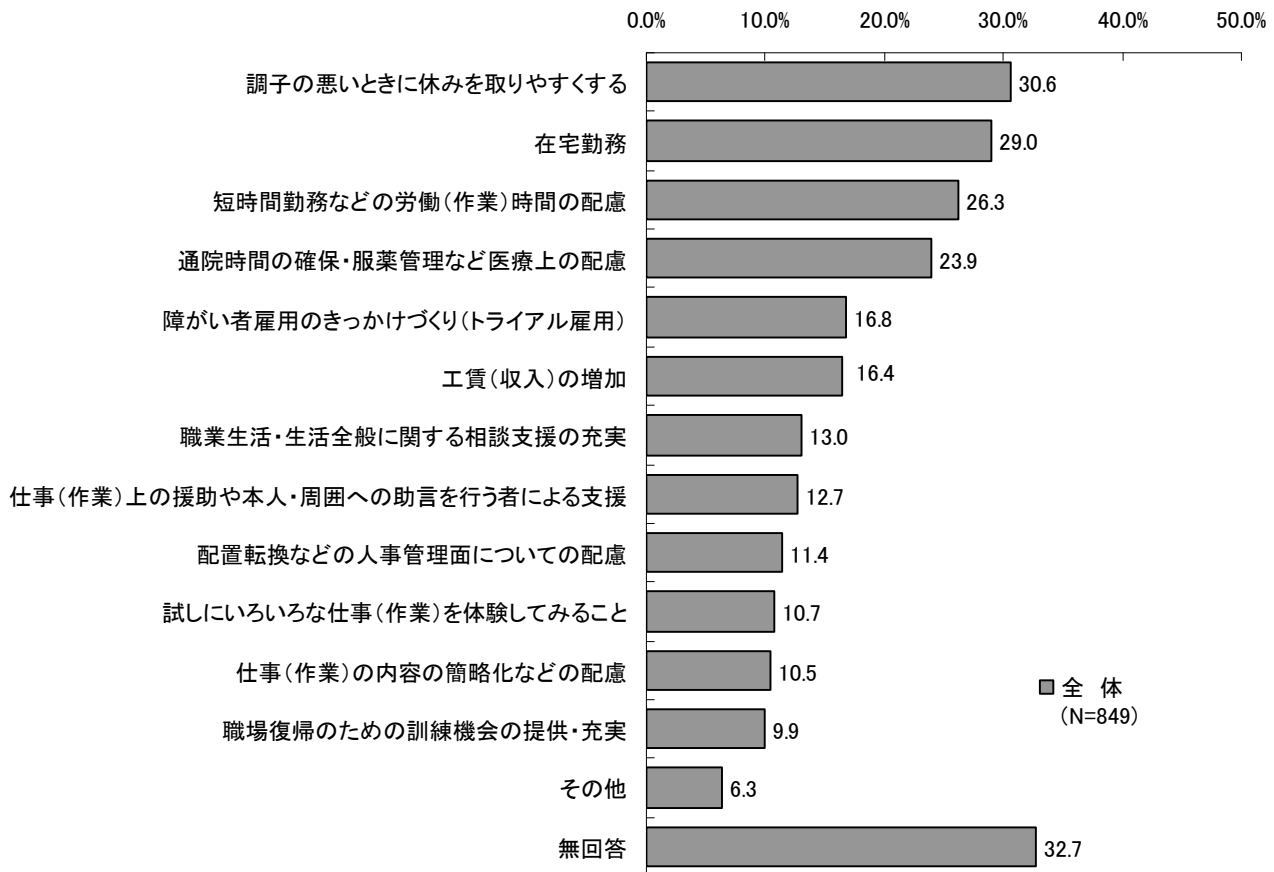
障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】(%)

	調査数(人)	障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由									
		用障 機が 会い 者の が少 なく ない 場 た(雇	制障 度が がい 不者 十雇 分用 な に 関 た め する	が雇 進用 ん・ で 働 い ない 条 件 た の 整 備	い情 報が め提 い 供者 が 進 働 ん く で た い め な の	たり職 めー場 化環 境が 進の んバ でリ ア な い フ い	相障 談が 機い 関者 が 少 働 なく いた ため の	たり通 め勤 化経 が路 の進 んバ でリ ア な い フ い	て職 業訓 練 た め 機 会 が 不 足 し	そ の 他	無 回 答
全 体	252	62.9	48.8	41.6	32.6	26.7	25.5	24.2	14.7	8.3	4.1
年 齢											
64歳以下	117	64.2	56.1	47.5	45.0	31.2	34.0	23.5	13.8	8.9	1.5
65歳以上	135	61.8	42.5	36.5	21.9	22.7	18.2	24.8	15.4	7.7	6.4
区 分											
2 無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	252	62.9	48.8	41.6	32.6	26.7	25.5	24.2	14.7	8.3	4.1
障がい部位											
視覚障がい	26	74.5	38.0	18.0	34.6	22.0	17.1	38.3	16.7	3.7	6.6
聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	26	50.1	59.8	53.9	52.6	23.9	34.7	18.4	30.2	10.9	-
肢体不自由	107	68.8	52.7	43.8	26.7	33.4	25.2	29.1	15.0	9.5	3.8
内部障がい	82	58.1	44.9	46.8	34.3	23.3	28.0	18.0	10.2	8.0	4.4
その他	11	45.1	40.7	8.0	26.4	3.1	8.6	2.5	3.1	3.1	10.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(9) 障がい者の就労支援として必要なこと

問29 どのような働き方や制度があれば障がいのある人が働きやすいと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-67 障がい者の就労支援として必要なこと】



回答者全体では「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(30.6%)が最も多く、次いで「在宅勤務」(29.0%)、「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」(26.3%)、「通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮」(23.9%)となっている。

年齢2区分別にみると、「その他」を除く全項目で64歳以下が65歳以上の割合を上回っている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下の若年層では他に比べて「試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみることに」、「障がい者雇用のきっかけづくり」等の割合が高くなっている。また、40・50歳代では「在宅勤務」の割合が半数程度を占めている。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「障がい者雇用のきっかけづくり」(25.3%)や「配置転換などの人事管理面についての配慮」(19.5%)、「試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみることに」(17.1%)等の割合が高くなっている。

障がい部位別にみると、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは他に比べて「仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行うものによる支援」(27.0%)の割合が高い。また、内部障がいでは「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(34.3%)や「在宅勤務」(31.9%)等の割合が高い。

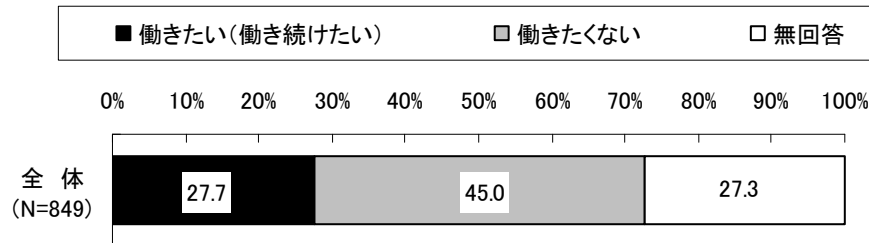
【図表4-68 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別
障がい者の就労支援として必要なこと】（％）

		調査数（人）	障がい者の就労支援として必要なこと													
			調子の悪いときに休みを取りやす	在宅勤務	短時間の勤務などの労働（作業）時の配慮	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮	障がい者雇用のきつかけづくり（トライアル雇用）	工賃（収入）の増加	職業生活・生活全般に関する相談支援の充実	仕事（作業）上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援	配置転換などの人事管理面についての配慮	試験にいろいろな仕事（作業）を試験してみることを	仕事（作業）の内容の簡略化などの配慮	職場復帰のための訓練機会の提供・充実	その他	無回答
全体		849	30.6	29.0	26.3	23.9	16.8	16.4	13.0	12.7	11.4	10.7	10.5	9.9	6.3	32.7
年齢区分2	64歳以下	277	42.9	42.3	38.0	33.6	27.0	27.1	18.7	17.5	16.1	18.8	14.8	15.5	4.4	12.0
	65歳以上	572	24.6	22.6	20.7	19.3	11.8	11.2	10.2	10.4	9.1	6.7	8.4	7.2	7.2	42.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		849	30.6	29.0	26.3	23.9	16.8	16.4	13.0	12.7	11.4	10.7	10.5	9.9	6.3	32.7
年齢詳細	20歳代以下	21	38.2	27.6	34.2	32.9	39.5	27.6	25.0	40.8	22.4	27.6	23.7	11.8	5.3	7.9
	30歳代	29	48.2	28.2	40.0	40.0	32.9	32.9	15.3	21.2	23.5	28.2	11.8	11.8	7.1	7.1
	40歳代	49	45.5	48.1	39.0	31.2	23.4	33.8	22.1	18.2	20.8	20.8	20.8	18.2	5.2	10.4
	50歳代	88	50.6	49.4	36.7	36.7	32.9	27.8	20.3	17.7	20.3	16.5	13.9	19.0	3.8	10.1
	60～64歳	90	33.3	40.2	39.1	29.9	18.4	20.7	14.9	10.3	5.7	14.9	11.5	12.6	3.4	17.2
	65～74歳	100	29.4	26.4	22.1	22.7	11.0	14.1	8.6	6.1	11.0	9.2	10.4	6.7	4.9	36.8
	75歳以上	472	23.6	21.8	20.4	18.5	12.0	10.5	10.5	11.3	8.7	6.2	8.0	7.3	7.6	44.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		849	30.6	29.0	26.3	23.9	16.8	16.4	13.0	12.7	11.4	10.7	10.5	9.9	6.3	32.7
手帳等級	重度（1・2級）	437	33.6	32.6	27.9	24.5	16.8	16.7	13.5	13.8	10.2	10.0	12.2	9.6	6.0	31.1
	中度（3・4級）	297	27.0	29.6	23.9	24.6	14.2	15.5	13.2	10.7	11.3	9.7	9.3	9.8	7.0	32.5
	軽度（5・6級）	96	32.6	15.9	30.5	23.1	25.3	20.1	11.7	14.6	19.5	17.1	7.2	13.3	4.2	34.7
	無回答	19	8.2	4.9	8.2	5.4	14.0	3.2	3.2	9.0	1.8	7.5	7.5	1.8	10.6	62.8
全体		849	30.6	29.0	26.3	23.9	16.8	16.4	13.0	12.7	11.4	10.7	10.5	9.9	6.3	32.7
障がい部位	視覚障がい	69	30.8	26.4	23.5	21.6	14.1	12.9	18.1	12.8	15.3	11.1	11.3	11.6	12.1	21.1
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	23.1	24.2	29.5	19.3	23.6	19.8	16.0	27.0	18.3	13.1	11.1	13.0	4.8	35.4
	肢体不自由	380	31.0	29.2	25.9	24.3	17.6	18.5	14.4	11.8	10.0	11.9	10.8	11.0	6.7	29.3
	内部障がい	280	34.3	31.9	29.7	27.1	15.7	14.5	10.4	11.0	11.6	8.9	10.6	7.9	5.1	36.0
	その他	31	18.8	25.1	6.2	15.4	5.9	9.5	3.9	5.9	5.0	6.1	2.0	5.5	0.9	54.4
	無回答	10	6.0	12.0	6.0	-	16.9	6.0	-	-	-	6.0	12.0	-	10.2	60.9

(10) 就労意向、希望する就労形態

問30 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）

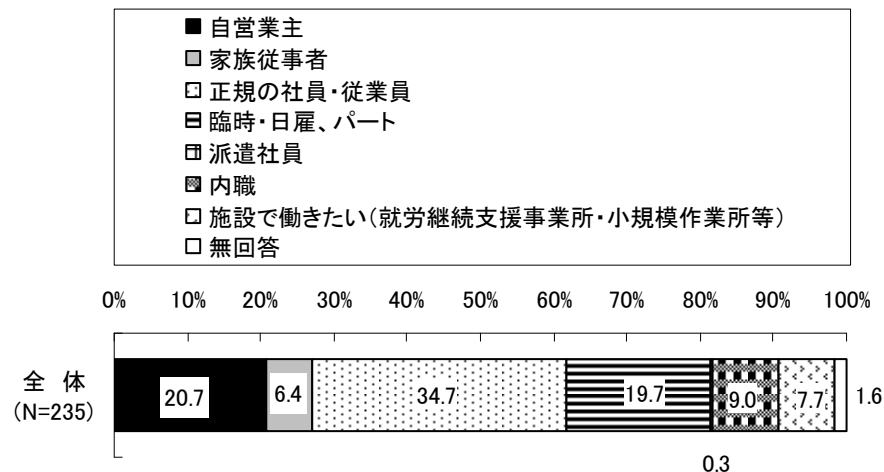
【図表4-69 就労意向】



[問30で「1」を選ばれた方におたずねします]

問30-1 どのような就労形態で働きたいですか。（○は1つだけ）

【図表4-70 希望する就労形態】



今後、働きたい(働き続けたい)と考えている人の割合は、回答者全体では3割弱（27.7%）であるが年齢による差が大きく、年齢2区分別にみると64歳以下では63.2%と6割強を占めている。

働きたい（働き続けたい）と考えている人が希望する就労形態は、回答者全体では「正規の社員・従業員」（34.7%）が最も多く、64歳以下では42.9%を占めている。

年齢別に詳細にみると、40歳代以下では就労意向が特に高く、今後働きたい(働き続けたい)と考えている人が7割を超えており、このうち6割弱（55%程度）が「正規の社員・従業員」を希望している。

現在の就労有無・形態別にみると、現在就労している人の9割弱（88.2%）が今後も働き続けたいと考えている。また、現在就労していない人でも2割強（22.6%）が今後働きたいと考えている。

就労形態の現状と希望の関係をみると、現在、自営業主や正規の社員・従業員である人では今後も同じ形態で働き続けたいと考えている人が8割台と大半を占めている。また、現在、臨時・日雇、パートの人の過半数（52.2%）は正規の社員・従業員として働きたいと考えている。

【図表4-71 年齢（2区分、詳細）別、就労有無・形態別 就労意向】（％）

	(人) 調査数	就労意向		
		た（働きたい）働きたい続け	い働きたくな	無回答
全 体	849	27.7	45.0	27.3
年 区 分				
2 64歳以下	277	63.2	25.5	11.3
65歳以上	572	10.5	54.4	35.1
無回答	-	-	-	-
全 体	849	27.7	45.0	27.3
年 齢 詳 細				
20歳代以下	21	71.1	15.8	13.2
30歳代	29	76.5	14.1	9.4
40歳代	49	77.9	13.0	9.1
50歳代	88	58.2	32.9	8.9
60～64歳	90	54.0	31.0	14.9
65～74歳	100	25.8	46.6	27.6
75歳以上	472	7.3	56.0	36.7
無回答	-	-	-	-
全 体	849	27.7	45.0	27.3
就 労 有 無 ・ 形 態				
仕事あり	161	88.2	5.5	6.4
自営業主	26	80.6	5.6	13.9
家族従事者	12	82.4	5.9	11.8
正規の社員・従業員	70	92.6	5.3	2.1
臨時・日雇、パート	39	86.8	5.7	7.5
派遣社員	3	100.0	-	-
内職	1	100.0	-	-
施設で働いている	10	84.6	7.7	7.7
仕事なし	688	22.6	48.6	28.8
将来、企業等で働くため、施設に通っている	1	100.0	-	-
働いていたがやめた・就労経験はない	687	22.5	48.7	28.8
無回答	-	-	-	-

【図表4-72 年齢（2区分、詳細）別、就労有無・形態別 希望する就労形態】（％）

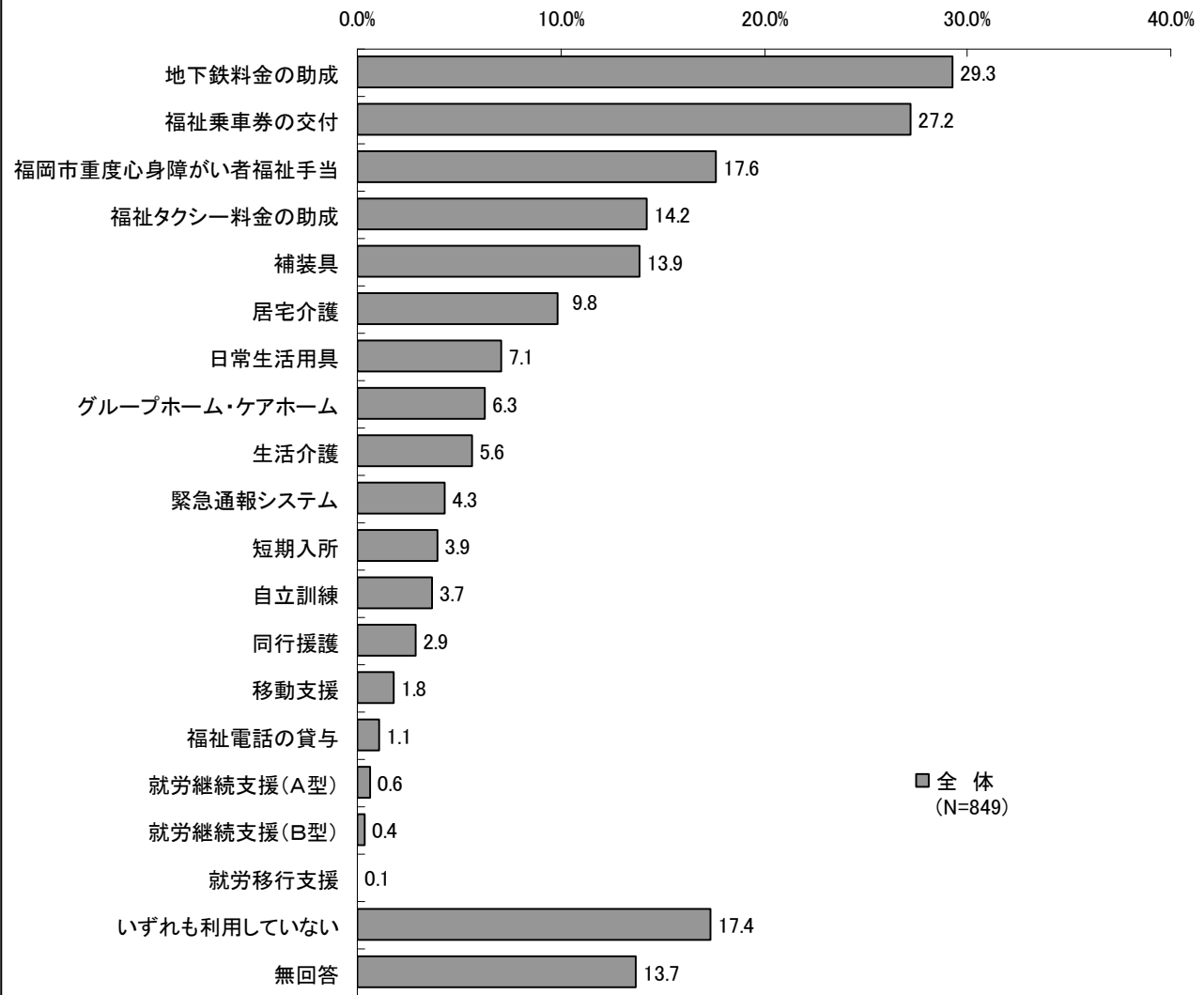
	調査数（人）	希望する就労形態							
		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	小規模施設で働く（作業所等）	施設で働きたい（就労支援施設）
全 体	235	20.7	6.4	34.7	19.7	0.3	9.0	7.7	1.6
年 区 分									
2 64歳以下	175	17.1	1.9	42.9	19.7	0.4	7.7	8.3	2.1
65歳以上	60	31.2	19.4	10.8	19.8	-	12.9	5.9	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	235	20.7	6.4	34.7	19.7	0.3	9.0	7.7	1.6
年 齢 詳 細									
20歳代以下	15	5.6	1.9	55.6	7.4	-	3.7	25.9	-
30歳代	22	7.7	3.1	55.4	7.7	-	6.2	15.4	4.6
40歳代	38	10.0	3.3	55.0	18.3	1.7	5.0	5.0	1.7
50歳代	51	19.6	2.2	41.3	21.7	-	10.9	4.3	-
60～64歳	49	27.7	-	25.5	27.7	-	8.5	6.4	4.3
65～74歳	26	26.2	11.9	11.9	26.2	-	16.7	7.1	-
75歳以上	34	35.0	25.0	10.0	15.0	-	10.0	5.0	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	336	20.7	6.4	34.7	19.7	0.3	9.0	7.7	1.6
就 労 有 無 ・ 形 態									
仕事あり	136	18.0	7.2	53.1	11.3	0.5	1.5	6.2	2.1
自営業主	20	86.2	6.9	-	-	-	-	3.4	3.4
家族従事者	10	7.1	78.6	-	-	-	7.1	7.1	-
正規の社員・従業員	62	8.0	1.1	83.0	2.3	-	1.1	2.3	2.3
臨時・日雇、パート	32	4.3	-	52.2	41.3	-	-	-	2.2
派遣社員	3	-	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-
内職	1	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-
施設で働いている	8	-	-	27.3	-	-	-	72.7	-
仕事なし	99	13.4	1.4	24.6	24.6	-	16.9	17.6	1.4
将来、企業等で働くため、施設に通っている	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
働いていたがやめた・就労経験はない	99	12.8	1.4	24.8	24.8	-	17.0	17.7	1.4
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

8. 福祉サービスの利用について

(1) 現在利用している福祉サービス

問3 1-1 ①～⑱の福祉サービス・事業の中で、現在、利用しているものを選んでください。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-73 現在利用している福祉サービス】



回答者全体では「地下鉄料金の助成」(29.3%)が最も多く、次いで「福祉乗車券の交付」(27.2%)、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(17.6%)となっている。また、「いずれも利用していない」(17.4%)は2割弱となっている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下の若年層では他に比べて「地下鉄料金の助成」、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」等、多くの項目で割合が高くなっている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では他に比べて「地下鉄料金の助成」、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」、「福祉タクシー料金の助成」等、多くの項目で割合が高くなっている。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「同行援護」(14.9%)、聴覚・平衡機能・音声・言語障がいでは「補装具」(29.3%)、内部障がいでは「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(32.1%)の割合がそれぞれ他に比べて高くなっている。

第4章 身体障がい者調査

【図表4-74 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 現在利用している福祉サービス】(%)

		調査数(人)	現在利用している福祉サービス									
			成地下鉄料金の助	付福祉乗車券の交	当障福岡市重度心身	金福祉助成タクシー料	補装具	居宅介護	日常生活用具	ムグループホーム	生活介護	ム緊急通報システム
全	体	849	29.3	27.2	17.6	14.2	13.9	9.8	7.1	6.3	5.6	4.3
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	47.4	19.7	40.8	10.5	38.2	19.7	22.4	-	30.3	-
	30歳代	29	45.9	14.1	31.8	11.8	17.6	11.8	11.8	-	15.3	-
	40歳代	49	31.2	13.0	19.5	9.1	14.3	2.6	1.3	-	1.3	-
	50歳代	88	34.2	11.4	17.7	5.1	20.3	1.3	2.5	2.5	1.3	1.3
	60～64歳	90	34.5	12.6	18.4	13.8	13.8	3.4	6.9	-	2.3	-
	65～74歳	100	28.8	23.3	16.6	16.6	9.2	9.8	6.7	3.1	3.7	2.5
	75歳以上	472	25.5	36.4	15.6	16.4	12.4	12.7	7.6	10.2	6.2	6.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全	体	849	29.3	27.2	17.6	14.2	13.9	9.8	7.1	6.3	5.6	4.3
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	32.4	27.4	32.1	22.2	13.6	12.7	10.7	7.4	7.7	4.7
	中度(3・4級)	297	28.6	30.3	1.9	6.3	11.4	7.4	3.9	3.7	3.8	4.7
	軽度(5・6級)	96	20.3	21.0	3.3	4.9	20.7	5.7	1.8	9.0	2.4	1.8
	無回答	19	13.6	5.8	4.6	1.4	25.4	1.4	-	8.9	1.4	-
全	体	849	29.3	27.2	17.6	14.2	13.9	9.8	7.1	6.3	5.6	4.3
障 が い 部 位	視覚障がい	69	24.9	32.7	15.6	16.1	12.0	17.4	14.2	9.9	2.9	2.5
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	35.2	33.3	9.5	3.7	29.3	13.6	5.8	9.5	5.8	2.2
	肢体不自由	380	27.0	21.6	9.7	11.4	14.4	12.2	6.8	7.1	7.1	4.8
	内部障がい	280	32.8	33.5	32.1	20.8	10.0	4.3	6.4	4.3	3.8	3.9
	その他	31	22.9	13.0	15.1	8.4	12.3	3.7	3.7	-	7.6	5.5
	無回答	10	22.9	22.9	-	22.9	-	6.0	6.0	-	6.0	16.9

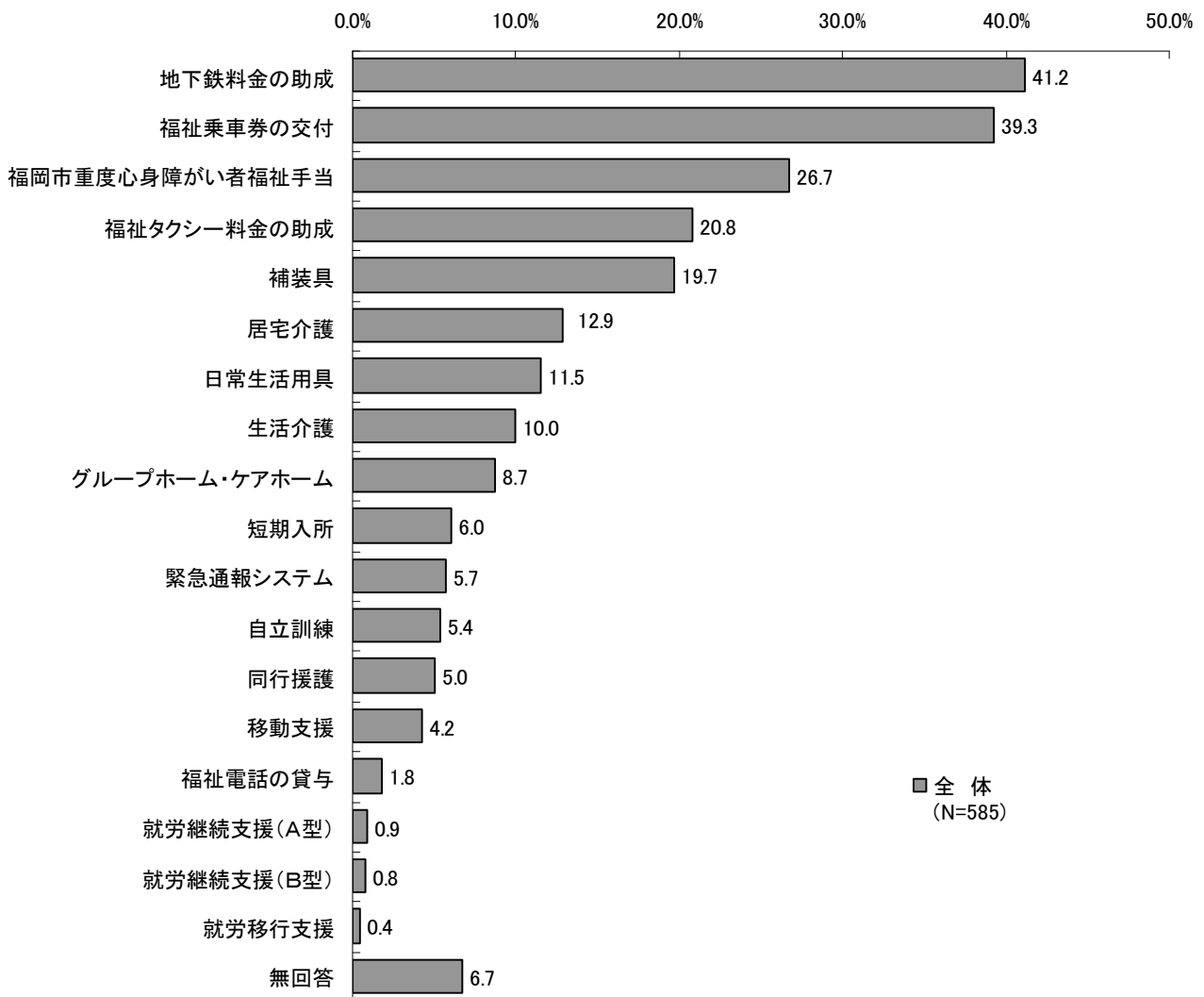
		調査数(人)	現在利用している福祉サービス									
			短期入所	自立訓練	同行援護	移動支援	福祉電話の貸与	(就労継続支援A型)	(就労継続支援B型)	就労移行支援	ていずれも利用し	無回答
全	体	849	3.9	3.7	2.9	1.8	1.1	0.6	0.4	0.1	17.4	13.7
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	25.0	3.9	1.3	19.7	-	2.6	5.3	1.3	14.5	7.9
	30歳代	29	9.4	2.4	1.2	4.7	1.2	-	7.1	-	16.5	3.5
	40歳代	49	2.6	1.3	-	1.3	-	5.2	1.3	1.3	29.9	6.5
	50歳代	88	-	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	-	-	27.8	10.1
	60～64歳	90	-	1.1	3.4	2.3	-	1.1	-	-	31.0	8.0
	65～74歳	100	1.2	6.1	1.2	0.6	0.6	-	-	-	17.8	18.4
	75歳以上	472	4.7	4.4	4.0	1.1	1.5	-	-	-	11.6	16.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全	体	849	3.9	3.7	2.9	1.8	1.1	0.6	0.4	0.1	17.4	13.7
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	5.9	4.2	4.2	2.4	1.7	0.4	0.4	0.1	11.5	11.8
	中度(3・4級)	297	0.8	2.6	2.2	1.0	0.6	1.0	0.7	-	22.7	15.2
	軽度(5・6級)	96	4.5	4.9	-	1.2	-	0.7	-	0.7	27.8	12.4
	無回答	19	1.4	1.8	-	1.4	-	-	-	-	17.8	38.4
全	体	849	3.9	3.7	2.9	1.8	1.1	0.6	0.4	0.1	17.4	13.7
障 が い 部 位	視覚障がい	69	5.4	0.9	14.9	-	2.5	-	-	-	17.2	10.5
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	5.1	-	0.3	2.5	-	1.3	-	-	15.0	9.9
	肢体不自由	380	4.5	6.2	2.9	2.1	0.5	1.0	0.5	0.2	20.3	12.2
	内部障がい	280	2.6	2.1	1.2	1.4	1.8	0.1	0.2	-	12.0	16.3
	その他	31	2.6	1.1	-	3.7	-	-	4.2	0.9	31.7	20.2
	無回答	10	-	6.0	-	-	-	-	-	-	33.1	27.1

(2) 役に立ったと思う福祉サービス

[問3 1-1で「1」～「18」を選ばれた方におたずねします]

問3 1-2 ①～⑱の福祉サービス・事業の中で、役に立ったと思うものを選んでください。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-75 役に立ったと思う福祉サービス】



回答者全体では「地下鉄料金の助成」(41.2%)が最も多く、次いで「福祉乗車券の交付」(39.3%)、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(26.7%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では「地下鉄料金の助成」(50.9%)や「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(34.0%)等の割合が高く、65歳以上では「福祉乗車券の交付」(48.1%)等の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて、多くの項目で割合が高い。特に、「補装具」(55.9%)や「地下鉄料金の助成」、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(それぞれ50.8%)は20歳代以下の人の過半数が役に立ったと回答している。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(43.1%)と「福祉タクシーの料金の助成」(29.4%)、5・6級の軽度者では「補装具」(34.5%)の割合がそれぞれ高くなっている。

障がい部位別にみると、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「地下鉄料金の助成」(51.6%)や「福祉乗車券の交付」(46.8%)、内部障がいでは「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(46.9%)と「福祉乗車券の交付」(46.8%)の割合がそれぞれ他に比べて高い。

【図表4-76 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別

役に立ったと思う福祉サービス】（％）

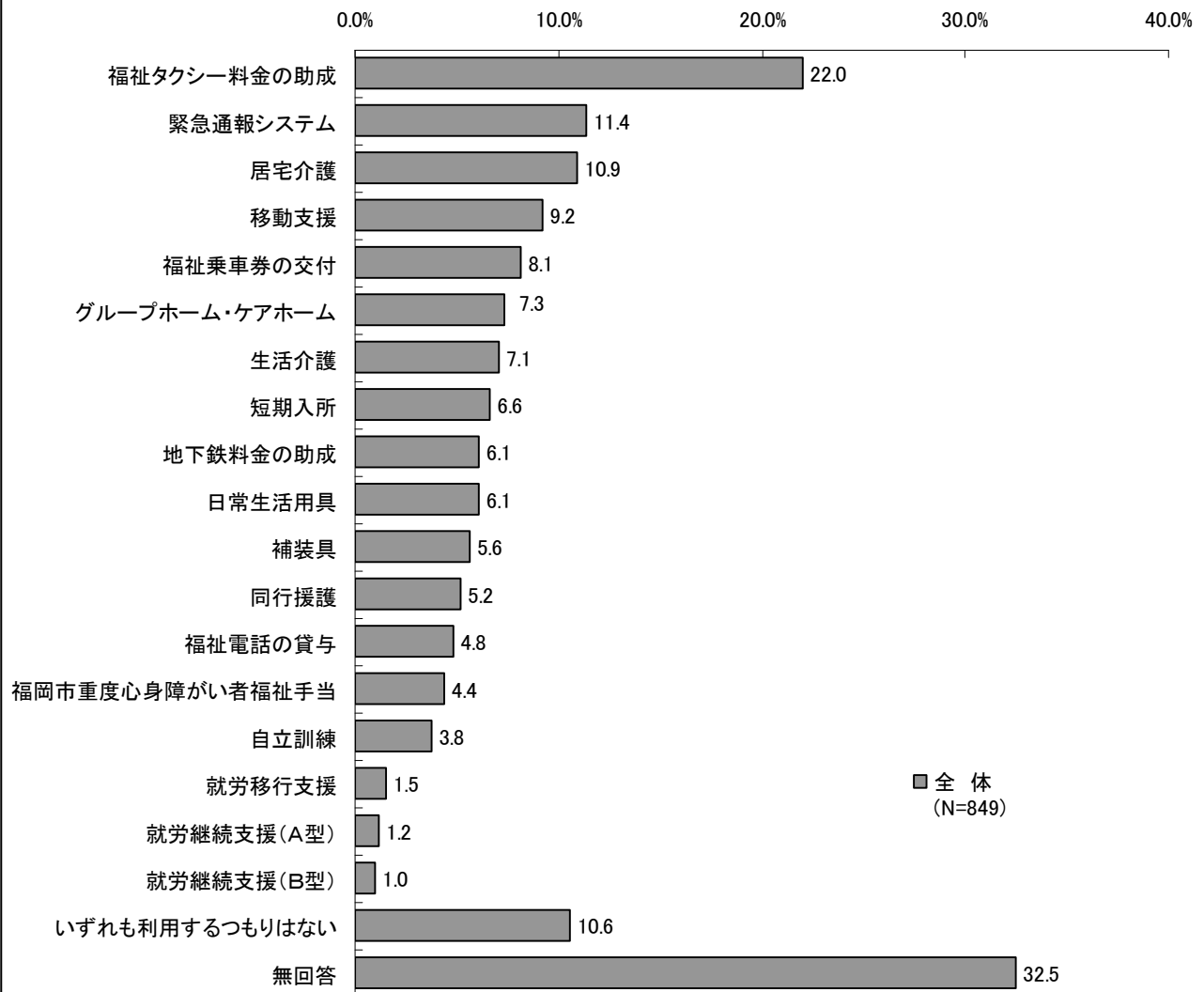
		調査数（人）	役に立ったと思う福祉サービス										
			成地下鉄料金の助	付福祉乗車券の交	当障がいがり者福祉心身	福岡市重度心身	福祉助成タクシー料	補装具	居宅介護	日常生活用具	生活介護	グループホーム	短期入所
全体		585	41.2	39.3	26.7	20.8	19.7	12.9	11.5	10.0	8.7	6.0	
区分	年齢2	64歳以下	180	50.9	19.5	34.0	17.2	28.4	7.8	10.6	10.3	3.5	6.0
		65歳以上	405	36.9	48.1	23.4	22.4	15.8	15.1	12.0	9.8	11.1	6.0
		無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	585	41.2	39.3	26.7	20.8	19.7	12.9	11.5	10.0	8.7	6.0
年齢詳細		20歳代以下	16	50.8	25.4	50.8	13.6	55.9	25.4	28.8	42.4	1.7	32.2
		30歳代	23	55.9	17.6	33.8	17.6	23.5	16.2	17.6	19.1	1.5	11.8
		40歳代	31	57.1	24.5	34.7	18.4	20.4	6.1	6.1	6.1	4.1	6.1
		50歳代	55	49.0	16.3	32.7	10.2	32.7	2.0	4.1	4.1	6.1	-
		60～64歳	55	47.2	18.9	30.2	24.5	22.6	5.7	11.3	5.7	1.9	1.9
		65～74歳	64	46.2	36.5	27.9	26.9	14.4	15.4	8.7	8.7	5.8	5.8
		75歳以上	342	35.2	50.3	22.6	21.6	16.1	15.1	12.6	10.1	12.1	6.0
		無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		585	41.2	39.3	26.7	20.8	19.7	12.9	11.5	10.0	8.7	6.0	
手帳等級		重度（1・2級）	335	39.7	35.8	43.1	29.4	16.8	15.4	14.7	12.4	9.6	8.2
		中度（3・4級）	185	45.7	47.2	3.2	8.6	19.1	9.5	5.4	4.9	7.4	1.6
		軽度（5・6級）	57	37.0	40.3	8.5	11.6	34.5	10.1	14.3	13.4	9.5	8.0
		無回答	8	31.1	-	10.5	10.5	44.6	3.2	-	3.2	-	3.2
全体		585	41.2	39.3	26.7	20.8	19.7	12.9	11.5	10.0	8.7	6.0	
障がい部位		視覚障がい	50	31.1	39.8	17.6	27.3	10.1	20.6	20.4	6.6	10.3	10.7
		聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	59	51.6	46.8	16.0	8.9	43.0	14.2	16.4	16.5	8.7	9.2
		肢体不自由	257	37.6	31.4	15.3	16.2	21.3	16.9	12.1	12.0	9.8	6.7
		内部障がい	201	43.2	46.8	46.9	28.0	12.9	5.3	7.3	5.3	6.2	3.0
		その他	15	63.6	36.9	31.5	32.5	25.1	13.7	9.6	21.8	10.0	7.3
		無回答	4	57.5	57.5	-	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	42.5	-

		調 査 数 （ 人 ）	役に立ったと思う福祉サービス								
			緊急通報システム	自立訓練	同行援護	移動支援	福祉電話の貸与	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	就労移行支援	無回答
全 体		585	5.7	5.4	5.0	4.2	1.8	0.9	0.8	0.4	6.7
区 年 分 齢	64歳以下	180	2.4	3.1	3.7	5.6	1.9	3.1	2.4	1.2	3.2
	65歳以上	405	7.1	6.5	5.5	3.5	1.8	-	-	-	8.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		585	5.7	5.4	5.0	4.2	1.8	0.9	0.8	0.4	6.7
年 齢 詳 細	20歳代以下	16	1.7	6.8	3.4	27.1	1.7	6.8	8.5	3.4	1.7
	30歳代	23	2.9	4.4	2.9	7.4	2.9	1.5	10.3	1.5	-
	40歳代	31	4.1	4.1	4.1	6.1	4.1	6.1	2.0	4.1	4.1
	50歳代	55	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	4.1
	60～64歳	55	1.9	1.9	5.7	1.9	-	1.9	-	-	3.8
	65～74歳	64	4.8	11.5	2.9	1.0	1.0	-	-	-	6.7
	75歳以上	342	7.5	5.5	6.0	4.0	2.0	-	-	-	8.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		585	5.7	5.4	5.0	4.2	1.8	0.9	0.8	0.4	6.7
手 帳 等 級	重度（1・2級）	335	6.4	6.9	6.1	4.6	2.1	0.7	0.6	0.4	4.7
	中度（3・4級）	185	4.4	1.7	3.7	2.0	0.9	1.2	1.1	-	9.0
	軽度（5・6級）	57	6.5	8.6	3.5	8.9	3.5	1.6	0.5	1.6	7.1
	無回答	8	-	4.0	-	3.2	-	-	-	-	33.4
全 体		585	5.7	5.4	5.0	4.2	1.8	0.9	0.8	0.4	6.7
障 がい 部 位	視覚障がい	50	2.1	3.5	22.7	-	-	-	-	-	4.7
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	59	5.8	2.9	2.9	9.2	5.8	1.8	-	-	2.9
	肢体不自由	257	4.3	8.5	5.1	4.6	2.0	1.4	0.7	0.5	10.3
	内部障がい	201	5.8	2.6	0.5	3.0	1.0	0.3	0.5	0.2	4.4
	その他	15	17.4	4.1	13.3	7.8	1.8	1.8	10.5	3.7	-
	無回答	4	84.9	15.1	-	-	-	-	-	-	-

(3) 今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス

問3 1-3 ①～⑩の福祉サービス・事業の中で、今は利用していないが今後利用したいと思うものを選んでください。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-77 今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス】



回答者全体では「福祉タクシー料金の助成」(22.0%)が最も多く、次いで「緊急通報システム」(11.4%)、「居宅介護」(10.9%)、「移動支援」(9.2%)となっている。また、「いずれも利用するつもりはない」(10.6%)は1割となっている。

年齢別にみても大きな違いは見られない。

手帳等級別にみると、軽度の人ほど「地下鉄料金の助成」の割合が高く、5・6級の軽度者では12.4%となっている。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは他に比べて「居宅介護」(17.3%)や「同行援護」(16.1%)の割合が高く、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「福祉電話の貸与」(13.3%)の割合が高い。

【図表4-78 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別

今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス】（％）

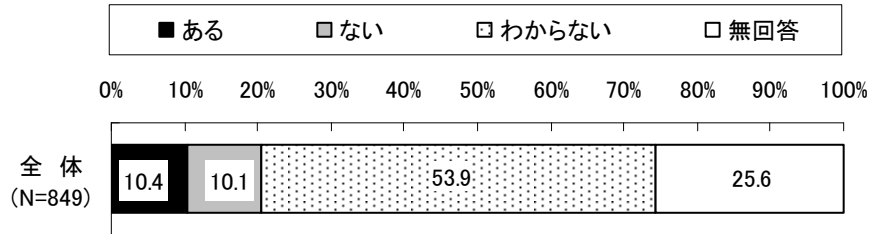
	調査数（人）	今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス									
		金福 祉タ クシ ー料	ム緊 急通 報シ ステ	居 宅 介 護	移 動 支 援	付 福 祉 乗 車 券 の 交	ムグ ル・ ケ ア プ ホ ー ム	生 活 介 護	短 期 入 所	日 常 生 活 用 具	成 地 下 鉄 料 金 の 助
全 体	849	22.0	11.4	10.9	9.2	8.1	7.3	7.1	6.6	6.1	6.1
年 齢 分 2	64歳以下	277	22.7	13.2	5.6	9.2	14.5	5.9	4.5	4.3	8.7
	65歳以上	572	21.7	10.6	13.5	9.2	4.9	8.0	8.4	7.7	4.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	22.0	11.4	10.9	9.2	8.1	7.3	7.1	6.6	6.1	6.1
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	13.2	11.8	2.6	14.5	15.8	3.9	10.5	5.3	3.9
	30歳代	29	18.8	10.6	4.7	8.2	4.7	4.7	9.4	8.2	8.2
	40歳代	49	28.6	10.4	3.9	10.4	15.6	6.5	1.3	9.1	11.7
	50歳代	88	20.3	17.7	6.3	6.3	15.2	5.1	6.3	3.8	2.5
	60～64歳	90	25.3	11.5	6.9	10.3	16.1	4.6	4.6	3.4	10.3
	65～74歳	100	19.6	3.7	8.6	9.8	12.9	4.3	8.6	6.1	6.1
	75歳以上	472	22.2	12.0	14.5	9.1	3.3	8.7	8.4	8.0	5.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	22.0	11.4	10.9	9.2	8.1	7.3	7.1	6.6	6.1	6.1
手 帳 等	重度（1・2級）	437	20.4	12.8	12.1	11.0	7.0	6.8	7.8	6.9	5.9
	中度（3・4級）	297	23.1	9.5	10.4	7.7	10.0	7.8	7.4	5.6	5.8
	軽度（5・6級）	96	26.5	6.8	7.6	7.6	8.8	7.8	3.6	7.7	6.7
	無回答	19	20.9	32.4	8.9	-	-	8.9	5.8	8.9	8.9
全 体	849	22.0	11.4	10.9	9.2	8.1	7.3	7.1	6.6	6.1	6.1
障 が い 部 位	視覚障がい	69	18.9	9.0	17.3	8.9	6.6	5.4	6.9	10.2	4.3
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	17.8	18.5	8.6	6.4	6.3	9.1	11.3	7.3	8.6
	肢体不自由	380	23.0	10.5	11.1	10.5	8.7	8.7	7.0	6.0	7.2
	内部障がい	280	22.6	11.6	11.4	8.6	8.3	4.7	7.0	6.8	4.2
	その他	31	25.1	11.6	-	10.3	7.8	9.2	2.0	5.0	2.8
	無回答	10	16.9	-	-	-	-	16.9	-	16.9	-

	調査数（人）	今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス									
		補 装 具	福 祉 電 話 の 貸 与	同 行 援 護	当 障 が い 市 者 重 度 福 祉 心 身	自 立 訓 練	就 労 移 行 支 援	（就 労 継 続 支 援 （A 型））	（就 労 継 続 支 援 （B 型））	る い づ れ も 利 用 し た い	無 回 答
全 体	849	5.6	5.2	4.8	4.4	3.8	1.5	1.2	1.0	10.6	32.5
年 齢 分 2	64歳以下	277	6.2	5.9	4.5	4.5	3.5	3.7	2.2	2.5	15.3
	65歳以上	572	5.9	4.6	5.3	4.3	4.6	0.7	0.9	8.2	35.6
	無回答	-	28.6	14.3	-	28.6	14.3	-	-	-	42.9
全 体	849	5.6	5.2	4.8	4.4	3.8	1.5	1.2	1.0	10.6	32.5
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	1.3	5.3	6.6	2.6	6.6	5.3	1.3	11.8	25.0
	30歳代	29	7.1	8.2	1.2	4.7	4.7	3.5	1.2	15.3	21.2
	40歳代	49	11.7	10.4	6.5	7.8	1.3	3.9	6.5	19.5	23.4
	50歳代	88	3.8	2.5	2.5	6.3	1.3	3.8	1.3	20.3	26.6
	60～64歳	90	6.9	3.4	5.7	1.1	3.4	2.3	1.1	10.3	29.9
	65～74歳	100	8.0	4.3	4.3	4.3	5.5	1.2	1.2	8.6	36.2
	75歳以上	472	4.7	4.7	5.8	4.4	4.0	0.4	0.7	8.0	35.3
	無回答	-	28.6	14.3	-	28.6	14.3	-	-	-	42.9
全 体	849	5.6	5.2	4.8	4.4	3.8	1.5	1.2	1.0	10.6	32.5
手 帳 等	重度（1・2級）	437	4.5	6.3	6.3	6.5	3.4	2.7	2.0	1.3	9.0
	中度（3・4級）	297	9.0	3.2	3.6	2.5	5.0	0.7	0.7	14.3	29.0
	軽度（5・6級）	96	6.9	6.9	2.9	2.0	3.9	2.9	2.0	14.7	27.5
	無回答	19	4.5	4.5	-	4.5	9.1	4.5	-	4.5	50.0
全 体	849	5.6	5.2	4.8	4.4	3.8	1.5	1.2	1.0	10.6	32.5
障 が い 部 位	視覚障がい	69	6.5	3.2	16.1	3.2	-	-	1.6	-	9.7
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	4.8	13.3	4.8	7.2	3.6	2.4	-	-	8.4
	肢体不自由	380	7.6	4.1	3.1	3.6	5.1	1.5	1.0	14.5	25.4
	内部障がい	280	3.8	5.7	4.6	5.3	3.8	3.4	2.7	1.9	35.4
	その他	31	13.5	2.7	8.1	2.7	5.4	2.7	2.7	5.4	2.7
	無回答	10	-	-	-	18.2	-	-	-	-	9.1

(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問3 2 ①～⑩の福祉サービス・事業の中で、利用対象・範囲の拡大等を図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-79 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



回答者全体では「ある」(10.4%)、「ない」(10.1%)ともに、それぞれ1割となっている。また「わからない」(53.9%)が過半数となっている。

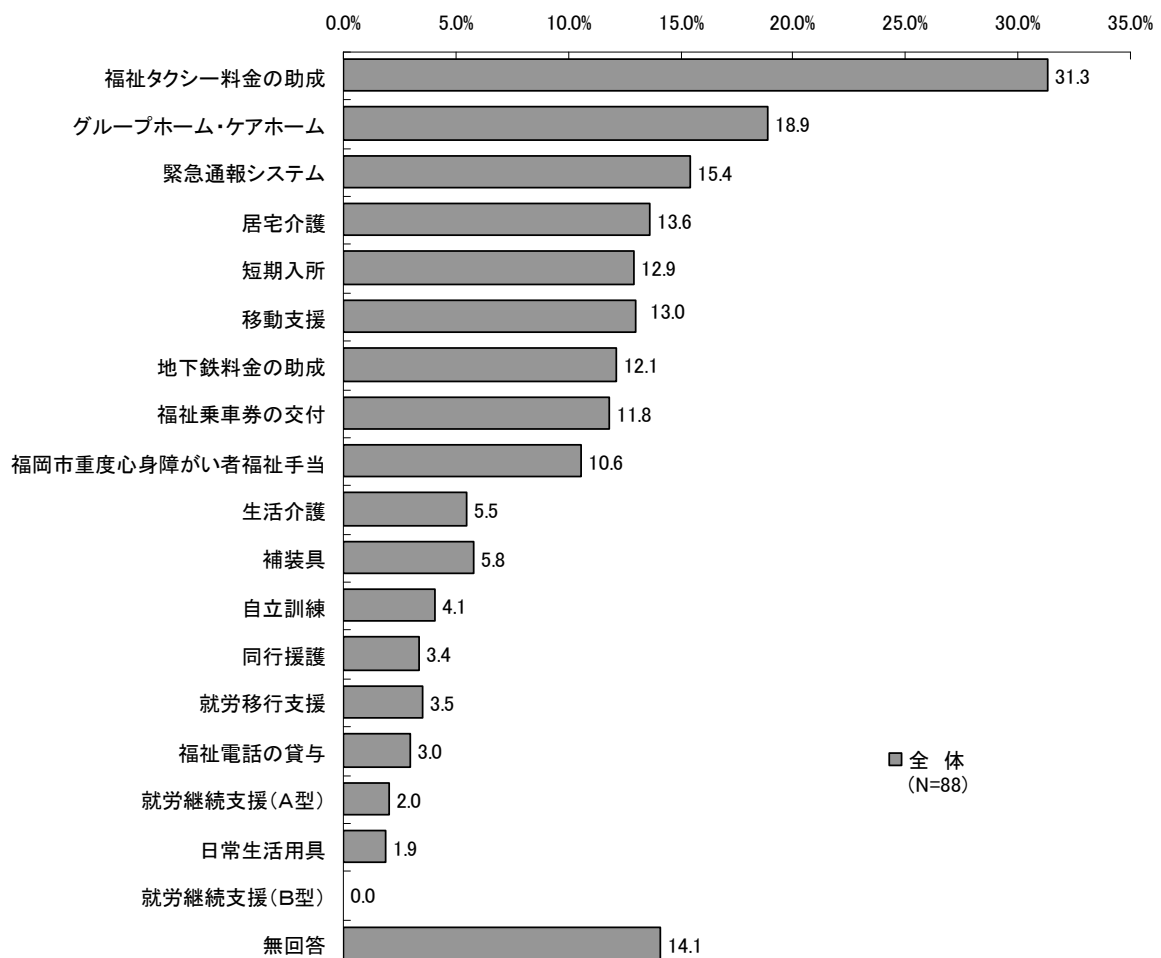
年齢別に詳細にみると、30歳代以下の若年層では他に比べて、対象・範囲の拡大をしてほしいサービスがある人の割合が高く、2割を超えている。

(5) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問3 2で「1」を選ばれた方におたずねします]

問3 2-1 それはどの福祉サービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は①～⑩の数字を記入してください)

【図表4-80 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



第4章 身体障がい者調査

対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスについては、回答者全体では「福祉タクシー料金の助成」(31.3%) が最も多く、次いで「グループホーム・ケアホーム」(18.9%)、「緊急通報システム」(15.4%) となっている。

年齢別に詳細にみると、40歳代以上では30歳代以下に比べて「福祉タクシー料金の助成」の割合が高く、2割台～4割台を占めている。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では「グループホーム・ケアホーム」や「短期入所」(それぞれ44.1%) の割合が、中・重度者に比べて高い。

【図表4-81 年齢（詳細）別、手帳等級別、障がい部位別

対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】(%)

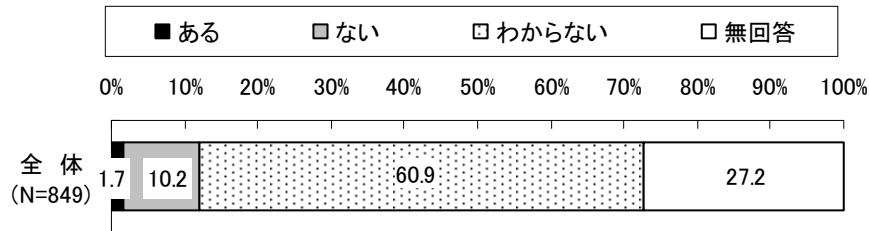
		調査数（人）	対象・範囲の拡大をしてほしいサービス									
			福祉タクシー料金の助成	グループホーム・ケアホーム	緊急通報システム	居宅介護	移動支援	短期入所	地下鉄料金の助成	福祉乗車券の交付	福祉が市者重度心身障害者	補装具
全体		88	31.3	18.9	15.4	13.6	13.0	12.9	12.1	11.8	10.6	5.8
年齢詳細	20歳代以下	6	4.8	57.1	-	14.3	14.3	47.6	4.8	9.5	4.8	-
	30歳代	7	5.0	10.0	-	5.0	20.0	25.0	-	-	15.0	25.0
	40歳代	6	22.2	22.2	11.1	22.2	-	11.1	11.1	22.2	-	-
	50歳代	9	37.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	12.5
	60～64歳	10	20.0	-	30.0	20.0	-	-	10.0	10.0	10.0	-
	65～74歳	9	33.3	-	13.3	13.3	13.3	-	26.7	20.0	20.0	6.7
	75歳以上	41	41.7	25.0	20.8	12.5	16.7	12.5	12.5	8.3	12.5	4.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		88	31.3	18.9	15.4	13.6	13.0	12.9	12.1	11.8	10.6	5.8
手帳等級等	重度(1・2級)	53	31.2	21.6	14.6	19.1	10.2	16.6	8.8	8.0	16.9	5.7
	中度(3・4級)	26	30.8	11.2	9.1	4.8	18.2	-	20.7	18.6	1.3	5.6
	軽度(5・6級)	5	23.8	44.1	-	11.9	23.8	44.1	11.9	24.2	-	13.2
	無回答	4	46.3	-	92.6	-	-	7.4	-	-	-	-
全体		88	31.3	18.9	15.4	13.6	13.0	12.9	12.1	11.8	10.6	5.8
障がい部位	視覚障がい	3	11.6	67.7	-	9.3	-	9.3	-	-	-	-
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	6	-	59.1	16.6	43.9	4.4	27.4	10.1	4.4	43.9	5.4
	肢体不自由	44	32.4	15.1	9.1	13.4	10.5	14.6	13.5	12.3	11.9	10.8
	内部障がい	32	39.7	10.6	24.3	9.4	18.9	7.2	12.5	14.3	2.1	-
	その他	2	-	40.2	29.8	-	16.6	26.8	-	-	29.8	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		調査数（人）	対象・範囲の拡大をしてほしいサービス								
			生活介護	自立訓練	就労移行支援	同行援護	福祉電話の貸与	就労継続支援（A型）	日常生活用具	就労継続支援（B型）	無回答
全体		88	5.5	4.1	3.5	3.4	3.0	2.0	1.9	-	14.1
年齢詳細	20歳代以下	6	4.8	-	4.8	4.8	-	-	-	-	-
	30歳代	7	-	5.0	-	5.0	5.0	-	-	-	-
	40歳代	6	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-
	50歳代	9	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5
	60～64歳	10	-	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-	20.0
	65～74歳	9	-	13.3	-	-	6.7	6.7	6.7	-	6.7
	75歳以上	41	8.3	-	-	4.2	4.2	-	-	-	20.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体		88	5.5	4.1	3.5	3.4	3.0	2.0	1.9	-	14.1
手帳等級等	重度（1・2級）	53	9.1	3.7	0.5	4.4	0.6	1.1	1.1	-	12.8
	中度（3・4級）	26	-	6.4	10.7	2.4	2.4	4.3	4.0	-	21.5
	軽度（5・6級）	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	-	-	-	46.3	-	-	-	-
全体		88	5.5	4.1	3.5	3.4	3.0	2.0	1.9	-	14.1
障がい部位	視覚障がい	3	-	-	-	-	-	20.8	-	-	-
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	6	27.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由	44	7.0	0.8	3.9	5.9	2.1	2.5	-	-	14.9
	内部障がい	32	-	10.2	4.1	1.1	5.3	-	3.2	-	17.8
	その他	2	-	-	-	-	-	-	29.8	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 優先度が低い福祉サービスの有無

問33 ①～⑱の福祉サービス・事業の中で、他のサービス・事業よりも、それを実施する優先度が低いと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-82 優先度が低い福祉サービスの有無】



回答者全体では「ある」が1.7%、「ない」が10.2%となっている。また「わからない」(60.9%)が6割となっている。

(7) 優先度が低い福祉サービス

[問33で「1」を選ばれた方におたずねします]

問33-1 それはどのサービス・事業ですか。3つまで選んでください。(事業番号は①～⑱の数字を記入してください)

【図表4-83 優先度が低い福祉サービス】(上段=人、下段=%)

調査数	優先度が低い福祉サービス									
	移動支援	福祉タクシー料金の助成	居宅介護	日常生活用具	補装具	福祉乗車券の交付	福岡市重度心身障がい者福祉手当	短期入所	グループホーム・ケア	地下鉄料金の助成
15	6	5	2	2	2	2	1	1	1	1
100.0	42.9	31.2	11.8	11.8	11.8	11.8	9.5	4.2	4.2	4.2

調査数	優先度が低い福祉サービス								
	福祉電話の貸与	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	緊急通報システム	同行援護	生活介護	自立訓練	無回答
15	1	0	0	0	0	-	-	-	2
100.0	4.2	2.3	2.3	2.3	1.9	-	-	-	11.3

※ ウェイトバック集計を行っているため、調査数が15人と少ないこの設問については、端数処理の影響で、上段の人数が同じであっても、下段の割合が異なる場合がある。また、上段の人数が0人の場合でも、下段の割合が表示されている場合がある。

回答者全体では「移動支援」が6人、「福祉タクシー料金の助成」を選んだ人が5人で比較的多くなっている。

【参考 各サービスの利用状況別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】

(上段=人、下段=%)

		問32-1 対象・範囲の拡大をしてほしいサービス																	
		福祉タクシー料金の助成	グループホーム・ケアホーム	短期入所	居宅介護	移動支援	福祉乗車券の交付	地下鉄料金の助成	緊急通報システム	福岡市重度心身障がい者福祉手当	補装具	自立訓練	同行援護	生活介護	就労移行支援	福祉電話の貸与	就労継続支援（A型）	日常生活用具	就労継続支援（B型）
全 体		24 100.0	23 100.0	20 100.0	14 100.0	14 100.0	12 100.0	11 100.0	11 100.0	11 100.0	8 100.0	5 100.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	3 100.0	2 100.0	2 100.0	-
現在の利用状況	利用している	8 33.3	3 13.0	8 40.0	5 35.7	4 28.6	4 33.3	6 54.5	-	7 63.6	3 37.5	2 40.0	-	3 75.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-
	利用していない	15 62.5	20 87.0	12 60.0	8 57.1	10 71.4	7 58.3	3 27.3	9 81.8	3 27.3	5 62.5	3 60.0	4 100.0	1 25.0	4 100.0	3 100.0	1 50.0	1 50.0	-
	無回答	1 4.2	-	-	1 7.1	-	1 8.3	2 18.2	2 18.2	1 9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考 各サービスの利用状況別 優先度が低い福祉サービス】

(上段=人、下段=%)

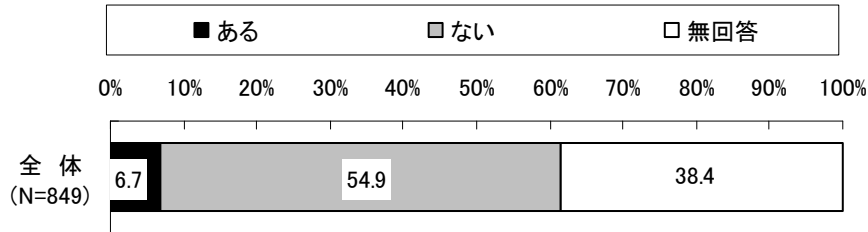
		問33-1 優先度が低いサービス																	
		移動支援	福祉タクシー料金の助成	福祉電話の貸与	短期入所	補装具	福岡市重度心身障がい者福祉手当	居宅介護	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	グループホーム・ケアホーム	日常生活用具	地下鉄料金の助成	福祉乗車券の交付	緊急通報システム	同行援護	生活介護	自立訓練
全 体		4 100.0	4 100.0	3 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-
現 在 の 利 用 状 況	利用している	1 25.0	2 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	利用していない	3 75.0	2 50.0	3 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 上記の参考については回答者数が少ない上に、それぞれの福祉サービス毎の集計となるため、ウエイトバック集計は行っていない。

(8) 新たに実施してほしい福祉サービスの有無

問34 現在行われていないサービス・事業で、新たに実施してほしいと思うものがありますか。
(○は1つだけ)

【図表4-84 新たに実施してほしい福祉サービスの有無】



回答者全体では「ある」が6.7%、「ない」が54.9%となっている。

年齢別に詳細にみると、40歳代以下では他に比べて、新たに実施してほしいサービスがある人の割合が高く、1割を超えている。

【図表4-85 年齢詳細別 新たに実施してほしい福祉サービスの有無】(%)

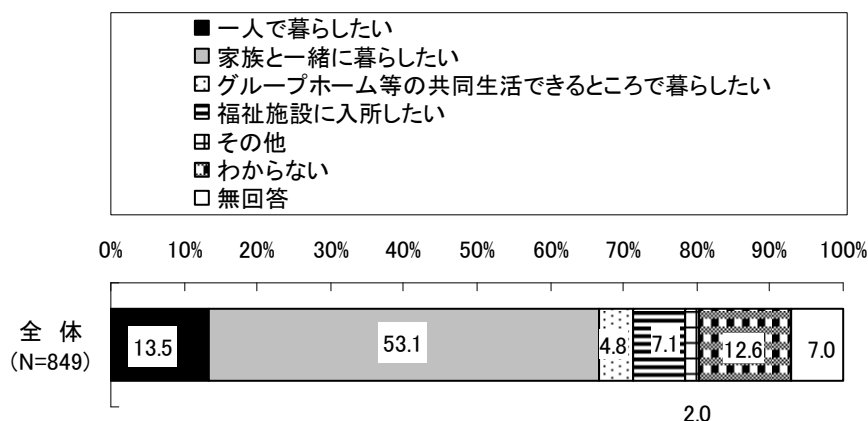
		調 査 数 （ 人 ）	新たに実施して欲しい福祉サービスの有無		
			あ る	な い	無 回 答
全 体		849	6.7	54.9	38.4
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	15.8	53.9	30.3
	30歳代	29	11.8	67.1	21.2
	40歳代	49	11.7	67.5	20.8
	50歳代	88	6.3	73.4	20.3
	60～64歳	90	4.6	64.4	31.0
	65～74歳	100	5.5	51.5	42.9
	75歳以上	472	6.2	48.4	45.5
	無回答	-	-	-	-

9. 今後の暮らし方について

(1) 希望する今後の暮らし方

問35 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表4-86 希望する今後の暮らし方】



回答者全体では「家族と一緒に暮らしたい」(53.1%)が過半数を占めて最も多く、このほか「一人で暮らしたい」(13.5%)、「わからない」(12.6%)がそれぞれ1割強を占めている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「家族と一緒に暮らしたい」(59.8%)や「一人で暮らしたい」(17.5%)の割合がやや高い。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「一人で暮らしたい」(22.4%)の割合がやや高い。また、40歳代では「家族と一緒に暮らしたい」(64.9%)の割合が他に比べて高く、6割を超えている。

障がい部位別にみると、内部障がいでは「家族と一緒に暮らしたい」(59.3%)の割合が6割と高い。

世帯状況別にみると、現在、夫婦のみや二世帯・三世帯同居している人は今後も「家族と一緒に過ごしたい」と考えている人が多く、それぞれ6割弱～8割弱を占めている。また、現在一人暮らしの人では、今後も「一人で暮らしたい」(45.9%)、グループホーム・ケアホーム利用者では今後も「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(32.2%)が最も多く、現在の暮らし方を今後も希望する人が多いことが分かる。

【図表4-87 年齢（2区分、詳細）別、障がい部位別、世帯状況別 今後の暮らし方】（％）

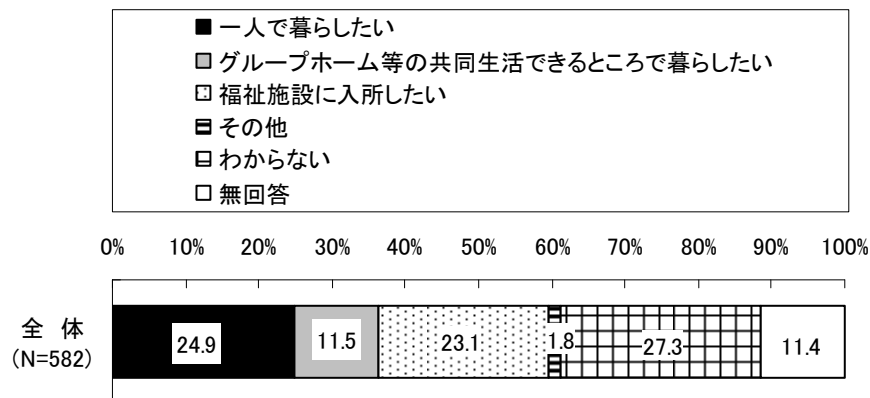
	調査数（人）	今後の暮らし方						
		一人で暮らしたい	い家族と一緒に暮らした	暮らしたい 暮らしできる ところの共	福祉施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全 体	849	13.5	53.1	4.8	7.1	2.0	12.6	7.0
年 齢 区 分	64歳以下	277	17.5	59.8	3.2	3.2	0.8	3.7
	65歳以上	572	11.6	49.9	5.5	8.9	2.6	8.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	13.5	53.1	4.8	7.1	2.0	12.6	7.0
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	22.4	55.3	9.2	6.6	-	5.3
	30歳代	29	15.3	58.8	4.7	3.5	3.5	11.8
	40歳代	49	14.3	64.9	2.6	2.6	2.6	9.1
	50歳代	88	19.0	59.5	3.8	-	-	13.9
	60～64歳	90	17.2	58.6	1.1	5.7	-	12.6
	65～74歳	100	14.7	55.2	0.6	3.1	1.2	14.1
	75歳以上	472	10.9	48.7	6.5	10.2	2.9	12.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	13.5	53.1	4.8	7.1	2.0	12.6	7.0
障 がい 部 位	視覚障がい	69	9.5	50.6	8.5	8.4	3.0	16.7
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	20.6	39.8	4.7	8.5	3.0	14.8
	肢体不自由	380	14.0	53.1	5.7	6.3	1.9	12.5
	内部障がい	280	10.1	59.3	3.3	6.4	2.1	12.1
	その他	31	28.8	40.8	-	17.4	-	2.0
	無回答	10	16.9	39.1	-	-	-	16.9
全 体	849	13.5	53.1	4.8	7.1	2.0	12.6	7.0
世 帯 状 況	一人暮らし	179	45.9	5.8	1.9	10.5	2.6	25.7
	夫婦のみ	250	5.7	70.6	3.6	7.2	1.4	5.3
	二世帯同居（親と本人）	56	13.1	57.5	7.5	4.4	2.2	11.5
	二世帯同居（子と本人）	264	3.0	77.4	1.7	4.5	0.8	7.3
	三世帯同居	12	8.5	63.1	-	2.3	-	18.7
	その他	26	4.0	43.3	8.0	10.7	6.6	18.4
	グループホーム・ケアホーム	53	2.1	9.7	32.2	6.4	7.6	24.8
	無回答	9	-	37.3	-	25.3	-	18.7

(2) 将来、家族と同居できない場合の暮らし方

[問35-1は、現在、ご家族と同居されている方におたずねします]

問35-1 将来、さまざまな理由でご家族との同居ができなくなったとき、どのように暮らしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

【図表4-88 将来、家族と同居できない場合の暮らし方】



回答者全体では、「わからない」(27.3%)が3割弱を占めて最も多く、次いで「一人で暮らしたい」(24.9%)、「福祉施設に入所したい」(23.1%)となっている。

年齢詳細別にみると、50歳代以下では60歳以上に比べて「一人で暮らしたい」の割合が高く、4割前後を占めている。

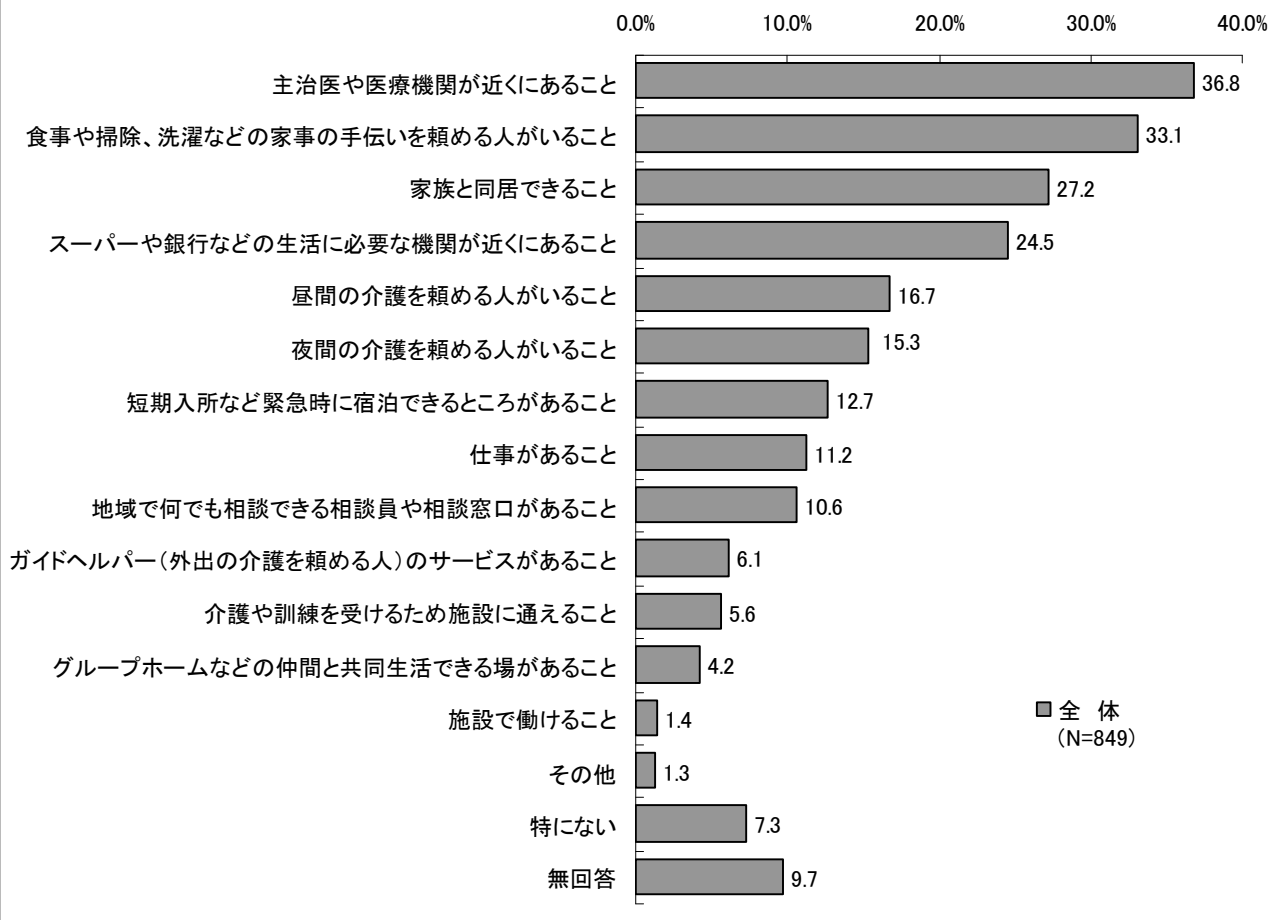
【図表4-89 年齢詳細別 将来、家族と同居できない場合の暮らし方】(%)

		調査数(人)	将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方				
			一人で暮らしたい	暮らし方グループホーム等共同生活できるところで暮らしたい	福祉施設に入所したい	その他	わからない
全 体		582	24.9	11.5	23.1	1.8	27.3
年 齢 詳 細	20歳代以下	18	40.9	18.2	25.8	-	10.6
	30歳代	25	34.2	13.7	19.2	-	26.0
	40歳代	38	43.3	13.3	16.7	1.7	23.3
	50歳代	62	37.5	14.3	19.6	1.8	25.0
	60～64歳	70	23.9	7.5	19.4	1.5	34.3
	65～74歳	68	17.9	12.5	23.2	0.9	36.6
	75歳以上	301	20.0	10.9	25.7	2.3	25.7
無回答		-	-	-	-	-	-

(3) 自宅や地域で生活するために必要なこと

問36 自宅や地域で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【図表4-90 自宅や地域で生活するために必要なこと】



回答者全体では「主治医や医療機関が近くにあること」(36.8%)が最も多く、次いで「食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(33.1%)、「家族と同居できること」(27.2%)となっている。

第4章 身体障がい者調査

年齢別に詳細にみると、30歳代以下の若年者では「短期入所など緊急時に宿泊できる場所があること」の割合が2割を超えており、他に比べて高い。また、50歳代以下では「仕事があること」の割合が高く、3割を超えている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では「昼間の介護を頼める人がいること」(21.8%)や「夜間の介護を頼める人がいること」(18.8%)の割合が高い。また、5・6級の軽度者では「仕事があること」(19.3%)の割合が2割と他に比べてやや高い。

【図表4-91 年齢詳細別、手帳等級別 自宅や地域で生活するために必要なこと】(%)

	調査数(人)	自宅や地域で生活するために必要なこと							
		が主 近治 く医 にや あ医 る療 こ機 と関	るい こを と頼 め家 る事 の掃 除、 人洗 が手 伝濯	こ家 と族 と 同 居 で 可 能	こ機 と関 の生 活に 必 要 な 事	る昼 人 の 介 護 を 頼 め	る夜 人 の 介 護 を 頼 め	こ時 ろに が宿 泊 所 な ど 緊 急	仕 事 が あ る こ と
全 体	849	36.8	33.1	27.2	24.5	16.7	15.3	12.7	11.2
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	32.9	15.8	19.7	14.5	21.1	26.3	36.8
	30歳代	29	31.8	15.3	30.6	9.4	8.2	22.4	48.2
	40歳代	49	36.4	28.6	35.1	6.5	5.2	9.1	46.8
	50歳代	88	43.0	30.4	27.8	8.9	8.9	6.3	32.9
	60～64歳	90	36.8	33.3	23.0	13.8	11.5	12.6	13.8
	65～74歳	100	37.4	38.0	28.8	16.6	12.9	11.0	6.1
	75歳以上	472	36.0	34.9	26.9	20.7	18.9	13.5	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	36.8	33.1	27.2	24.5	16.7	15.3	12.7	11.2
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	34.1	35.1	24.5	21.3	18.8	12.9	8.9
	中度(3・4級)	297	42.9	30.4	33.3	11.5	10.4	11.9	12.3
	軽度(5・6級)	96	35.8	31.8	24.0	12.3	15.5	16.9	19.3
	無回答	19	8.9	36.6	10.6	3.3	3.2	8.9	8.2

	調査数(人)	自宅や地域で生活するために必要なこと							
		談で 窓き 口る が相 何あ あ談 る員 もこ や相 と談	スめ が あ る こ と	る介 こた とめ や施 訓設 練に を通 受え け	こ活 とで のル 仲 間 と 共 に あ る 生 活	施 設 で 働 け る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	849	10.6	6.1	5.6	4.2	1.4	1.3	7.3	9.7
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	17.1	6.6	11.8	3.9	-	5.3	-
	30歳代	29	20.0	2.4	9.4	5.9	3.5	5.9	3.5
	40歳代	49	9.1	3.9	6.5	2.6	5.2	5.2	6.5
	50歳代	88	13.9	3.8	2.5	-	3.8	6.3	5.1
	60～64歳	90	14.9	6.9	4.6	3.4	1.1	13.8	4.6
	65～74歳	100	11.0	2.5	6.7	3.7	1.2	8.0	9.8
	75歳以上	472	8.4	7.6	5.5	5.1	1.5	6.5	12.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	10.6	6.1	5.6	4.2	1.4	1.3	7.3	9.7
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	9.0	7.9	5.6	0.9	1.5	4.7	11.2
	中度(3・4級)	297	13.1	4.6	4.5	3.6	1.5	9.7	5.6
	軽度(5・6級)	96	8.2	3.9	9.6	2.7	0.4	10.5	12.9
	無回答	19	19.6	-	-	1.8	5.8	14.7	24.1

障がい部位別にみると、視覚障がいでは他に比べて「夜間の介護を頼める人がいること」(28.9%)や「ガイドヘルパー(外出の介護を頼める人)のサービスがあること」(20.4%)、内部障がいでは「主治医や医療機関が近くにあること」(43.6%)や「家族と同居できること」(34.2%)等の割合が高くなっている。

希望する今後の暮らし方別にみると、一人暮らし希望者では、二世帯同居希望者等に比べて「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」(37.6%)等の割合が高い。

【図表4-92 障がい部位別、今後の暮らし方別 自宅や地域で生活するために必要なこと】(%)

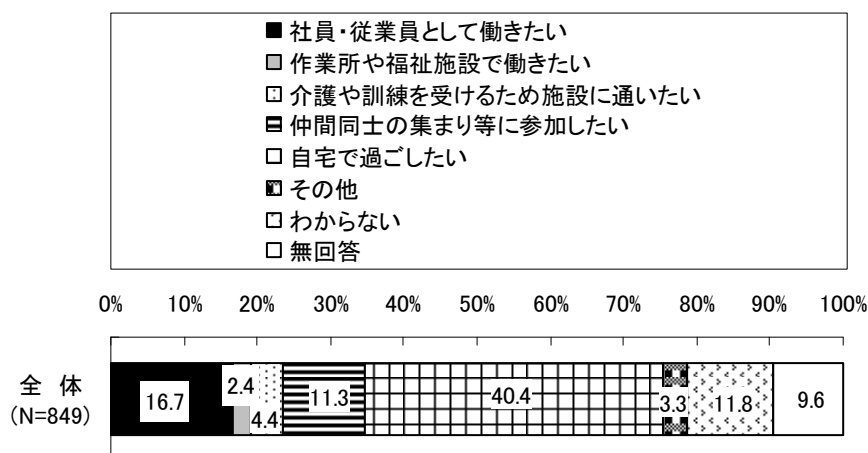
		調査数（人）	自宅や地域で生活するために必要なこと							
			主治医や医療機関が近くに あること	食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること	家族と同居できること	機関が近くに あること	スーパーや銀行などの生活に必要なこと	昼間の介護を頼める人がいること	夜間の介護を頼める人がいること	短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること
全 体		849	36.8	33.1	27.2	24.5	16.7	15.3	12.7	11.2
障がい 部位	視覚障がい	69	22.2	41.1	19.0	21.1	19.5	28.9	18.6	5.4
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	31.5	18.4	21.1	22.6	19.6	18.1	12.4	15.2
	肢体不自由	380	37.0	33.7	25.9	26.1	16.5	12.9	13.0	12.1
	内部障がい	280	43.6	34.7	34.2	24.7	16.9	13.5	10.7	11.8
	その他	31	24.4	31.7	20.2	16.1	5.7	21.7	13.8	2.2
	無回答	10	16.9	33.1	12.0	16.9	10.2	16.2	16.9	-
全 体		849	36.8	33.1	27.2	24.5	16.7	15.3	12.7	11.2
今後の暮らし方	一人で暮らしたい	115	35.2	36.0	5.4	37.6	10.1	12.0	14.0	14.5
	家族と一緒に暮らしたい	451	43.1	34.7	46.9	23.7	18.8	16.1	13.0	14.2
	グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい	40	31.9	34.9	2.4	20.1	18.5	25.4	15.0	0.7
	福祉施設に入所したい	60	42.4	52.1	0.9	28.8	21.7	23.1	17.3	1.6
	その他	17	32.6	39.8	10.0	9.3	33.4	23.5	29.9	9.3
	わからない	107	26.1	28.4	8.5	24.0	17.8	13.8	6.2	9.7
	無回答	59	9.8	2.1	2.1	8.7	0.5	0.5	8.3	2.9

		調査数（人）	自宅や地域で生活するために必要なこと										
			談話できる 窓口に がある こと	地域で 何でも 相談 できる こと	める人 がある こと	（ガイド ヘルパー の介 護を 頼 む）	るため の こと	介護や 訓練 を受け る こと	生活で の仲 間が 共 同 な こ と	グ ル ー プ ホ ー ム に 入 居 し た い	施設 で 働 け る こ と	その他	特 に な い
全 体		849	10.6	6.1	5.6	4.2	1.4	1.3	7.3	9.7			
障 が い 部 位	視覚障がい	69	5.2	20.4	8.8	2.9	0.5	0.5	6.3	7.6			
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	20.4	8.8	6.7	9.5	3.6	2.1	8.0	9.5			
	肢体不自由	380	9.6	6.0	5.7	4.0	1.4	1.1	8.0	11.1			
	内部障がい	280	10.0	2.9	4.2	4.0	0.8	1.2	6.3	7.3			
	その他	31	12.7	－	7.5	1.1	4.4	5.5	11.0	14.6			
	無回答	10	16.9	－	－	－	－	－	－	27.1			
全 体		849	10.6	6.1	5.6	4.2	1.4	1.3	7.3	9.7			
今 後 の 暮 ら し 方	一人で暮らしたい	115	12.4	9.4	4.8	－	4.1	0.3	11.5	9.1			
	家族と一緒に暮らしたい	451	11.4	4.5	5.0	3.0	1.2	1.5	4.5	2.8			
	グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい	40	10.2	17.7	7.3	32.1	0.7	－	10.0	4.2			
	福祉施設に入所したい	60	9.6	4.6	7.2	10.1	0.5	－	8.0	5.7			
	その他	17	3.5	－	10.0	13.5	－	21.9	2.0	10.0			
	わからない	107	10.9	10.5	8.7	1.2	－	0.3	17.1	8.7			
	無回答	59	4.0	－	1.1	－	3.0	－	2.1	73.8			

(4) 希望する日中の過ごし方

問37 あなたは、今後、日中、主に何をして過ごしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表4-93 希望する日中の過ごし方】



回答者全体では「自宅で過ごしたい」(40.4%)が最も多く、次いで「社員・従業員として働きたい」(16.7%)、「仲間同士の集まり等に参加したい」(11.3%)となっているが、年齢による差が大きく、年齢2区分別にみると、64歳以下では「社員・従業員として働きたい」(42.7%)が最も多く、65歳以上では「自宅で過ごしたい」(47.1%)が最も多くなっている。

年齢別に詳細にみると、50歳代以下では「社員・従業員として働きたい」が4～6割程度を占めている。また、30歳代以下では40歳代以上に比べて「作業所や福祉施設で働きたい」の割合が高く、2割弱を占めている。さらに、65歳以上では「自宅で過ごしたい」の割合が4割を超えて高い。

手帳等級別にみると、軽度の人ほど「社員・従業員として働きたい」の割合が高く、5・6級の軽度者では3割弱(27.3%)を占めている。

【図表4-94 年齢(2区分、詳細)別、手帳等級別 希望する日中の過ごし方】(%)

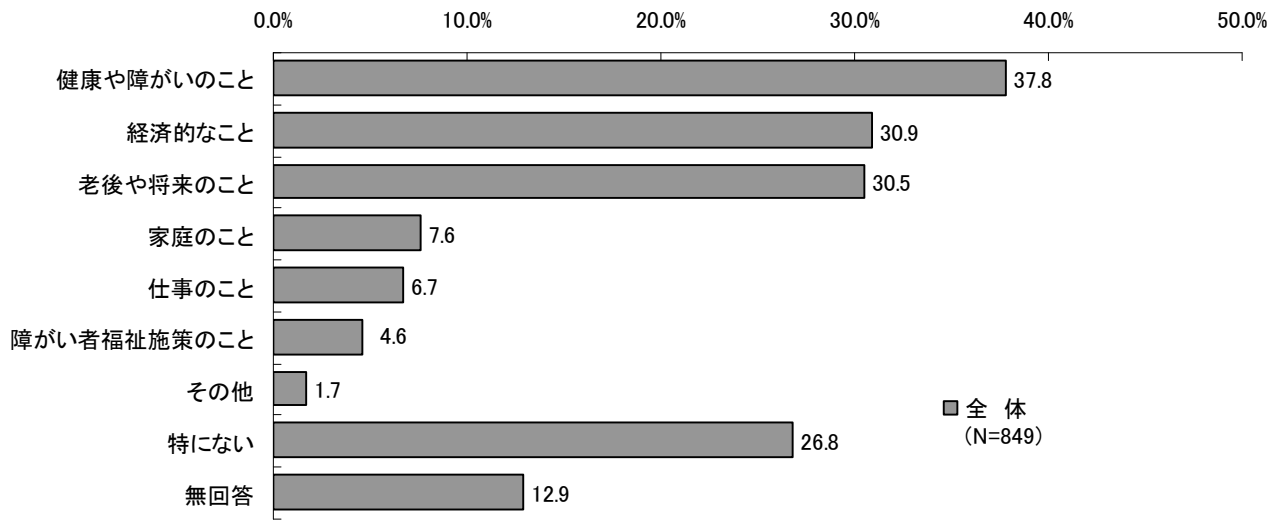
	調査数(人)	希望する日中の過ごし方							
		社員・従業員として働きたい	作業所や福祉施設で働きたい	介護や訓練を受けるため施設に通いたい	仲間同士の集まり等に参加したい	自宅で過ごしたい	その他	わからない	無回答
全体	849	16.7	2.4	4.4	11.3	40.4	3.3	11.8	9.6
年齢区分2	64歳以下	42.7	6.8	3.1	4.3	26.7	2.7	10.3	3.5
	65歳以上	4.1	0.3	5.1	14.6	47.1	3.6	12.5	12.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	849	16.7	2.4	4.4	11.3	40.4	3.3	11.8	9.6
年齢詳細	20歳代以下	21	47.4	18.4	14.5	-	6.6	3.9	1.3
	30歳代	29	54.1	15.3	5.9	-	12.9	2.4	2.4
	40歳代	49	63.6	6.5	1.3	2.6	15.6	1.3	2.6
	50歳代	88	41.8	3.8	-	6.3	31.6	1.3	1.3
	60～64歳	90	27.6	4.6	3.4	5.7	36.8	4.6	6.9
	65～74歳	100	11.7	1.8	4.9	11.7	42.9	3.7	11.7
	75歳以上	472	2.5	-	5.1	15.3	48.0	3.6	12.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	849	16.7	2.4	4.4	11.3	40.4	3.3	11.8	9.6
手帳等級	重度(1・2級)	437	12.7	2.8	6.1	10.5	40.0	3.3	10.9
	中度(3・4級)	297	20.0	1.3	2.6	12.3	44.8	3.1	6.0
	軽度(5・6級)	96	27.3	2.8	3.0	13.8	28.5	4.9	10.7
	無回答	19	5.0	9.0	-	-	41.9	-	29.5

10. 情報収集や相談について

(1) 困っていることや心配なこと

問38 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。
(○は3つまで)

【図表4-95 困っていることや心配なこと】



回答者全体では「健康や障がいのこと」(37.8%)が最も多く、次いで「経済的なこと」(30.9%)、「老後や将来のこと」(30.5%)となっている。

年齢別に詳細にみると、60～64歳では他に比べて「経済的なこと」(50.6%)の割合が高く、半数を占めている。また、40歳代以下では「仕事のこと」の割合が高く、3割前後を占めている。

世帯状況別にみると、親との二世帯同居者や三世帯同居者では他に比べて「仕事のこと」の割合が高く、2割を超えている。また、親との二世帯同居者では「老後や将来のこと」(48.4%)が半数弱を占めている。

世帯の課税状況別にみると、市民税非課税世帯では課税世帯に比べて「仕事のこと」(41.3%)の割合が高い。

【図表4-96 年齢詳細別、世帯状況別、世帯の課税状況別 困っていることや心配なこと】(%)

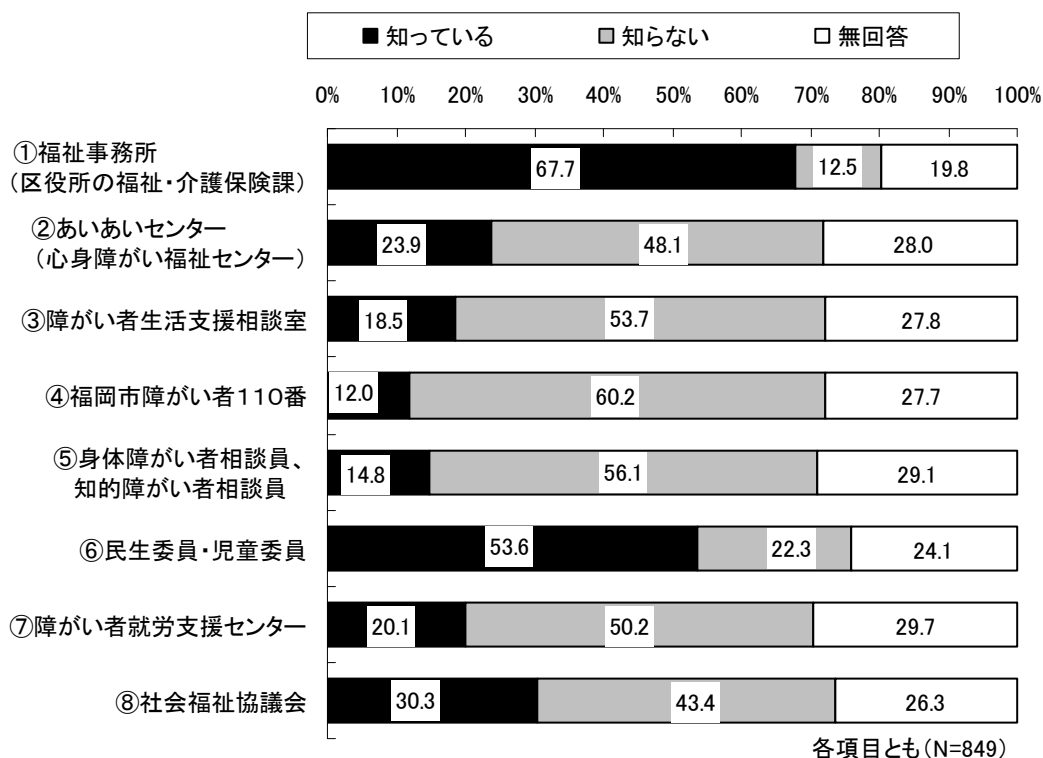
		調査数（人）	困っていることや心配なこと								
			経済的なこと	仕事のこと	の健康や障がい	家庭のこと	障がい者福祉施策のこと	老後や将来のこと	その他	特にない	無回答
全 体		849	30.9	6.7	37.8	7.6	4.6	30.5	1.7	26.8	12.9
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	36.8	26.3	46.1	2.6	10.5	48.7	6.6	19.7	—
	30歳代	29	37.6	27.1	40.0	9.4	2.4	36.5	2.4	24.7	7.1
	40歳代	49	40.3	32.5	41.6	9.1	6.5	42.9	—	19.5	3.9
	50歳代	88	38.0	12.7	38.0	6.3	5.1	32.9	—	32.9	3.8
	60～64歳	90	50.6	11.5	47.1	11.5	—	35.6	—	20.7	6.9
	65～74歳	100	38.7	4.3	38.7	8.6	4.3	39.3	—	22.1	15.3
	75歳以上	472	22.5	0.4	34.9	6.9	5.1	24.7	2.5	29.1	17.1
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 体		849	30.9	6.7	37.8	7.6	4.6	30.5	1.7	26.8	12.9
世 帯 状 況	一人暮らし	179	31.4	5.0	37.4	3.9	5.2	31.5	3.1	21.7	15.1
	夫婦のみ	250	31.0	5.4	43.9	6.0	3.7	36.3	0.7	25.5	12.5
	二世帯同居（親と本人）	56	42.8	20.3	41.2	7.0	7.6	48.4	2.0	20.0	5.3
	二世帯同居（子と本人）	264	29.4	7.0	32.9	12.7	3.1	22.9	0.8	30.9	13.1
	三世帯同居	12	59.9	35.1	67.1	2.3	5.2	28.6	2.3	18.2	—
	その他	26	21.0	—	43.3	—	1.3	30.6	6.6	32.7	6.6
	グループホーム・ケアホーム	53	22.5	—	21.6	6.4	12.9	16.1	—	37.7	19.3
	無回答	9	25.3	—	37.3	18.7	—	44.0	18.7	18.7	18.7
全 体		849	37.8	30.9	30.5	7.6	6.7	4.6	1.7	26.8	12.9
税 世 帯 帯 課 税 課											

(2) 相談機関の認知度

問39 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所（機関）があります。

あなたは、これらの相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。①～⑧の項目ごとに、認知度と利用状況・利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表4-97 相談機関の認知度】



相談機関の認知度（「知っている」の割合）は、「①福祉事務所」（67.7％）で7割弱と最も高く、次いで「⑥民生委員・児童委員」（53.6％）、「⑧社会福祉協議会」（30.3％）となっている。

年齢2区分別にみると、すべての相談機関について65歳以上よりも64歳以下で認知度が高い。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下は30歳代以上に比べて「②あいあいセンター」（68.4％）や「⑦障がい者就労支援センター」（57.9％）等の認知度が高い。

【図表4-98 年齢（2区分、詳細）別 相談機関の認知度（知っている）】（％）

	調査数（人）	相談機関の認知度（知っている）							
		① 役所・福祉課（保険課）	② ターナー心身障害センター	③ 障害者生活支援室	④ 福岡市障がい者相談員	⑤ 身体障害者知的障害者相談員	⑥ 民生委員・児童委員	⑦ 障がい者就労支援センター	⑧ 社会福祉協議会
全 体	849	67.7	23.9	18.5	12.0	14.8	53.6	20.1	30.3
年 齢 区 分	64歳以下	277	80.1	39.0	26.3	14.9	20.0	34.9	32.8
	65歳以上	572	61.8	16.6	14.8	10.7	12.2	12.9	29.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	67.7	23.9	18.5	12.0	14.8	53.6	20.1	30.3
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	78.9	68.4	25.0	11.8	17.1	57.9	42.1
	30歳代	29	68.2	45.9	32.9	14.1	23.5	36.5	38.8
	40歳代	49	77.9	45.5	32.5	11.7	19.5	39.0	37.7
	50歳代	88	87.3	36.7	27.8	16.5	22.8	34.2	27.8
	60～64歳	90	78.2	28.7	19.5	16.1	17.2	27.6	31.0
	65～74歳	100	65.0	22.7	22.7	12.9	16.6	17.2	28.8
	75歳以上	472	61.1	15.3	13.1	10.2	11.3	12.0	29.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

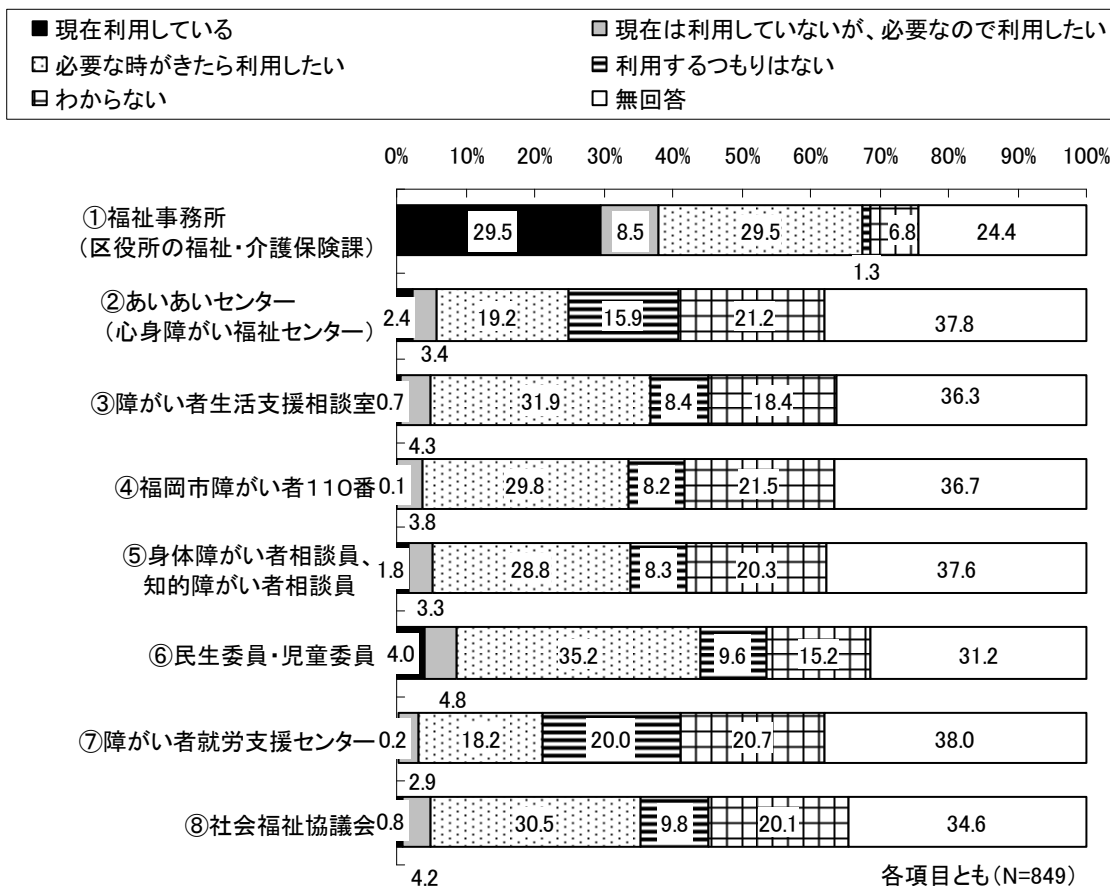
(3) 相談機関の利用状況・利用意向

問39 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所（機関）があります。

あなたは、これらの相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。

①～⑧の項目ごとに、認知度と利用状況・利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表4-99 相談機関の利用状況・利用意向】



相談機関の利用状況・利用意向についてみると、利用状況は「①福祉事務所」(29.5%)で3割を占めているほかは、いずれも5%未満である。

「現在利用している」と「現在は利用していないが、必要なので利用したい」の合計を『利用意向』として整理すると、利用状況と同じく「①福祉事務所」(38.0%)が最も高い。

この『利用意向』を年齢別にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「②あいあいセンター」(15.8%)の割合がやや高く、2割弱を占めている。

【図表4-100 年齢（2区分、詳細）別

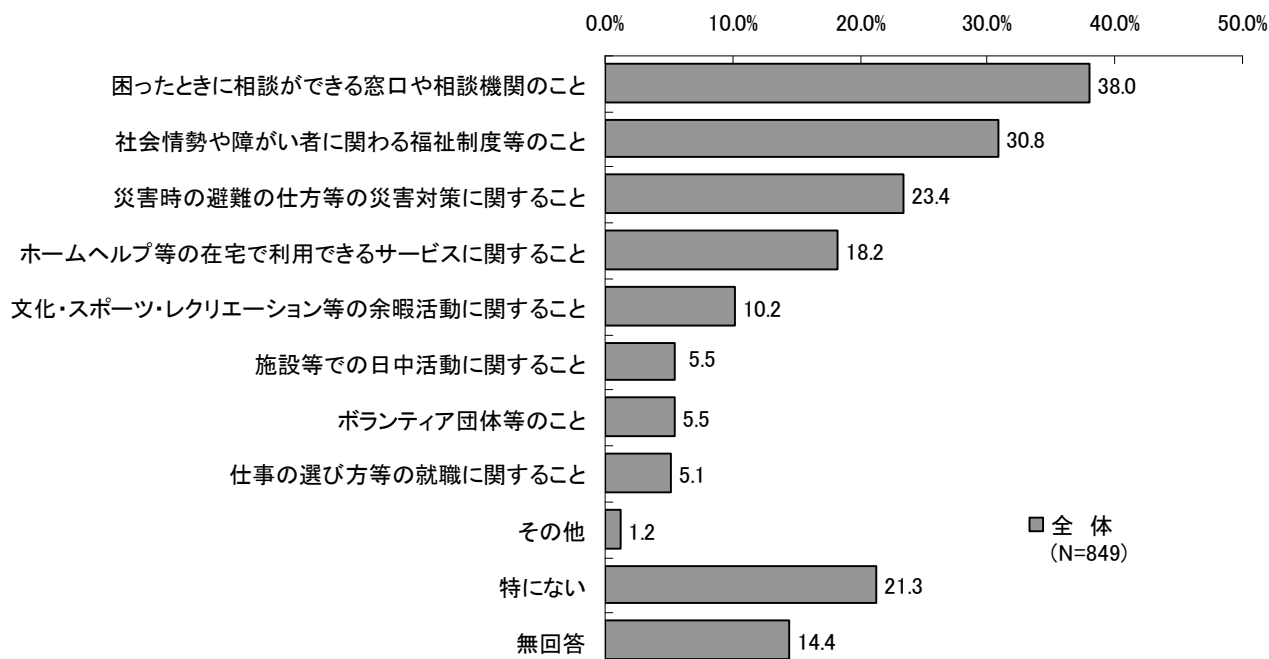
相談機関の利用意向（現在利用＋必要で利用したい）】（％）

		調査数（人）	相談機関の利用意向（現在利用+ 必要で利用したい）							
			① 福祉・介護保険課 福祉事務所（区役所の）	② あいあい福祉センター（心身障がい福祉センター）	③ 障がい者生活支援相談室	④ 福岡市障がい者110番	⑤ 知的身体障がい者相談員、	⑥ 民生委員・児童委員	⑦ 障がい者就労支援センター	⑧ 社会福祉協議会
全 体		849	38.0	5.8	5.0	3.9	5.1	8.8	3.1	34.7
区 分	年 齢									
	64歳以下	277	37.4	5.0	4.5	3.4	3.7	5.4	4.6	45.0
	65歳以上	572	38.2	6.3	5.1	4.0	5.6	10.4	2.4	29.6
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		849	38.0	5.8	5.0	3.9	5.1	8.8	3.1	34.7
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	50.0	15.8	6.6	3.9	5.2	10.5	9.2	43.4
	30歳代	29	36.5	8.3	7.1	5.9	2.4	4.8	5.9	55.3
	40歳代	49	41.6	7.8	5.2	5.2	3.9	5.2	5.2	42.9
	50歳代	88	34.2	3.8	3.8	3.8	5.0	7.6	3.8	46.8
	60～64歳	90	35.6	1.1	3.4	1.1	2.2	2.3	3.4	41.3
	65～74歳	100	29.4	4.9	5.6	2.4	5.0	5.0	3.7	28.9
	75歳以上	472	40.0	6.5	5.1	4.4	5.8	11.7	2.2	29.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 知りたい情報

問40 あなたは、生活に関することで、どのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-101 知りたい情報】



回答者全体では「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(38.0%)が最も多く、次いで「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」(30.8%)、「災害時の避難の仕方等の災害対策に関すること」(23.4%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下は65歳以上に比べて「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」(44.1%)や「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(42.9%)、「文化・スポーツ・レクリエーション等の余暇活動に関すること」(14.7%)、「仕事の選び方等の就職に関すること」(14.0%)等の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、40歳代以下では50歳代以上に比べて「仕事の選び方等の就職に関すること」の割合が高く、2割強～3割の人がこれらの情報を知りたいと回答している。また、30歳代以下では40歳代以上に比べて「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」の割合が高い。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では他に比べて「災害時の避難の仕方等の災害対策に関すること」(29.1%)の割合が高く、3割を占めている。

障がい部位別にみると、内部障がいでは他に比べて、「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(43.7%)の割合が高く、4割強を占めている。

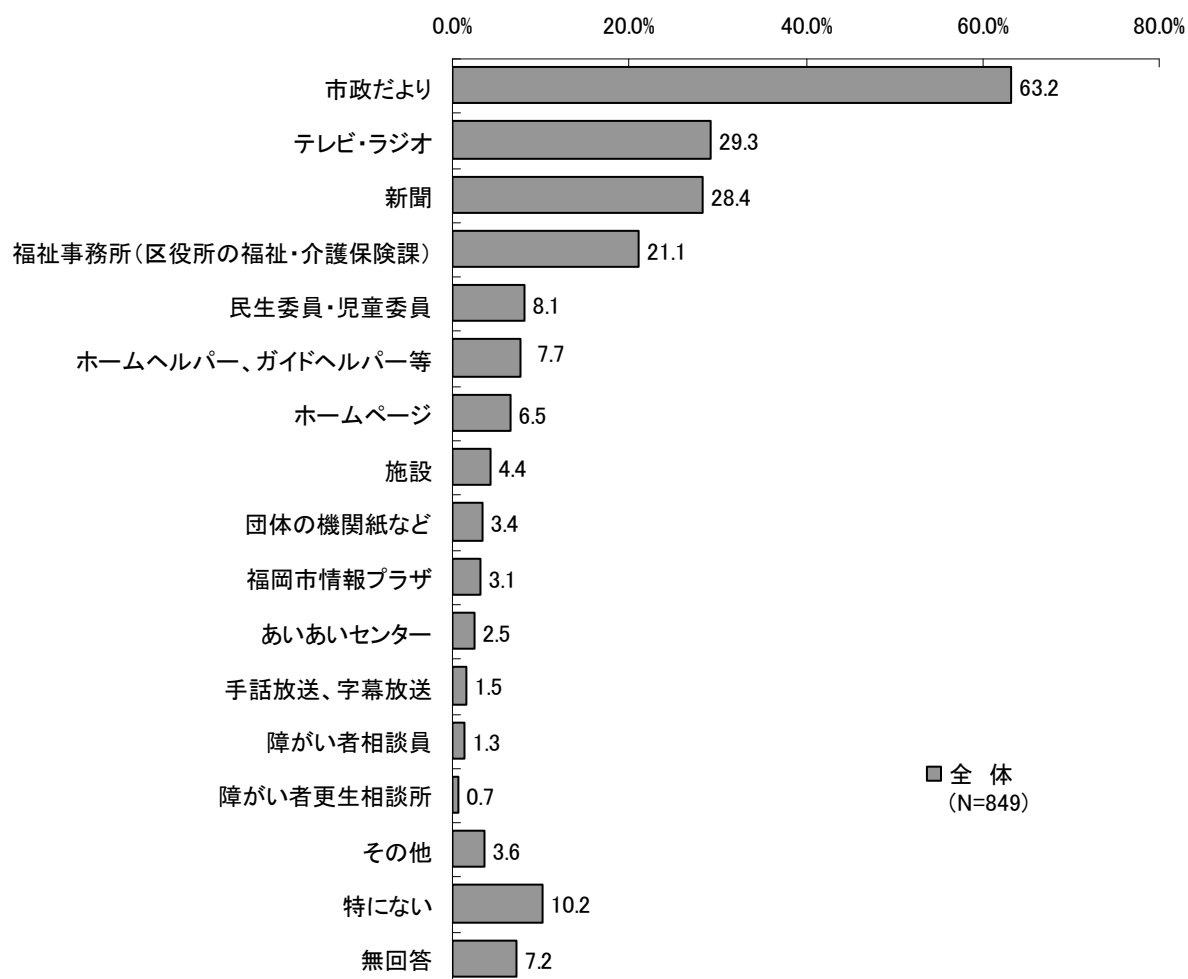
【図表4-102 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別 知りたい情報】（％）

		調査数（人）	知りたい情報														
			こと き と	困 つ た と き に 相 談 機 関 の で	と 関 わ る 福 祉 制 度 等 の こ	社 会 情 勢 や 障 が い の 者 に 関 する	と 災 害 時 の 避 難 の 仕 方 等	に 関 する こと	で 利 用 で き る サ ー ビ ス	ホ ー ム ヘル プ 等 の 在 宅	活 動 に 関 する こと	文 化 ・ ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 等 の 余 暇	関 連 する こと の 日 中 活 動 に	施 設 等 で の 日 中 活 動 に	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 等 の 活 動 に	に 関 する こと	仕 事 の 選 び 方 等 の 就 職
全 体		849	38.0	30.8	23.4	18.2	10.2	5.5	5.5	5.1	1.2	21.3	14.4				
区 分 2	年 64歳以下	277	42.9	44.1	27.2	13.9	14.7	3.8	7.1	14.0	0.2	20.7	5.8				
	年 65歳以上	572	35.6	24.3	21.6	20.3	8.0	6.4	4.8	0.7	1.7	21.6	18.6				
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
全 体		849	38.0	30.8	23.4	18.2	10.2	5.5	5.5	5.1	1.2	21.3	14.4				
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	50.0	53.9	36.8	18.4	25.0	10.5	11.8	23.7	2.6	7.9	-				
	30歳代	29	42.4	57.6	29.4	18.8	17.6	4.7	8.2	24.7	-	11.8	4.7				
	40歳代	49	45.5	39.0	26.0	9.1	24.7	5.2	10.4	29.9	-	16.9	7.8				
	50歳代	88	38.0	40.5	27.8	15.2	13.9	3.8	5.1	10.1	-	26.6	7.6				
	60～64歳	90	44.8	43.7	24.1	12.6	6.9	1.1	5.7	3.4	-	23.0	4.6				
	65～74歳	100	38.7	27.6	19.0	16.6	9.8	5.5	6.7	4.3	1.2	17.2	19.0				
	75歳以上	472	34.9	23.6	22.2	21.1	7.6	6.5	4.4	-	1.8	22.5	18.5				
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
全 体		849	38.0	30.8	23.4	18.2	10.2	5.5	5.5	5.1	1.2	21.3	14.4				
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	38.1	33.9	29.1	18.1	8.6	7.0	5.6	4.9	1.3	20.5	12.8				
	中度（3・4級）	297	38.1	27.0	18.7	19.1	12.4	3.4	6.3	4.8	1.0	20.3	15.5				
	軽度（5・6級）	96	38.7	31.7	14.2	17.9	9.5	6.4	2.7	7.3	-	29.7	14.1				
	無回答	19	28.5	12.6	13.8	8.9	14.7	-	7.2	1.8	8.9	15.3	36.1				
全 体		849	38.0	30.8	23.4	18.2	10.2	5.5	5.5	5.1	1.2	21.3	14.4				
障 が い 部 位	視覚障がい	69	28.0	36.5	27.6	28.7	4.0	11.0	3.5	2.4	5.0	29.6	5.2				
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	37.6	30.4	27.7	14.7	15.2	8.7	5.1	4.6	0.8	21.8	21.9				
	肢体不自由	380	36.7	30.4	21.1	19.4	11.6	3.9	7.7	6.3	0.7	20.1	12.7				
	内部障がい	280	43.7	30.8	26.9	15.7	8.1	5.8	2.9	4.5	0.7	20.9	16.3				
	その他	31	35.1	32.6	7.9	12.3	14.7	3.9	10.3	2.0	5.5	18.5	11.1				
	無回答	10	6.0	-	-	16.9	6.0	-	-	6.0	-	27.1	44.0				

(5) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問4 1 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-103 福岡市の福祉施策情報の入手先】



回答者全体では「市政だより」(63.2%)が6割強と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」(29.3%)、「新聞」(28.4%)、「福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)」(21.1%)となっている。

年齢別に詳細にみると、いずれの年代でも「市政だより」が過半数となっており、特に60～64歳で7割強(74.7%)と高くなっている。また、「ホームページ」は50歳代以下で割合が高く、40歳代では3割弱(26.0%)となっている。また、20歳代以下では30歳代以上に比べて「施設」(26.3%)の割合も高い。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では他に比べて「福祉事務所」(25.7%)の割合が高い。

【図表4-104 年齢詳細別、手帳等級別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

		調 査 数 (人)	福岡市の福祉施策情報の入手先							
			市 政 だ よ り	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	福 祉 ・ 事 務 所 (区 役 所 の 福 祉 ・ 介 護 保 険 課)	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	ホ ー ム ヘ ル パ ー 等	ホ ー ム ペ ー ジ	施 設
全 体		849	63.2	29.3	28.4	21.1	8.1	7.7	6.5	4.4
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	60.5	23.7	18.4	23.7	2.6	13.2	18.4	26.3
	30歳代	29	52.9	17.6	17.6	25.9	1.2	2.4	18.8	8.2
	40歳代	49	59.7	23.4	22.1	24.7	－	1.3	26.0	2.6
	50歳代	88	65.8	32.9	26.6	20.3	3.8	－	16.5	5.1
	60～64歳	90	74.7	26.4	24.1	23.0	3.4	2.3	6.9	－
	65～74歳	100	63.8	30.1	31.9	18.4	8.6	8.0	1.8	1.8
	75歳以上	472	61.5	30.5	30.5	20.7	11.3	10.9	2.2	4.7
無回答		－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	63.2	29.3	28.4	21.1	8.1	7.7	6.5	4.4
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	58.2	27.5	25.9	25.7	9.5	8.2	7.0	4.4
	中度(3・4級)	297	72.5	34.3	33.1	15.8	6.7	8.3	5.6	2.3
	軽度(5・6級)	96	61.4	25.6	28.9	19.6	6.0	4.9	7.9	9.8
	無回答	19	40.3	10.3	8.7	7.5	8.9	1.4	－	10.3

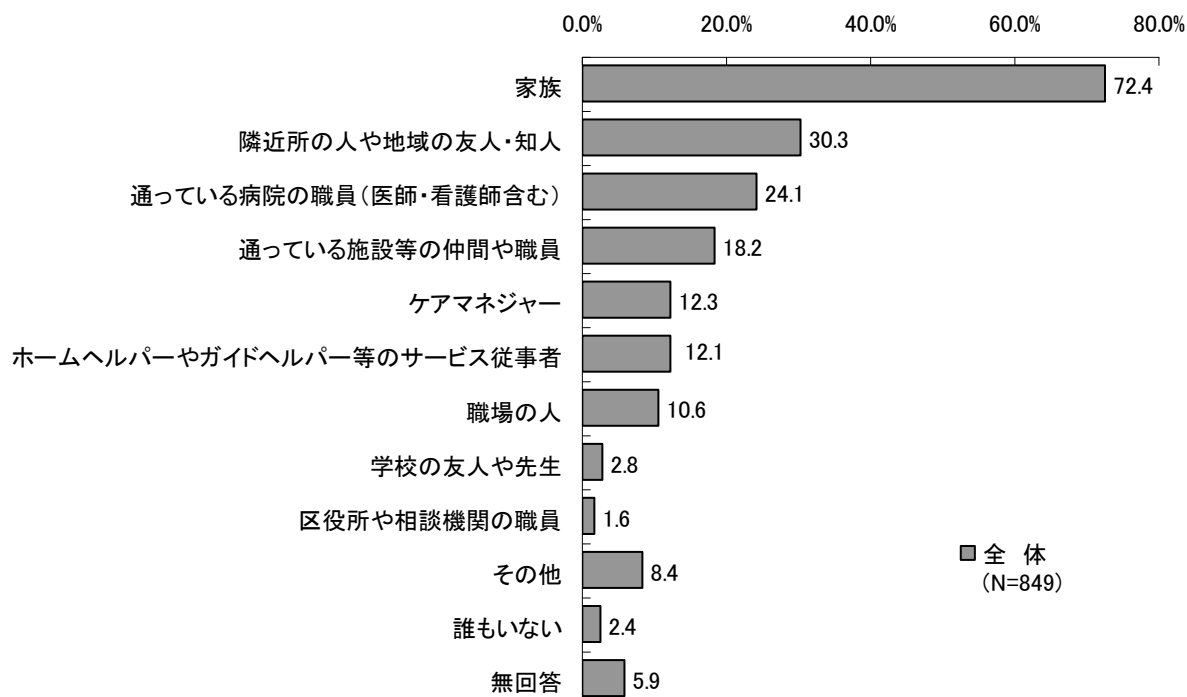
		調 査 数 （ 人 ）	福岡市の福祉施策情報の入手先								
			団 体 の 機 関 紙 な ど	福 岡 市 情 報 プ ラ ザ	あ い あ い セ ン タ ー	手 話 放 送 、 字 幕 放 送	障 が い 者 相 談 員	障 が い 者 更 生 相 談 所	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体		849	3.4	3.1	2.5	1.5	1.3	0.7	3.6	10.2	7.2
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	6.6	1.3	－	2.6	－	－	2.6	17.1	3.9
	30歳代	29	2.4	2.4	3.5	3.5	1.2	2.4	3.5	17.6	4.7
	40歳代	49	2.6	1.3	1.3	2.6	－	－	6.5	10.4	3.9
	50歳代	88	2.5	2.5	1.3	5.1	1.3	－	1.3	11.4	5.1
	60～64歳	90	1.1	2.3	2.3	1.1	2.3	2.3	3.4	9.2	1.1
	65～74歳	100	3.1	3.7	2.5	1.2	2.5	1.2	2.5	9.8	8.6
	75歳以上	472	4.0	3.6	2.9	0.7	1.1	0.4	4.0	9.5	9.1
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	3.4	3.1	2.5	1.5	1.3	0.7	3.6	10.2	7.2
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	2.7	3.2	3.2	1.6	1.2	0.9	4.8	9.0	7.7
	中度（3・4級）	297	3.7	3.3	1.9	1.2	1.3	0.6	2.0	9.8	5.5
	軽度（5・6級）	96	6.1	2.4	1.3	1.2	1.8	－	3.8	14.0	6.7
	無回答	19	－	1.8	－	5.8	－	－	－	25.3	24.1

1.1. 地域とのかかわり・福祉施策全般について

(1) 一緒に過ごしたり会話をする人

問4-2 あなたは、ふだんどのような人と一緒にすごしたり、会話をする人が多いですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-105 一緒に過ごしたり会話をする人】



回答者全体では「家族」(72.4%)が7割強を占めて最も多く、次いで「隣近所の人や地域の友人・知人」(30.3%)、「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(24.1%)となっている。

年齢別に詳細にみると、50歳代以下では60歳代以上に比べて「職場の人」の割合が高く、40歳代では4割(40.3%)となっている。また、65歳以上の高齢者では「隣近所の人や地域の友人・知人」の割合が3割を超えて高い。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では他に比べて「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(30.2%)、「通っている施設等の仲間や職員」(22.4%)、「ホームヘルパーやガイドヘルパー等のサービス従事者」(17.0%)の割合が高くなっている。一方、5・6級の軽度者では「家族」(80.3%)の割合が高い。

障がい部位別にみると、肢体不自由と内部障がいでは「家族」(それぞれ74.9%)の割合が他に比べて高い。

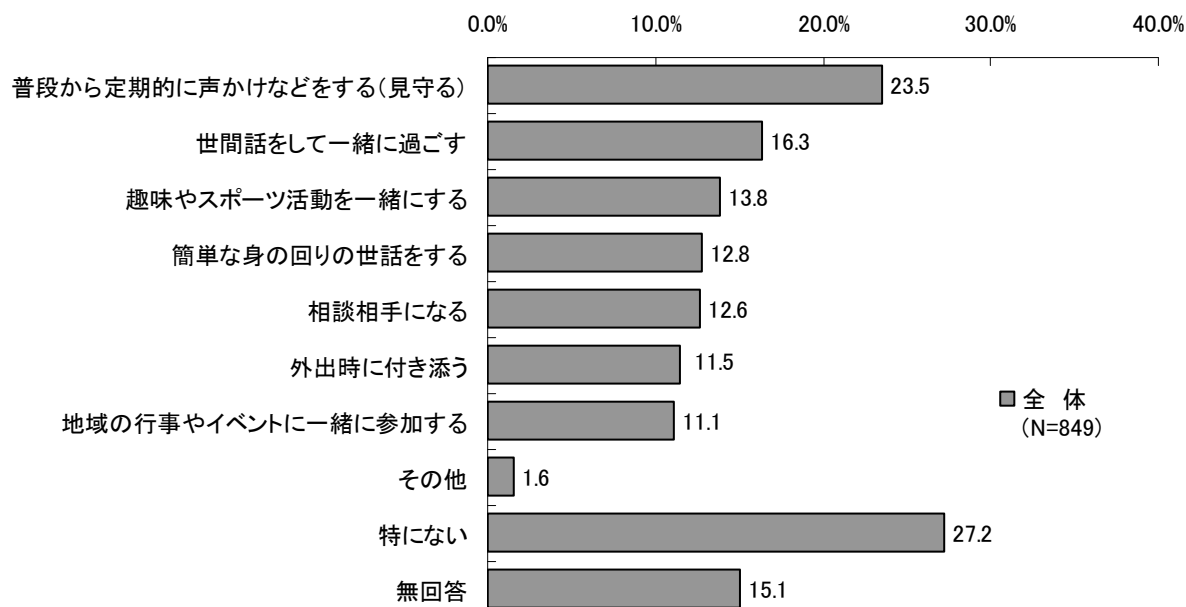
【図表4-106 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 一緒に過ごしたり会話をする人】(%)

		調査数（人）	一緒に過ごしたり会話をする人											
			家族	人隣近所の人や地域の友人・知	師・通っている病院の職員（医 ・看護師含む）	通っている施設等の仲間や職	ケアマネジャー	ホームヘルパーやガイドヘル パー等のサービス従事者	職場の人	学校の友人や先生	区役所や相談機関の職員	その他	誰もいない	無回答
全 体		849	72.4	30.3	24.1	18.2	12.3	12.1	10.6	2.8	1.6	8.4	2.4	5.9
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	92.1	13.2	18.4	44.7	—	18.4	22.4	22.4	1.3	3.9	—	—
	30歳代	29	84.7	16.5	22.4	27.1	1.2	9.4	35.3	7.1	2.4	7.1	2.4	3.5
	40歳代	49	77.9	26.0	19.5	10.4	2.6	1.3	40.3	3.9	2.6	1.3	3.9	2.6
	50歳代	88	75.9	22.8	24.1	5.1	3.8	2.5	29.1	1.3	—	7.6	6.3	3.8
	60～64歳	90	80.5	27.6	20.7	6.9	1.1	3.4	16.1	1.1	1.1	8.0	2.3	1.1
	65～74歳	100	70.6	36.2	21.5	11.7	9.2	8.0	6.7	0.6	3.1	12.9	1.2	4.3
	75歳以上	472	68.4	33.1	26.2	23.3	18.9	17.5	1.8	2.5	1.5	8.7	1.8	8.4
無回答		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 体		849	72.4	30.3	24.1	18.2	12.3	12.1	10.6	2.8	1.6	8.4	2.4	5.9
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	69.2	25.8	30.2	22.4	15.1	17.0	8.3	2.4	1.6	7.9	2.1	6.3
	中度（3・4級）	297	76.9	35.4	18.0	13.4	9.3	6.3	12.0	4.1	1.6	8.0	2.8	4.6
	軽度（5・6級）	96	80.3	33.3	17.2	13.6	11.4	9.3	17.6	0.6	1.7	12.1	1.5	4.8
	無回答	19	37.0	39.6	13.8	21.0	—	4.6	5.0	—	—	8.9	5.8	24.1
全 体		849	72.4	30.3	24.1	18.2	12.3	12.1	10.6	2.8	1.6	8.4	2.4	5.9
障 がい 部 位	視覚障がい	69	65.5	23.9	13.8	21.1	14.9	22.3	10.1	1.7	6.3	8.0	3.4	5.9
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	62.5	27.4	18.4	13.1	12.5	8.4	10.9	1.5	—	13.4	3.5	9.9
	肢体不自由	380	74.9	29.6	23.4	20.4	11.6	14.4	9.5	3.2	1.3	7.9	2.6	4.5
	内部障がい	280	74.9	33.0	29.8	14.0	12.7	8.4	13.4	3.0	1.2	7.8	1.2	5.8
	その他	31	64.4	40.9	25.3	33.1	7.5	6.6	3.0	2.0	2.0	12.1	4.7	7.5
	無回答	10	56.0	16.9	6.0	22.9	22.9	6.0	—	—	—	—	—	27.1

(2) 地域から受けた支援・交流の内容

問4-3 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-107 地域から受けた支援・交流の内容】



回答者全体では「普段から定期的に声かけなどをする(見守る)」(23.5%)が2割強を占めて最も多く、次いで「世間話をして一緒に過ごす」(16.3%)、「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(13.8%)となっている。また、「特にない」(27.2%)が3割弱となっている。

年齢別に詳細にみると、30歳代では他に比べて「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(28.2%)、「地域の行事やイベントと一緒に参加する」(27.1%)等、多くの項目で割合が高くなっている。

手帳等級別にみると、1・2級の重度者では「簡単な身の回りの世話をする」(16.1%)と「外出時に付き添う」(15.3%)の割合が他に比べてやや高い。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「外出時に付き添う」(25.2%)、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(19.5%)の割合が他に比べて高い。

【図表4-108 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別

地域から受けたい支援・交流の内容】（％）

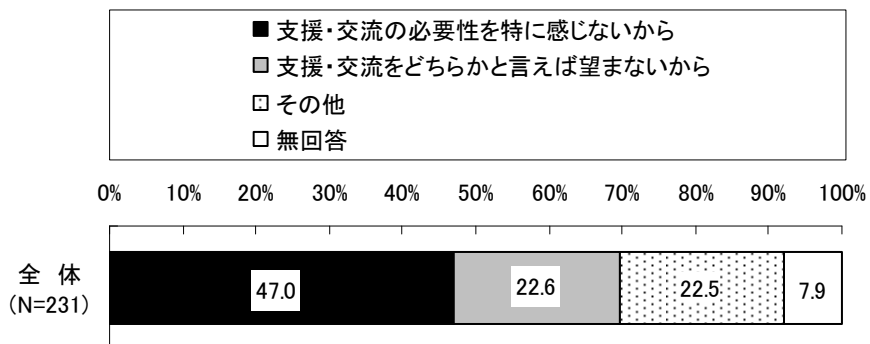
	調査数（人）	地域から受けたい支援・交流の内容									
		世話を身回りの	外出時に付き添う	（見守る） 声かけから定期的にするに	相談相手になる	世間話を一緒に	地域の行事やイベントに参加する	趣味やスポーツをする	その他	特にない	無回答
全 体	849	12.8	11.5	23.5	12.6	16.3	11.1	13.8	1.6	27.2	15.1
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	18.4	17.1	26.3	11.8	22.4	27.6	1.3	25.0	2.6
	30歳代	29	16.5	20.0	24.7	24.7	27.1	28.2	1.2	23.5	4.7
	40歳代	49	15.6	11.7	18.2	20.8	16.9	24.7	2.6	33.8	9.1
	50歳代	88	16.5	17.7	24.1	16.5	17.7	12.7	2.5	30.4	10.1
	60～64歳	90	13.8	11.5	29.9	13.8	11.5	8.0	11.5	—	34.5
	65～74歳	100	14.1	8.6	21.5	14.1	15.3	11.0	14.7	2.5	24.5
	75歳以上	472	10.9	10.2	22.9	9.8	16.7	9.5	11.6	1.5	25.5
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 体	849	12.8	11.5	23.5	12.6	16.3	11.1	13.8	1.6	27.2	15.1
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	16.1	15.3	22.0	11.6	17.0	11.2	13.4	1.4	28.0
	中度（3・4級）	297	8.8	8.6	24.7	14.5	14.5	10.9	13.6	1.9	27.4
	軽度（5・6級）	96	9.1	5.4	29.8	13.1	17.1	12.7	16.5	1.8	24.2
	無回答	19	17.8	—	6.3	3.5	22.7	3.2	10.8	—	23.2
全 体	849	12.8	11.5	23.5	12.6	16.3	11.1	13.8	1.6	27.2	15.1
障 がい 部 位	視覚障がい	69	20.4	25.2	14.3	12.4	17.5	6.9	10.4	—	39.5
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	17.0	7.7	26.9	16.5	14.2	8.7	19.5	3.7	19.1
	肢体不自由	380	10.6	12.0	25.7	13.3	14.4	10.9	14.2	2.1	26.7
	内部障がい	280	14.0	9.8	21.8	11.4	19.4	12.9	13.4	0.7	26.8
	その他	31	5.5	3.0	27.6	7.5	13.2	13.1	9.4	2.0	34.3
	無回答	10	—	—	10.2	6.0	16.9	10.2	—	—	50.0

(3) 地域からの支援・交流を望まない理由

[問43で「9」を選ばれた方におたずねします]

問43-1 それはなぜですか。（○は1つだけ）

【図表4-109 地域からの支援・交流を望まない理由】

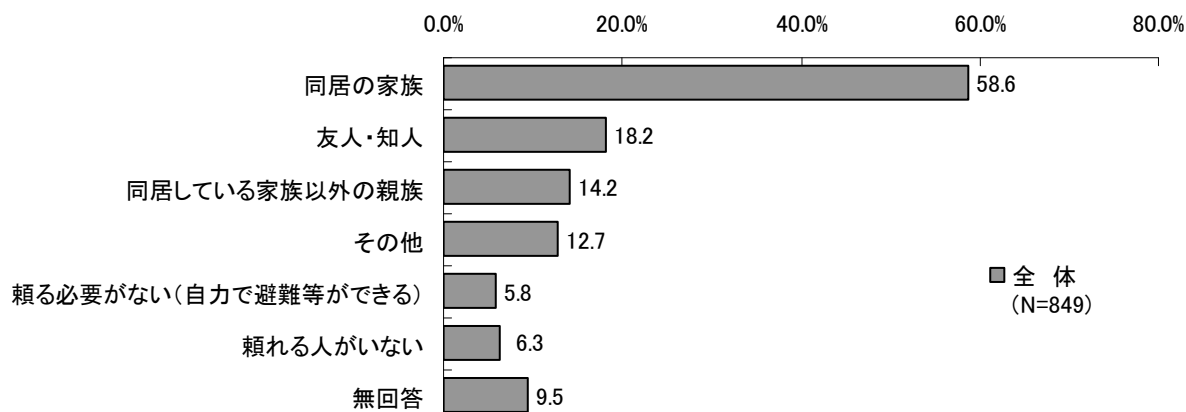


回答者全体では「支援・交流の必要性を特に感じないから」（47.0％）が半数弱、「支援・交流をどちらかと言えば望まないから」（22.6％）と「その他」（22.5％）が2割強となっている。

(4) 災害時に頼れる人

問4-4 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-110 災害時に頼れる人】



回答者全体では「同居の家族」(58.6%)が6割弱を占めて最も多く、次いで「友人・知人」(18.2%)、「同居している家族以外の親族」(14.2%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下は65歳以上に比べて「同居の家族」(68.2%)の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「同居の家族」(82.9%)の割合が8割を超えて高い。また、40歳代と65～74歳では他に比べて「頼れる人がいない」の割合が高く、1割程度を占めている。

世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「頼れる人がいない」(18.1%)の割合が高く、2割弱を占めている。

【図表4-111 年齢(2区分、詳細)別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

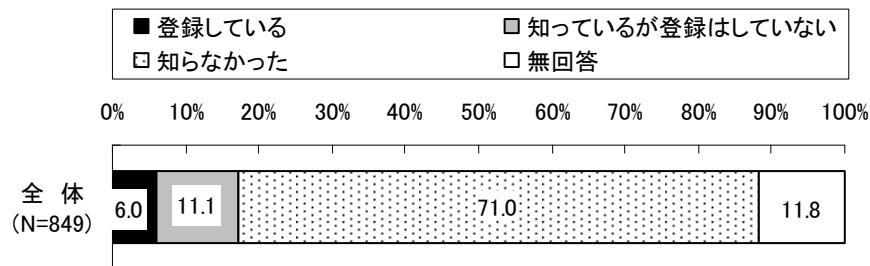
	調査数(人)	災害時に頼れる人						
		同居の家族	友人・知人	同居している家族以外の親族	その他	が(頼る必要がない)自力で避難等ができる	頼れる人がいない	無回答
全体	849	58.6	18.2	14.2	12.7	5.8	6.3	9.5
年齢区分								
2 64歳以下	277	68.2	20.4	12.5	5.8	10.3	6.2	4.3
65歳以上	572	53.9	17.1	15.0	16.0	3.6	6.3	12.1
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢詳細								
全体	849	58.6	18.2	14.2	12.7	5.8	6.3	9.5
20歳代以下	21	82.9	11.8	15.8	2.6	10.5	1.3	-
30歳代	29	72.9	21.2	14.1	3.5	14.1	4.7	3.5
40歳代	49	62.3	23.4	14.3	3.9	7.8	11.7	6.5
50歳代	88	63.3	21.5	10.1	3.8	11.4	6.3	6.3
60～64歳	90	71.3	19.5	12.6	10.3	9.2	4.6	2.3
65～74歳	100	61.3	19.0	13.5	9.2	3.7	10.4	5.5
75歳以上	472	52.4	16.7	15.3	17.5	3.6	5.5	13.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯状況								
全体	849	58.6	18.2	14.2	12.7	5.8	6.3	9.5
一人暮らし	179	-	28.2	12.1	21.9	14.7	18.1	13.6
夫婦のみ	250	75.5	17.2	20.4	3.4	4.4	3.5	9.3
二世帯同居(親と本人)	56	81.7	12.2	16.4	1.6	6.4	4.7	3.5
二世帯同居(子と本人)	264	89.1	16.8	11.7	5.3	1.9	1.9	5.6
三世帯同居	12	97.2	40.4	22.1	-	2.8	-	-
その他	26	53.4	-	6.4	41.2	4.0	4.0	-
グループホーム・ケアホーム	53	-	9.7	3.2	58.2	1.1	6.4	27.8
無回答	9	25.3	-	18.7	37.3	18.7	-	18.7

(5) 災害時要援護者台帳の認知度

問45 福岡市では、災害が発生したときに、家族等による支援が受けられず、協力者を必要とする方に対して、民生委員等の地域の人による安否確認や行政機関等への連絡を行うため、このような支援を必要とする方の情報をまとめた「災害時要援護者台帳」の整備を進めています（※希望者のみ登録）。

(1) あなたは、この「災害時要援護者台帳」のことを知っていますか。(○は1つだけ)

【図表4-112 災害時要援護者台帳の認知度】



回答者全体では「知らなかった」(71.0%)が7割強を占めている。「登録している」(6.0%)と「知っているが登録はしていない」(11.1%)をあわせた認知度は17.1%となっている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下では「登録している」の割合が他に比べて高く、1割を超えている。また、40歳代では「知っているが登録はしていない」(20.8%)が2割を占めている。

世帯状況別にみると、親との二世帯同居では「登録している」(12.2%)の割合が他に比べて高く、1割を超えている。

【図表4-113 年齢詳細別、世帯状況別 災害時要援護者台帳の認知度】(%)

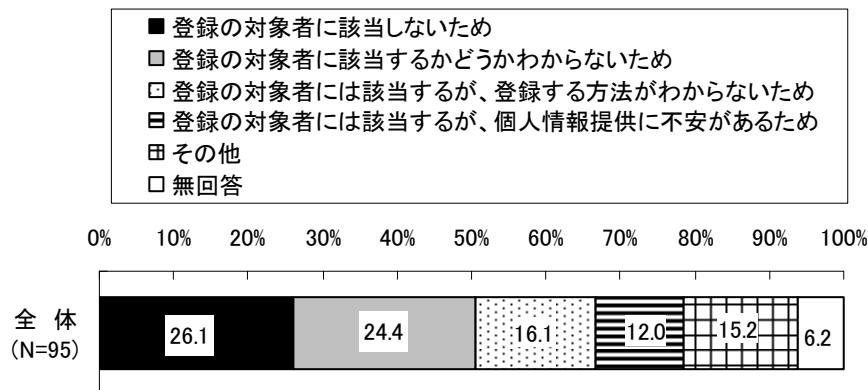
		調査数(人)	災害時要援護者台帳の認知度			
			登録している	は知っているが登録	知らなかった	無回答
全 体		849	6.0	11.1	71.0	11.8
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	18.4	18.4	61.8	1.3
	30歳代	29	11.8	18.8	63.5	5.9
	40歳代	49	3.9	20.8	66.2	9.1
	50歳代	88	5.1	15.2	70.9	8.9
	60～64歳	90	4.6	14.9	73.6	6.9
	65～74歳	100	4.3	12.3	75.5	8.0
	75歳以上	472	6.2	7.6	70.9	15.3
	無回答	-	-	-	-	-
全 体		849	6.0	11.1	71.0	11.8
世 帯 状 況	一人暮らし	179	8.5	10.9	68.3	12.3
	夫婦のみ	250	5.0	13.0	68.8	13.2
	二世帯同居(親と本人)	56	12.2	18.2	64.4	5.2
	二世帯同居(子と本人)	264	4.5	8.9	77.5	9.1
	三世帯同居	12	8.5	5.0	75.2	11.3
	その他	26	8.0	10.7	70.4	11.0
	グループホーム・ケアホーム	53	3.2	7.6	65.5	23.7
	無回答	9	-	18.7	62.7	18.7

(6) 「災害時要援護者台帳」を知っているが登録していない理由

[問45(1)で「2」を選ばれた方におたずねします]

問45(1)-1 それはなぜですか。(○は1つだけ)

【図表4-114 「災害時要援護者台帳」を知っているが登録していない理由】



回答者全体では「登録の対象者に該当しないため」(26.1%)が最も多く、次いで「登録の対象者に該当するかどうか分からないため」(24.4%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「登録の対象者には該当するが、個人情報提供に不安があるから」(35.7%)の割合が他に比べて高く、4割弱を占めている。また、60～64歳では「登録の対象者に該当しないため」(53.8%)が過半数となっている。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「登録の対象者に該当しないため」(75.6%)の割合が高く、8割弱を占めている。

障がい部位別にみると、視覚障がいと聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは、「登録の対象者には該当するが、登録する方法が分からないため」の割合が4割～半数弱と高い。また、肢体不自由では「登録の対象者に該当しないため」(39.1%)の割合が4割を占めて高くなっている。

【図表4-115 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別

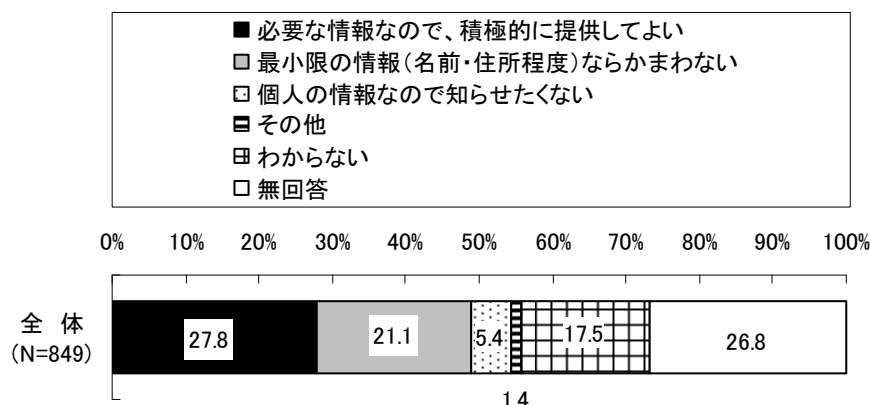
「災害時要援護者台帳」を知っているが登録していない理由】(%)

	調査数（人）	「災害時要援護者台帳」を知っているが登録していない理由					
		な登録のため対象者に該当し	た登録のめかどうか対象者から該当しない	が登録のめわからず対象者には該当しない	に登録の不安があるため対象者の情報提供は	その他	無回答
全 体	95	26.1	24.4	16.1	12.0	15.2	6.2
年 齢 詳 細	20歳代以下	4	28.6	—	14.3	35.7	7.1
	30歳代	5	37.5	12.5	6.3	25.0	6.3
	40歳代	10	43.8	31.3	6.3	12.5	—
	50歳代	13	16.7	25.0	25.0	—	33.3
	60～64歳	14	53.8	15.4	7.7	15.4	—
	65～74歳	12	20.0	15.0	20.0	15.0	15.0
	75歳以上	36	14.3	33.3	19.0	9.5	14.3
	無回答	—	—	—	—	—	—
全 体	95	26.1	24.4	16.1	12.0	15.2	6.2
手 帳 等 級	重度(1・2級)	53	16.8	16.4	23.6	13.1	21.9
	中度(3・4級)	32	33.6	42.9	3.8	10.3	7.4
	軽度(5・6級)	7	75.6	—	—	16.0	4.2
	無回答	3	—	24.0	52.8	—	23.2
全 体	95	26.1	24.4	16.1	12.0	15.2	6.2
障 が い 部 位	視覚障がい	9	—	11.1	48.6	3.6	—
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	5	18.1	6.9	40.9	21.2	12.9
	肢体不自由	45	39.1	24.2	14.8	7.8	12.1
	内部障がい	29	21.2	29.2	5.9	13.2	28.4
	その他	6	—	38.2	4.5	42.8	—
	無回答	—	—	—	—	—	—

(7) 災害時支援のための事前の個人情報提供意向

問45(2) この「災害時要援護者台帳」への登録を希望される方は、お名前や住所のほか、世帯の状況や障がいの状況、緊急連絡先等の情報をお知らせいただくことになります。このことについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

【図表4-116 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】



回答者全体では「必要の情報なので、積極的に提供してよい」(27.8%)が最も多く、次いで「最小限の情報ならかまわないと思う」(21.1%)となっており、「個人の情報なので知らせたくない」(5.4%)との回答は1割に満たなかった。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下では「必要の情報なので、積極的に提供してよい」の割合が4割程度を占めて高くなっている。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「必要の情報なので、積極的に提供してよい」(40.3%)の割合が高く、4割を占めている。

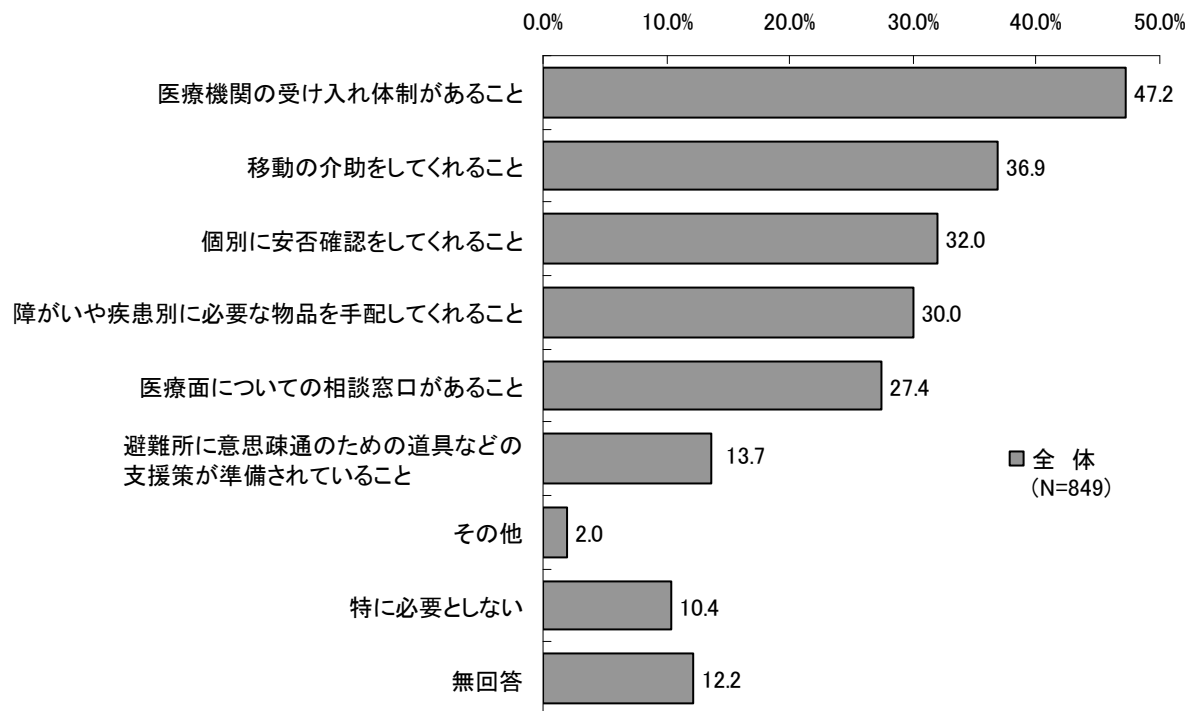
【図表4-117 年齢詳細別、手帳等級別 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】(%)

		調査数 (人)	災害時支援のための事前の個人情報提供意向				
			必要の情報なので、積極的に提供してよい	最小限の情報(名前・住所程度)ならかまわない	個人の情報なので知らせたくない	その他	わからない
全 体		849	27.8	21.1	5.4	1.4	17.5
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	39.5	27.6	5.3	2.6	6.6
	30歳代	29	41.2	29.4	1.2	-	20.0
	40歳代	49	28.6	28.6	6.5	1.3	18.2
	50歳代	88	35.4	19.0	7.6	-	21.5
	60～64歳	90	28.7	31.0	4.6	-	17.2
	65～74歳	100	24.5	19.0	8.0	0.6	25.8
	75歳以上	472	25.5	18.5	4.7	2.2	32.0
	無回答	-	-	-	-	-	-
全 体		849	27.8	21.1	5.4	1.4	17.5
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	27.1	22.6	6.6	1.1	25.3
	中度(3・4級)	297	24.6	21.8	4.7	2.4	29.5
	軽度(5・6級)	96	40.3	15.7	2.0	-	22.8
	無回答	19	29.9	4.7	5.8	-	38.7

(8) 災害時に必要な支援

問 4 6 あなたは、災害時には行政や地域などからどのような支援を必要としますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-118 災害時に必要な支援】



回答者全体では「医療機関の受け入れ体制があること」(47.2%)が最も多く、次いで「移動の介助をしてくれること」(36.9%)、「個別に安否確認をしてくれること」(32.0%)、「障がいや疾患別に必要な物品を手配してくれること」(30.0%)がそれぞれ3割を超えている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「障がいや疾患別に必要な物品を手配してくれること」(53.9%)や「移動の介助をしてくれること」(48.7%)、「避難所に意思疎通のための道具などの支援策が準備されていること」(26.3%)等の割合が他に比べて高い。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「医療面についての相談窓口があること」(34.3%)や「避難所に意思疎通のための道具などの支援策が準備されていること」(20.8%)の割合が高い。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「移動の介助をしてくれること」(57.3%)、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「避難所に意思疎通のための道具などの支援策が準備されていること」(31.4%)、内部障がいでは「医療機関の受け入れ体制があること」(53.9%)の割合がそれぞれ他に比べて高い。

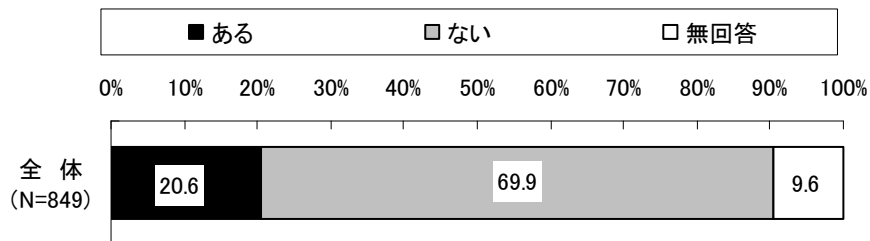
【図表4-119 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 災害時に必要な支援】(%)

		調 査 数 （ 人 ）	災害時に必要な支援								
			医 療 機 関 の 受 け 入 れ 体 制 が あ る こ と	移 動 の 介 助 を し て く れ る こ と	個 別 に 安 否 確 認 を し て く れ る こ と	障 が い や 疾 患 別 に 必 要 な 物 品 を 手 配 し て く れ る こ と	窓 口 が あ る こ と の 相 談	避 難 所 に 意 思 疎 通 の た す け の 策 が あ る こ と	そ の 他	特 に 必 要 と し な い	無 回 答
全 体		849	47.2	36.9	32.0	30.0	27.4	13.7	2.0	10.4	12.2
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	40.8	48.7	39.5	53.9	25.0	26.3	2.6	10.5	3.9
	30歳代	29	43.5	37.6	40.0	44.7	35.3	18.8	3.5	12.9	5.9
	40歳代	49	37.7	33.8	28.6	39.0	27.3	10.4	1.3	23.4	5.2
	50歳代	88	48.1	32.9	24.1	38.0	26.6	19.0	－	15.2	6.3
	60～64歳	90	48.3	28.7	27.6	28.7	34.5	14.9	2.3	12.6	4.6
	65～74歳	100	46.6	33.7	32.5	25.2	23.9	15.3	2.5	8.6	12.9
	75歳以上	472	48.4	39.6	33.8	26.9	26.5	11.6	2.2	8.0	16.0
無回答		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全 体		849	47.2	36.9	32.0	30.0	27.4	13.7	2.0	10.4	12.2
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	47.6	42.4	32.6	31.6	26.6	14.2	2.3	8.3	11.7
	中度（3・4級）	297	46.8	28.8	31.4	31.2	27.8	11.6	2.3	12.1	11.7
	軽度（5・6級）	96	49.4	40.1	33.7	21.4	34.3	20.8	0.3	12.1	11.3
	無回答	19	33.1	21.0	21.3	19.2	4.9	－	－	23.3	33.0
全 体		849	47.2	36.9	32.0	30.0	27.4	13.7	2.0	10.4	12.2
障 が い 部 位	視覚障がい	69	39.0	57.3	40.9	34.7	22.5	11.1	－	10.3	5.2
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	36.3	28.9	31.1	34.4	20.2	31.4	2.9	10.7	15.8
	肢体不自由	380	45.5	40.7	32.0	28.8	31.1	14.5	1.9	11.3	11.3
	内部障がい	280	53.9	29.1	30.5	30.9	27.2	9.1	2.0	9.4	12.7
	その他	31	54.6	42.6	31.1	25.3	13.8	11.4	6.4	11.0	11.1
	無回答	10	39.8	16.9	27.1	－	27.1	－	－	－	50.0

(9) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問47 あなたは、これまでに障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-120 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



回答者全体では「ない」(69.9%)が7割を占めており、「ある」(20.6%)は2割となっている。

年齢別に詳細にみると、差別や嫌な思いをした経験がある人の割合は年齢が低いほど高く、20歳代以下では6割強(61.8%)を占めている。

障がい部位別にみると、差別や嫌な思いをした経験がある人の割合は、聴覚、平衡機能音声・言語障がい比其他に比べて高く、4割弱(36.9%)を占めている。

【図表4-121 年齢詳細別、障がい部位別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

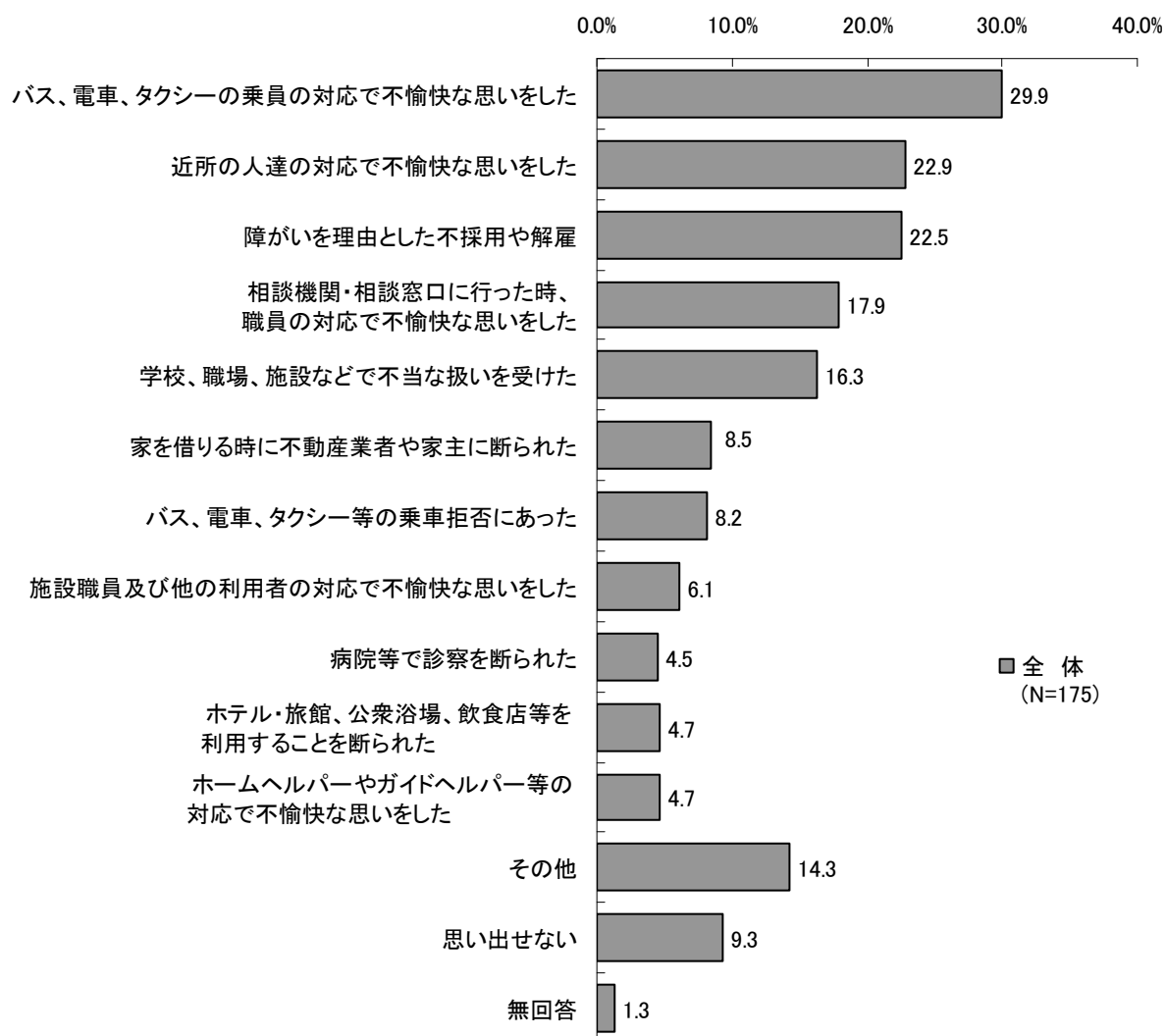
		調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験		
			ある	ない	無回答
全 体		849	20.6	69.9	9.6
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	61.8	36.8	1.3
	30歳代	29	50.6	45.9	3.5
	40歳代	49	46.8	45.5	7.8
	50歳代	88	38.0	57.0	5.1
	60～64歳	90	21.8	72.4	5.7
	65～74歳	100	17.8	72.4	9.8
	75歳以上	472	11.3	76.7	12.0
	無回答	—	—	—	—
全 体		849	20.6	69.9	9.6
障 が い 部 位	視覚障がい	69	23.4	69.2	7.4
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	79	36.9	51.2	11.8
	肢体不自由	380	25.3	65.4	9.3
	内部障がい	280	9.0	82.2	8.8
	その他	31	25.0	64.0	11.1
	無回答	10	—	66.9	33.1

(10) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問47で「1」を選ばれた方におたずねします]

問47-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-122 差別を受けたり、いやな思いをした内容】

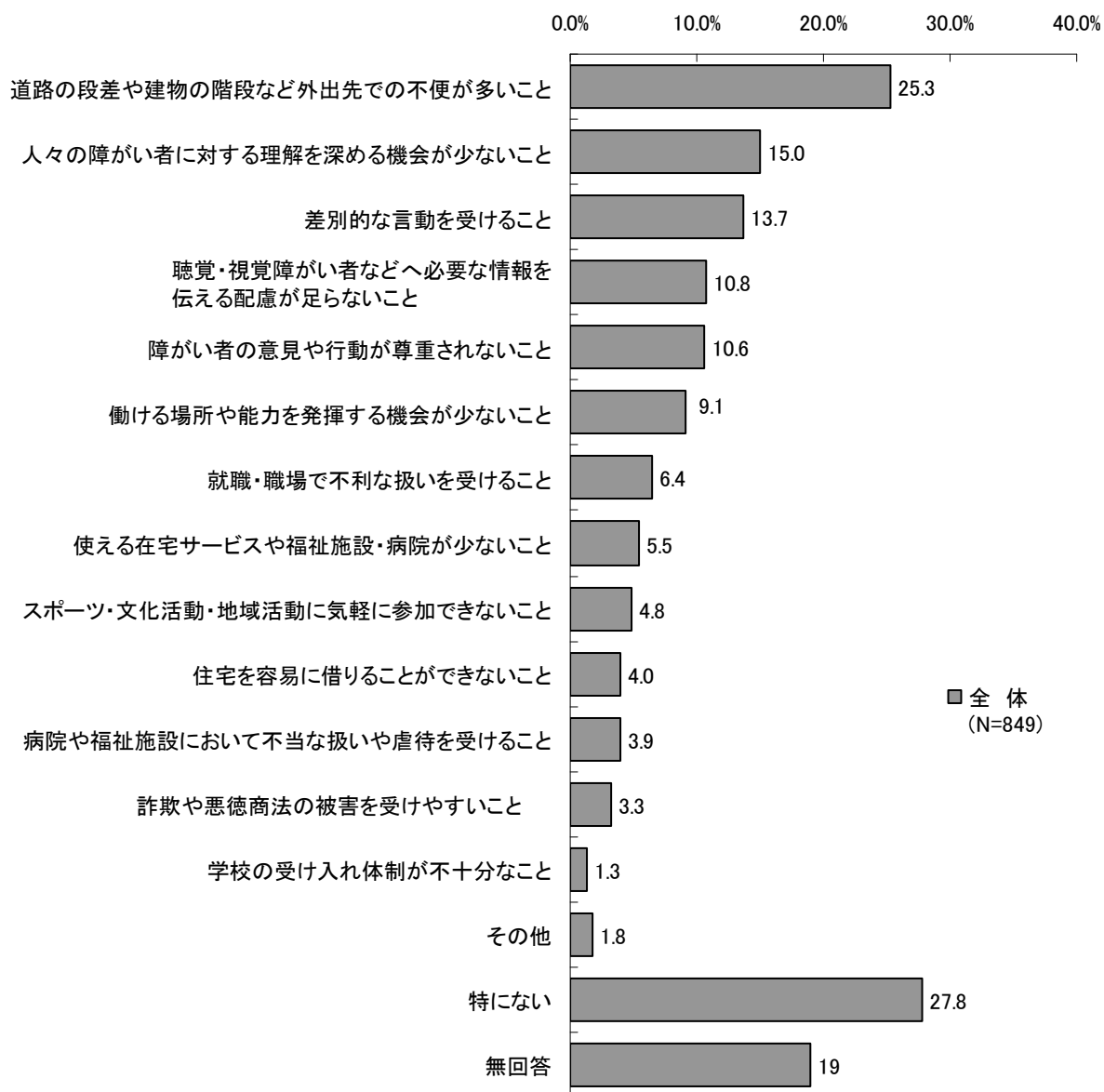


障がいのために差別を受けたり、いやな思いをしたことがある人に、その内容をたずねたところ、回答者全体では「バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした」(29.9%)が最も多く、次いで「近所の人たちの対応で不愉快な思いをした」(22.9%)、「障がいを理由とした不採用や解雇」(22.5%)となっている。

(1) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問48 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【図表4-124 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



回答者全体では「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(25.3%)が最も多く、次いで「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(15.0%)、「差別的な言動を受けること」(13.7%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(21.6%)や「差別的な言動を受けること」(21.2%)、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(15.5%)等、多くの項目で割合が高い。

年齢別に詳細にみると、「差別的な言動を受けること」や「使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと」等の割合は概ね年齢が低いほど高い。

【図表4-125 年齢（2区分、詳細）別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

		調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと							
			道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと	人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと	差別的な言動を受けること	聴覚・視覚障がい者などへ必要な情報を伝える配慮が足りないこと	障がい者の意見や行動が尊重されないこと	働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	就職・職場で不利な扱いを受けること	使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと
区分	全体	849	25.3	15.0	13.7	10.8	10.6	9.1	6.4	5.5
	20歳以下	277	26.8	21.6	21.2	15.5	14.8	18.1	15.6	5.4
	21歳以上	572	24.6	11.9	10.1	8.5	8.6	4.8	1.9	5.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢詳細	全体	849	25.3	15.0	13.7	10.8	10.6	9.1	6.4	5.5
	20歳代以下	21	19.7	22.4	39.5	14.5	21.1	22.4	25.0	11.8
	30歳代	29	23.5	30.6	32.9	12.9	23.5	22.4	23.5	10.6
	40歳代	49	28.6	20.8	22.1	16.9	14.3	27.3	16.9	3.9
	50歳代	88	27.8	16.5	17.7	16.5	17.7	12.7	20.3	5.1
	60～64歳	90	27.6	24.1	16.1	14.9	8.0	16.1	5.7	3.4
	65～74歳	100	23.9	12.9	18.4	9.2	6.1	6.7	5.5	5.5
	75歳以上	472	24.7	11.6	8.4	8.4	9.1	4.4	1.1	5.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		域活動に気軽に参加できないこと	スポーツ・文化活動・地	住宅を容易に借りることができないこと	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受けること	詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと	学校の受け入れ体制が不十分なこと	その他	特にな	無回答
全 体	849	4.8	4.0	3.9	3.3	1.3	1.8	27.8	19.0	
年齢2区分										
64歳以下	277	7.0	5.8	4.2	3.5	3.6	1.9	21.1	8.1	
65歳以上	572	3.8	3.1	3.8	3.3	0.1	1.7	31.1	24.4	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全 体	849	4.8	4.0	3.9	3.3	1.3	1.8	27.8	19.0	
年齢詳細										
20歳代以下	21	9.2	1.3	9.2	5.3	13.2	-	7.9	5.3	
30歳代	29	5.9	5.9	4.7	8.2	3.5	2.4	11.8	3.5	
40歳代	49	3.9	6.5	3.9	6.5	3.9	5.2	16.9	6.5	
50歳代	88	7.6	7.6	3.8	-	3.8	-	26.6	8.9	
60～64歳	90	8.0	4.6	3.4	3.4	1.1	2.3	24.1	10.3	
65～74歳	100	4.3	2.5	6.1	4.9	0.6	1.2	30.1	20.9	
75歳以上	472	3.6	3.3	3.3	2.9	-	1.8	31.3	25.1	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第4章 身体障がい者調査

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(19.7%)や「差別的な言動を受けること」(19.5%)、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(18.7%)等の割合が高い。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」(40.6%)、聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(41.3%)の割合がそれぞれ4割を超えており、他に比べて高い。

【図表4-126 手帳等級別、障がい部位別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

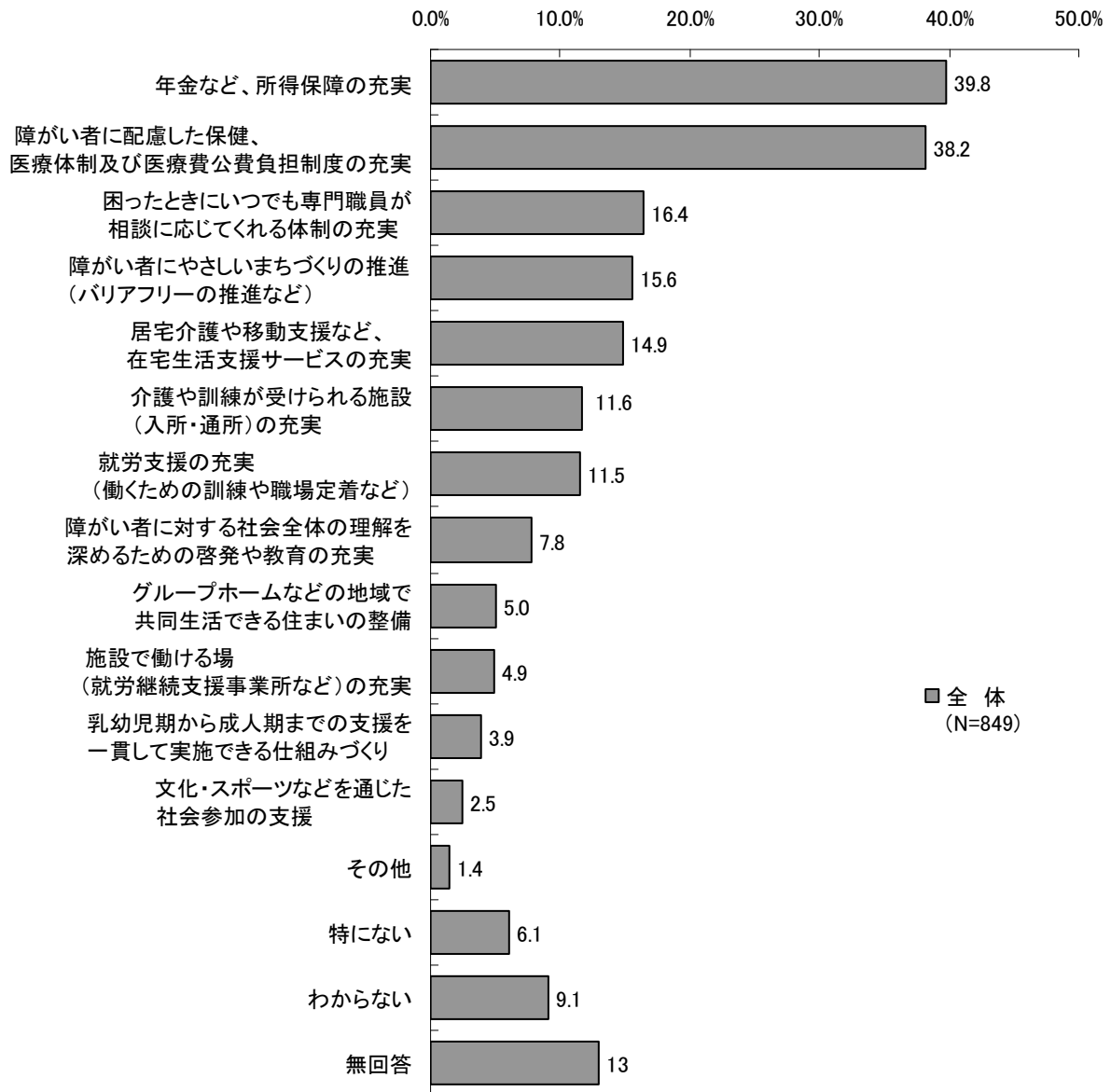
		調 査 数 （ 人 ）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと							
			が障 がいの者の意見や行動 が尊重されないこと	と揮働 する場所や能力を 発揮する機会が少ないこと	こ 差別的な言動を受ける こと	少 る人々の障がい者に対する 理解を深める機会が 少ないこと	が段 多 い 道 路 の 外 出 先 や 建 物 の 便 階	るど 聴 配 へ 覚 必 ・ 視 覚 障 が 要 な 情 報 を い こ え な	い福 祉 と 施 設 ・ 病 院 が 少 な い	受て 不 当 な 福 祉 施 設 に お い る こ と
全	体	849	25.3	15.0	13.7	10.8	10.6	9.1	6.4	5.5
手 帳 等 級	重度(1・2級)	437	26.4	13.9	12.5	10.7	10.0	8.9	6.9	7.6
	中度(3・4級)	297	25.5	15.7	14.1	8.3	11.0	8.1	4.7	3.1
	軽度(5・6級)	96	24.3	19.7	19.5	18.7	14.6	13.7	10.2	3.7
	無回答	19	3.2	9.3	7.2	12.9	—	8.5	—	1.4
	全	体	849	25.3	15.0	13.7	10.8	10.6	9.1	6.4
障 が い 部 位	視覚障がい	69	40.6	16.3	13.4	27.2	8.4	6.8	3.5	6.2
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	21.0	13.8	16.0	41.3	13.1	6.5	7.3	3.0
	肢体不自由	380	28.0	17.5	14.6	5.9	15.2	10.1	7.7	5.6
	内部障がい	280	18.6	12.5	11.3	5.9	4.7	10.2	5.8	5.3
	その他	31	35.8	13.6	22.4	4.1	6.6	2.9	1.1	10.5
	無回答	10	10.2	—	6.0	—	10.2	—	—	—

		調 査 数 （ 人 ）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと							
			学校の受け入れ体制が 不十分なこと	就職・職場で不利な扱 いを受けること	スポーツ・文化活動・ 地域活動に気軽に参加 できないこと	住宅を容易に借りるこ とができないこと	詐欺や悪徳商法の被害 を受けやすいこと	その他	特 に な い	無 回 答
全	体	849	4.8	4.0	3.9	3.3	1.3	1.8	27.8	19.0
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	5.1	4.8	3.7	2.9	1.3	2.9	26.0	20.7
	中度（3・4級）	297	4.6	3.0	4.5	4.3	1.4	0.6	30.8	18.0
	軽度（5・6級）	96	5.0	3.9	3.6	1.3	0.9	1.0	24.5	11.9
	無回答	19	1.4	3.2	－	8.9	－	－	38.9	33.0
	全	体	849	4.8	4.0	3.9	3.3	1.3	1.8	27.8
障 が い 部 位	視覚障がい	69	6.5	5.0	3.8	5.8	0.4	－	30.7	7.6
	聴覚、平衡機能、音 声・言語障がい	79	5.4	6.5	6.5	7.7	2.5	2.1	11.6	20.9
	肢体不自由	380	4.5	4.5	4.7	2.7	1.2	2.2	26.9	15.2
	内部障がい	280	5.0	2.7	2.1	1.8	1.0	1.6	32.9	25.7
	その他	31	2.8	2.2	6.1	6.4	3.0	2.0	25.9	16.6
	無回答	10	－	－	－	10.2	－	－	33.8	50.0

(12) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問 4 9 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表4-127 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



回答者全体では「年金など、所得保障の充実」(39.8%)が最も多く、次いで「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(38.2%)、「困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実」(16.4%)、「障がい者にやさしいまちづくりの推進 (バリアフリーの推進など)」(15.6%)となっている。

第4章 身体障がい者調査

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「年金など、所得保障の充実」(47.9%)や「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(23.0%)等で割合が高い。

年齢別に詳細にみると、「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」は40歳代以下で割合が高く、3割弱～4割となっている。また、30歳代以下では「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」の割合が高く、2割強を占めている。

【図表4-128 年齢(2区分、詳細)別

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

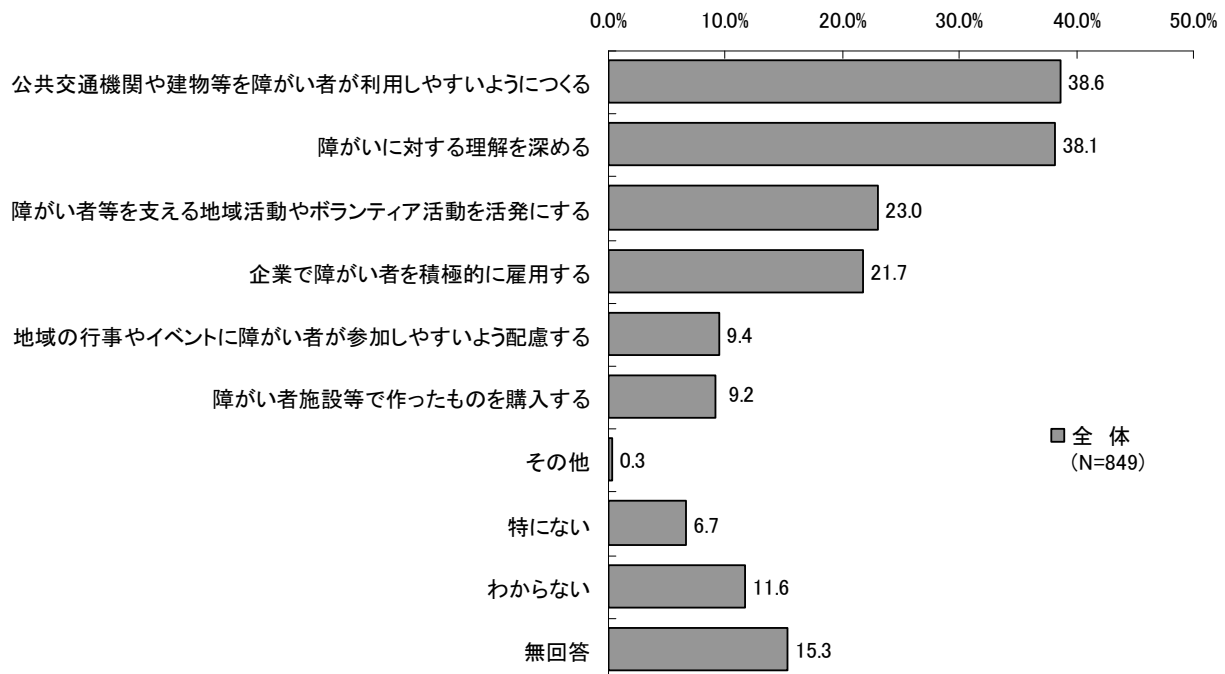
	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと							
		年金など、所得保障の充実	障がい者の医療費負担の軽減	専門職員の確保	障がい者の生活支援	居宅介護サービスの充実	介護施設(入所・通所)の充実	就労支援(訓練や職場定着など)	社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実
全体	849	39.8	38.2	16.4	15.6	14.9	11.6	11.5	7.8
年齢2区分									
64歳以下	277	47.9	43.8	15.5	18.9	11.8	11.2	23.0	12.1
65歳以上	572	35.9	35.5	16.8	14.0	16.4	11.7	5.9	5.7
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢詳細									
20歳代以下	21	44.7	35.5	10.5	15.8	13.2	28.9	26.3	21.1
30歳代	29	48.2	40.0	16.5	21.2	11.8	12.9	28.2	22.4
40歳代	49	54.5	49.4	10.4	22.1	10.4	10.4	40.3	15.6
50歳代	88	46.8	41.8	15.2	19.0	10.1	7.6	20.3	7.6
60～64歳	90	46.0	46.0	19.5	17.2	13.8	10.3	13.8	9.2
65～74歳	100	44.2	45.4	19.0	20.2	16.6	12.3	3.1	6.7
75歳以上	472	34.2	33.5	16.4	12.7	16.4	11.6	6.5	5.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと							
		住居・地域の整備	継続的な支援(就業場所など)	乳幼児から高齢者までの支援	文化・スポーツなどの活動	その他	特になし	わからない	無回答
全体	849	5.0	4.9	3.9	2.5	1.4	6.1	9.1	13.0
年齢2区分									
64歳以下	277	5.4	8.0	4.2	3.9	2.3	4.8	7.3	5.2
65歳以上	572	4.8	3.4	3.7	1.8	1.0	6.7	10.0	16.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢詳細									
20歳代以下	21	13.2	6.6	14.5	1.3	2.6	2.6	5.3	3.9
30歳代	29	8.2	23.5	8.2	2.4	2.4	1.2	2.4	4.7
40歳代	49	2.6	6.5	1.3	2.6	1.3	1.3	9.1	5.2
50歳代	88	3.8	8.9	5.1	5.1	5.1	6.3	8.9	5.1
60～64歳	90	5.7	3.4	1.1	4.6	-	6.9	6.9	5.7
65～74歳	100	3.7	2.5	2.5	1.8	0.6	2.5	7.4	12.3
75歳以上	472	5.1	3.6	4.0	1.8	1.1	7.6	10.5	17.8
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(13) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問50 障がいがある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表4-129 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



回答者全体では「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(38.6%)が最も多く、次いで「障がいに対する理解を深める」(38.1%)、「障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする」(23.0%)、「企業で障がい者を積極的に雇用する」(21.7%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(49.7%)や「障がいに対する理解を深める」(46.3%)、「企業で障がい者を積極的に雇用する」(41.2%)等の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、「障がいに対する理解を深める」の割合は40歳代以下で高く、半数を超えている。また、「企業で障がい者を積極的に雇用する」の割合は50歳代以下で高く、特に30・40歳代では半数を超えている。

手帳等級別にみると、5・6級の軽度者では他に比べて「企業で障がい者を積極的に雇用する」(32.8%)の割合が高い。

【図表4-130 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別
障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】（％）

	調査数（人）	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと									
		ようが公共 うがい交通 につくが機 る利用や建 物等しや等 いを	め障がい にに 対する理 解を深	を活動 がやい ボ者等 にラン すをテ ィア活 動域	に企業 雇用で 障がい 者を積 極的	よう障地 うがい域 配の行 慮者が事 す参加 しや すに	も障がい のを購 入者施 する設 等で 作っ た	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	849	38.6	38.1	23.0	21.7	9.4	9.2	0.3	6.7	11.6	15.3
年 齢	64歳以下	277	49.7	46.3	22.7	41.2	11.5	7.4	0.8	4.4	6.0
区 分	65歳以上	572	33.2	34.1	23.2	12.3	8.3	10.0	0.1	7.8	19.8
2	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	38.6	38.1	23.0	21.7	9.4	9.2	0.3	6.7	11.6	15.3
年 齢 詳 細	20歳代以下	21	50.0	53.9	18.4	38.2	19.7	13.2	-	5.3	7.9
	30歳代	29	44.7	58.8	29.4	50.6	15.3	9.4	1.2	1.2	5.9
	40歳代	49	45.5	51.9	13.0	54.5	16.9	9.1	1.3	-	13.0
	50歳代	88	48.1	49.4	25.3	41.8	10.1	2.5	1.3	5.1	7.6
	60～64歳	90	55.2	34.5	24.1	31.0	6.9	9.2	-	6.9	5.7
	65～74歳	100	42.3	33.7	24.5	17.2	8.0	9.2	0.6	4.9	15.3
	75歳以上	472	31.3	34.2	22.9	11.3	8.4	10.2	-	8.4	13.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	849	38.6	38.1	23.0	21.7	9.4	9.2	0.3	6.7	11.6	15.3
手 帳 等 級	重度（1・2級）	437	37.7	37.9	24.9	20.0	10.4	7.0	0.5	6.2	11.4
	中度（3・4級）	297	40.9	38.6	21.6	21.1	8.0	9.7	-	7.7	11.1
	軽度（5・6級）	96	40.0	42.6	21.0	32.8	9.7	19.2	-	4.4	9.9
	無回答	19	16.9	11.4	12.5	16.2	4.6	-	3.3	12.0	33.0